

LIFE

山梨大学 学生生活案内 2021



GUIDANCE



山梨大学憲章

平成17年10月1日 制定

山梨大学は、個人の尊厳を重んじ、真理の追究と学問の自由を大切にし、多様な文化や価値観を積極的に受け入れます。

また、社会の要求に応えつつ、広い知識と深い専門性を追求し、地域の中核となり、世界の平和と人類の福祉に貢献できる人材を養成する場となることを表明します。

この憲章に基づいて、山梨大学の役員・職員・学生は、志を同じくするすべての人々と協力し、以下の目標の達成を目指します。

【未来世代にも配慮した教育研究】

山梨大学は、現代世代だけでなく、未来世代の福祉と環境にも配慮した視点に基づいて、教育研究を行います。

【諸学の融合の推進】

山梨大学は、専門領域を超えて協力し合い、諸学の柔軟な融合による新しい学問分野を創設し、さまざまな課題の解決に努めます。

【世界的研究拠点の形成】

山梨大学は、国際的視野を持って、問題の発見と解決に取り組み、世界の人材が集う研究拠点を構築し、学術及び科学技術の発展に貢献します。

【国際社会で活躍する人材の養成】

山梨大学は、市民としての倫理性と自律性を身に付け、専門性をもって、国際社会で活躍できる人材の養成に努めます。

【地域から世界へ】

山梨大学は、地域社会が抱える課題を取り上げ、その解決に地域と協同してあたり、得られた成果を世界に向けて発信します。

【現実社会への還元】

山梨大学は、教育研究の成果が社会に応用され、役立つよう、社会に積極的に還元することに努めます。

【絶えざる改革】

山梨大学は、自ら点検・評価を行うとともに、社会からの声を広く求め、絶えざる改革を推進します。



国立大学法人
山梨大学

CONTENTS

キャンパス案内・キャンパス基礎知識

1

- ◇ 大学年間スケジュール ◇ キャンパス案内図・教室一覧
- ◇ 学生窓口案内・証明書発行 ◇ 学生生活基礎知識
- I 学生生活留意事項
 1. 学生への学内通知と連絡方法、2. 家族等からの学生への連絡、3. 氏名・本籍・現住所等の登録・変更、4. 休学・復学・退学、5. 懲戒及び除籍、6. 授業料の納入、7. 学生の表彰、8. 拾得物・遺失物
- II 本学で使用する記号
 1. 学部・課程・学科等の記号、2. 大学院の記号、3. 専攻科の記号、4. 学籍番号
- III 学生年間行事
- ◇ 学生歌

課外活動支援

29

- I 甲府キャンパス
- II 医学部キャンパス
 1. スポーツ施設とその利用方法、2. 学生団体・サークル等の紹介、3. 学生団体・サークル活動に関する届出事項及び留意事項、4. レクリエーション用具等の貸出

経済的支援・福利厚生施設

39

- I 経済的支援
 1. 高等教育の修学支援新制度(授業料等減免と給付型奨学金)
 2. 奨学金、3. 授業料の免除等、4. 入学料の免除等、5. 学術研究奨励金制度、6. アルバイトの斡旋、7. 学生保険の案内
- II 福利厚生施設
 1. 学生会館、2. 学生寄宿舎、3. 厚生会館(山梨大学生生活協同組合)〈甲府キャンパス〉
 4. 福利厚生棟 〈医学部キャンパス〉、5. 大学共同利用研修施設

学生相談・学生生活の安全

53

- I 学生相談の案内
 - 学生相談組織の紹介、○保健管理センター、○学生相談室、○人権侵害についての相談員、○クラス担当教員等、○外国人留学生のための相談、○カウンセリング・サポート室、○アクセシビリティ・コミュニケーション支援室、
- II 学生生活の安全
 1. 交通事故の防止、2. 犯罪などからの防衛、3. 飲酒、4. 感染症、5. 災害の防止

進路支援・国際交流

67

- I 進路支援
 1. 進路支援事業、2. 進路支援体制、3. キャリアアドバイザー制度、4. キャリアセンターの利用案内、5. 進路資料室(看護学科)の利用案内
- II 国際交流
 1. 交流協定の締結状況、2. 海外留学、3. 外国人留学生の受け入れ、4. 国際交流センター

環境宣言・構内規制・情報倫理

79

- I 山梨大学環境宣言
- II 構内規制
 1. 構内交通規制、2. 構内禁煙
- III 情報セキュリティポリシーの順守

学内附属施設等・学内共同教育研究施設

91

教員名簿

123



UNIVERSITY
OF
YAMANASHI





LIFE GUIDANCE

2021



キャンパス案内 キャンパス基礎知識

- ◎大学年間スケジュール
- ◎キャンパス案内図・教室一覧
- ◎学生窓口案内・証明書発行
- ◎学生生活基礎知識

キャンパス案内・キャンパス基礎知識 目次

◇ 大学年間スケジュール	3
◇ キャンパス案内図・教室一覧	
○甲府西キャンパス	4
○甲府東キャンパス	6
○医学部キャンパス	8
◇ 学生窓口案内	
I 窓口電話番号一覧	10
II 窓口業務案内・証明書発行	
1. 全学生を対象とする窓口	11
2. 所属別学生窓口	12
3. 教室使用に関する窓口	14
4. 各種証明書の発行窓口	15
◇ 学生生活基礎知識	
I 学生生活留意事項	
1. 学生への学内通知と連絡方法について	17
2. 家族等からの学生への連絡について	17
3. 氏名・本籍・現住所等の登録・変更	17
4. 休学・復学・退学	18
5. 懲戒及び除籍	18
6. 授業料の納入	19
7. 学生の表彰	20
8. 拾得物・遺失物	20
II 本学で使用する記号	
1. 学部・課程・学科等の記号	21
2. 大学院の記号	22
3. 専攻科の記号	22
4. 学籍番号	23
III 学生年間行事	24
学生歌	
○夢に向かって	25
○明日の翼ひろげ	26

大学年間スケジュール



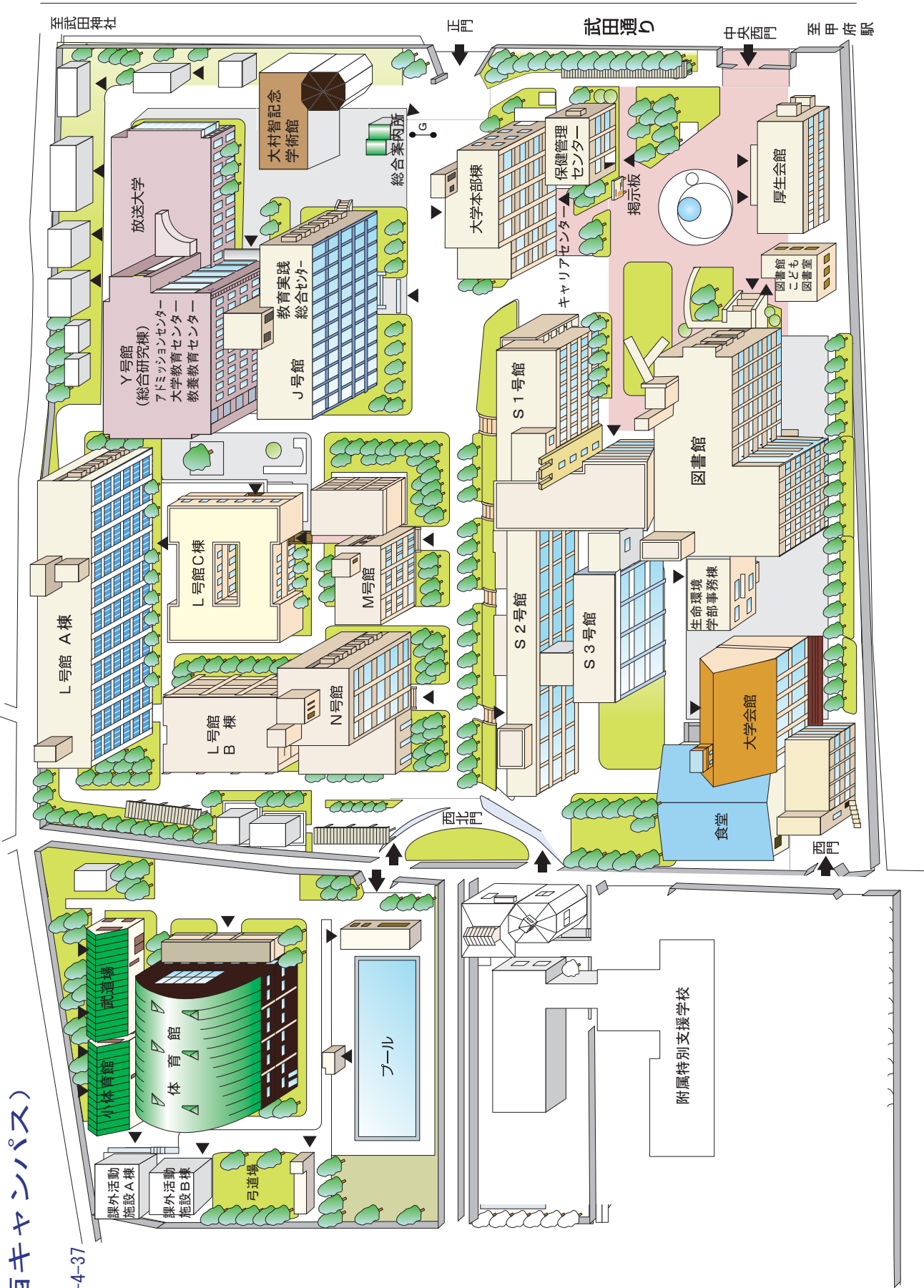
前 期		後 期	
4月1日	前期開始	10月1日	開学記念日
4月上旬	入学式 ガイダンス等		後期開始 秋季入学式(大学院)
	定期健康診断 前期授業開始	10月上旬	後期授業開始
	前期授業終了	10月下旬～11月上旬	大学祭
8月上旬	前期授業終了	12月下旬～1月上旬	冬季休業
8月上旬～9月下旬	夏季休業	2月上旬	後期授業終了
9月下旬	秋季卒業式・修了式	2月上旬～3月31日	春季休業
9月30日	前期終了	3月下旬	卒業式・修了式
		3月31日	後期終了

- 年間スケジュールの**日程・期日は年度ごとに異なります**。毎年度本学のホームページ「在学生の方・修学案内・年間スケジュール」(<https://www.yamanashi.ac.jp/campuslife/78>)に掲載されますので、年度ごとに確認してください。

キャンパス案内図

(甲府西キャンパス)

〒400-8510
甲府市武田4-4-37

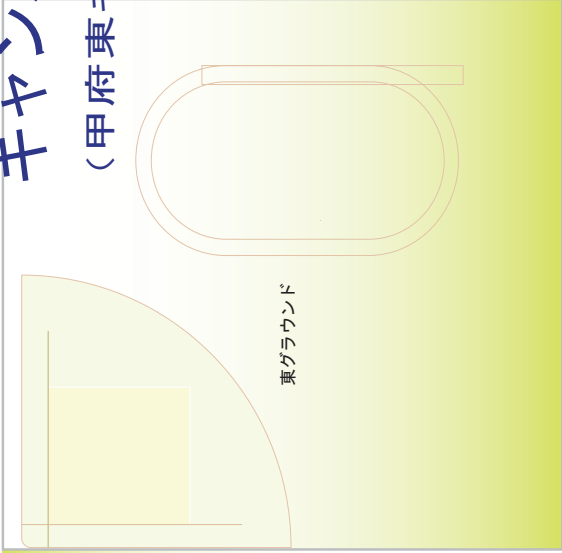


甲府西キャンパス 教室一覧

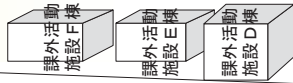
建物名称	階	教室名	建物名称	階	教室名
J号館	3階	J-321	N号館	1階	N-11 N-12
				2階	N-21 N-24
1階	3階	N-32 N-33			
	4階	N-41 N-42			
L号館C棟	1階	LC-11 LC-12 LC-13 LC-14	1階	S1-11 S1-12 S1-13 S1-14	
		LC-15 LC-16 LC-17		2階	S1-21 S1-22
		LC-21 LC-22 LC-23 LC-24 LC-25 LC-26 LC-27	2階	1階	Y-11 Y-12 Y-13 Y-14 Y-15
M号館	1階	M-11 M-12	Y号館 (総合研究棟)	1階	Y-31 Y-32 Y-33
				3階	

キャンパス案内図

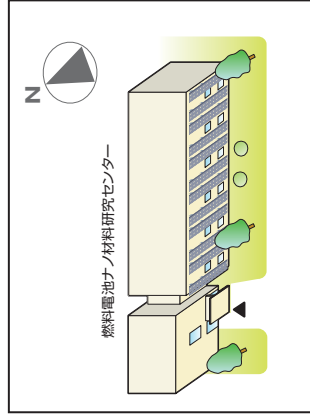
(甲府東キャンパス)



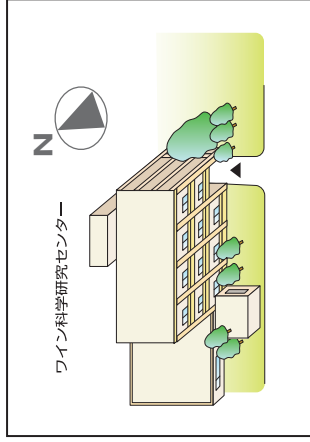
東グラウンド



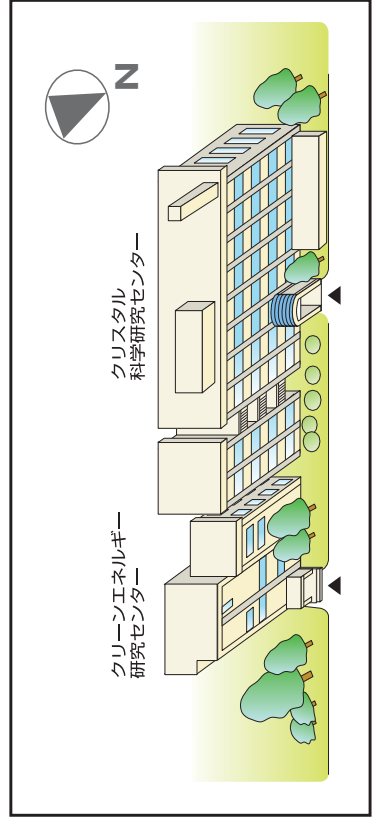
甲府キャンパス以外の場所にある本学の施設



燃料電池ナノ材料研究センター

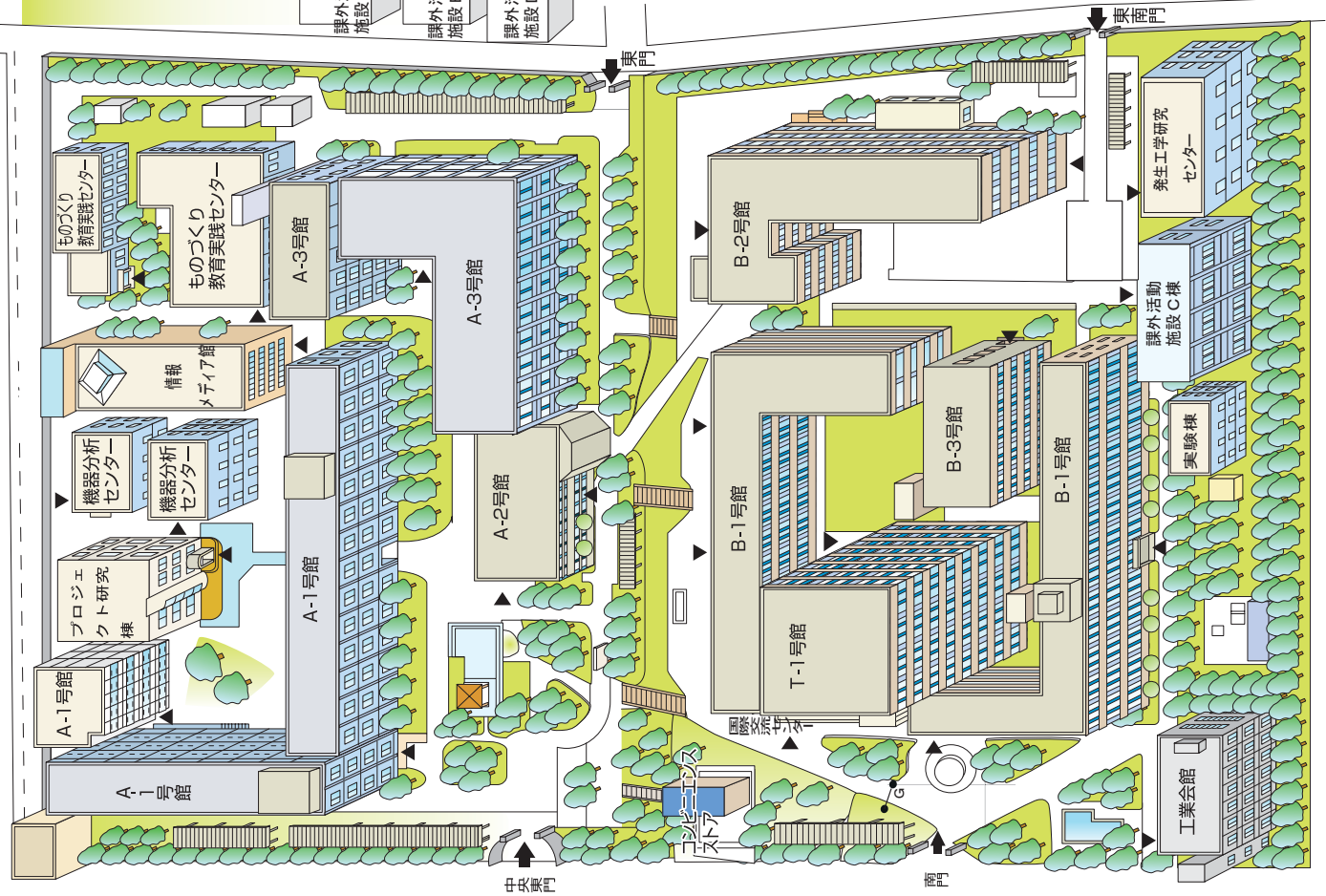


ワイン科学研究センター



クリーンエネルギー研究センター

クリスタル科学研究センター



甲府東キャンパス 教室一覧

建物名称	階	教室名	建物名称	階	教室名
A-1号館	1階	A1-11	B-3号館	2階	B3-21 B3-22
	3階	A1-31		1階	T1-11 T1-12
	4階	A1-41		2階	T1-21 T1-22
A-2号館	1階	A2-11 A2-12 (アクティブラーニング室)	T-1号館	3階	T1-31 T1-32
	2階	A2-21		第1実習室 第2実習室	
B-2号館	1階	B2-11	情報メディア館	2階	第3実習室
	2階	B2-21 B2-22		第4実習室 第5実習室	
	3階	B2-31 B2-32	工業会館	3階	工業会館3階会議室 (アクティブラーニング室)
	4階	B2-41 B2-42			

キャンパス案内図

(医学部キャンパス)

〒409-3898
中央市下河東1110



医学部キャンパス 教室一覧

建物名称	階	教室名
講義棟	1階	講義室(1103)・(1104)・(1105) チュートリアル室①~⑯
	2階	物理学実習室(1203) 講義室(1205) 化学実習室(1204) チュートリアル室⑯・⑰ 学生自習室 自学自習室①(1218)
	3階	生物実習室(1302)
実習棟	1階	解剖実習室(1153)
	2階	実習室1(生理・薬理・生化)(1251) 実習室2(組織・病理)(1257)
	3階	実習室3(生物・微生物・生化)(1357)
看護学科 教育研究棟	1階	講義室(8107)・(8109) 演習室1(8110) 演習室2(8111) 演習室3(8112) 演習室4(8113) 演習室5(8114) 演習室6(8115) 演習室7(8116) 演習室8(8117) 演習室9(8118)
	2階	講義室(8203)・(8204) 情報処理室(8202) 生命情報実習室I(8207) 生命情報実習室II(8211)
	3階	実習講義室(8309) 基礎・成人看護学実習室(8302) 健康科学実習室(8310)
臨床講義棟	4階	母性・小児看護学実習室(8402) 栄養調理実習室(8409) 人間工学実習室(8410) 環境科学実習室(8413)
	5階	地域・老人看護学実習室(8502) 行動科学実習室(8511)・(8512)・(8513) 臨床看護学実習室(8518) 演習室10(8514) 演習室11(8515)
		大講義室 小講義室

I 窓口電話番号一覧

全学生対象窓口

教務企画課	甲府西 キャンパス	Y号館2階	055 (220) 8043
学生支援課			055 (220) 8052
入試課			055 (220) 8046
進路支援室		大学本部棟1階	055 (220) 8739
国際企画課	甲府東 キャンパス	B-1号館2階	055 (220) 8047

所属学部等別学生窓口

教育学域支援課 教務グループ	甲府西 キャンパス	J号館1階	055 (220) 8729
生命環境学域支援課 教務グループ		生命環境学部 事務棟1階	055 (220) 8807
工学域支援課 教務グループ	甲府東 キャンパス	A-2号館2階	055 (220) 8734
医学域学務課 学生グループ	医学部 キャンパス	医学部 管理棟1階	055 (273) 9346

授業料納入窓口

会計課授業料納入窓口	甲府西 キャンパス	大学本部棟 2階	055 (220) 8025
管理課授業料納入窓口	医学部 キャンパス	医学部 管理棟1階	055 (273) 9239

学生相談に関する問い合わせ先

保健管理センター		保健管理センター	055 (220) 8081
学生相談室	甲府キャンパス	Y号館2階	055 (220) 8051
	医学部キャンパス	医学部管理棟1階	055 (273) 9346
キャリアセンター（キャリアアドバイザー）		大学本部棟1階	055 (220) 8319
カウンセリング・サポート室		B1号館3階	055 (220) 8565
アクセシビリティ・コミュニケーション支援室		B1号館2階	055 (220) 8706

Ⅱ 窓口業務案内・証明書発行

1. 全学生を対象とする窓口

利用時間 8:30~17:15

学生支援課

- 学生相談に関する事
- 課外活動に関する事
- 福利厚生施設の利用に関する事
- 入学料・授業料の免除に関する事
- 奨学金に関する事
- 事故・事件等に関する事
- 学生寄宿舎に関する事
- 学生保険に関する事
- 学割証の発行
- スポーツ用具等の貸出
- 遺失物・拾得物に関する事

教務企画課

- 全学共通教育科目に関する事
- 全学共通教育科目を担当する非常勤講師に関する事
- 総括評価（試験等）に関する事
- 退学・休学・復学・再入学等に関する事
- 在学に関する証明書の発行
- 氏名・本籍・現住所等の登録・変更

進路支援室・キャリアセンター

- 進路・就職情報の収集・提供
- 就職関係ガイダンス等の実施
- キャリアアドバイザーによる相談
- キャリア教育の企画・推進

ここに掲載されている窓口は、甲府キャンパスにあり、すべての学部生・大学院生等のための窓口です。



ただし、医学部キャンパス在学学生は、医学域学務課窓口を利用してください

入試課

- 大学院入学試験に関する事
- 特別支援教育特別専攻科入学試験に関する事
- 編入学試験に関する事

国際企画課

- 留学生の入国管理手続きに関する事
- 留学生の修学及び生活等に関する相談
- 留学生の奨学金に関する事
- 留学生の宿舎に関する事
- 本学からの海外留学等に関する事

2. 所属別学生窓口

利用時間 8:30~17:15

- 教育学部生
- 特別支援教育特別専攻科生
- 教育学研究科大学院生

教育学域支援課・教務グループ
附属教育実践総合センター・教職支援室

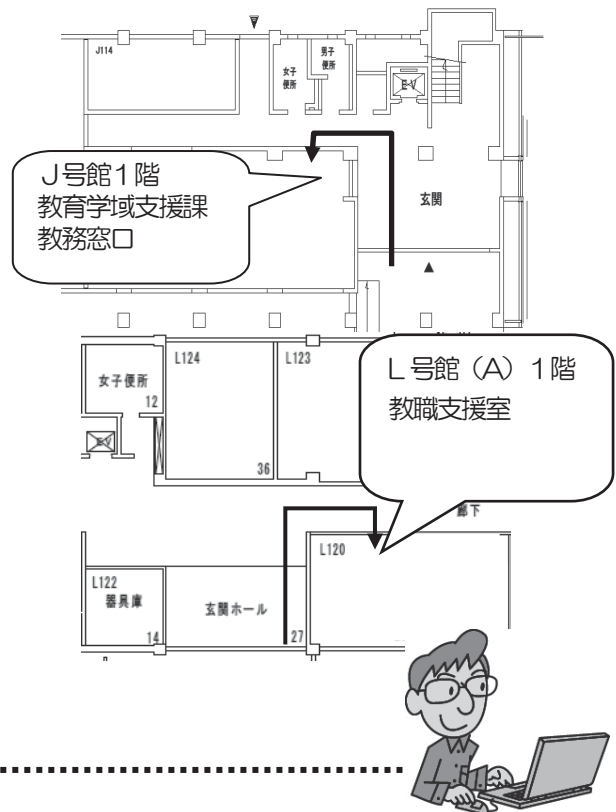
(甲府西キャンパス・J号館、L号館(A))

【教務グループ】

- 履修指導に関すること
- 履修申告に関すること
- 成績に関すること
- 履修成績関係の証明書に関すること
- 教育職員免許状に関すること
- 教育実習に関すること
- 介護体験実習に関すること
- インターンシップに関すること
- 退学・休学・復学・再入学等に関すること

【教職支援室】

- 教職への就職支援に関すること
- ※ 教員を目指す学生さんは学部にかかわらず
利用可能です

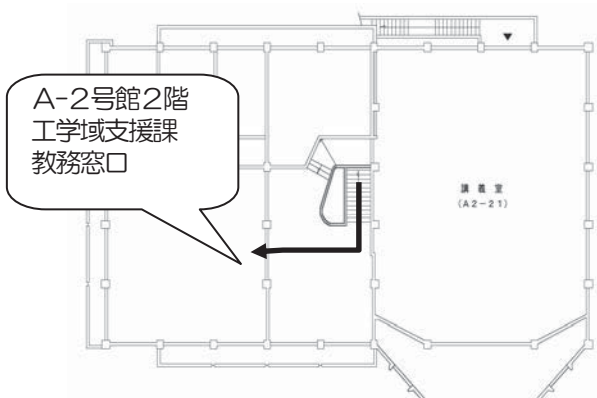


- 工学部生
- 医学工学総合教育部大学院生 (工学系)
- 医工農学総合教育部大学院生 (工学系)

工学域支援課・教務グループ

(甲府東キャンパス・A-2号館)

- 履修指導に関すること
- 履修申告に関すること
- 成績に関すること
- 履修成績関係の証明書に関すること
- 教育職員免許状に関すること
- インターンシップに関すること
- 退学・休学・復学・再入学等に関すること

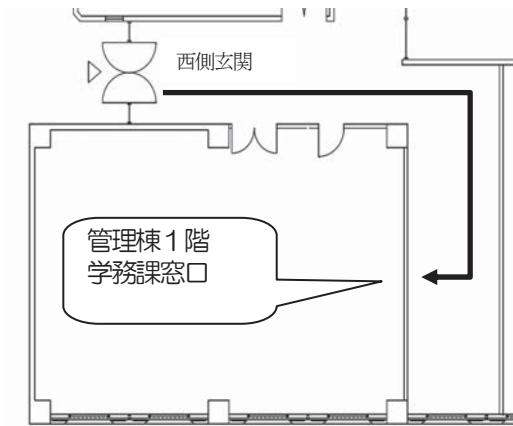


- 医学部生
- 医学工学総合教育部大学院生（医学系）
- 医工農学総合教育部大学院生（医学系）

医学域学務課

（医学部キャンパス・管理棟）

- 履修指導に関する事
- 履修申告に関する事
- 成績に関する事
- 履修成績関係の証明書に関する事
- 医師・保健師・看護師・助産師の
国家試験に関する事
- インターンシップに関する事
- 臨床実習に関する事
- 看護実習に関する事
- スモールクラスに関する事
- 退学・休学・復学・再入学等に関する事

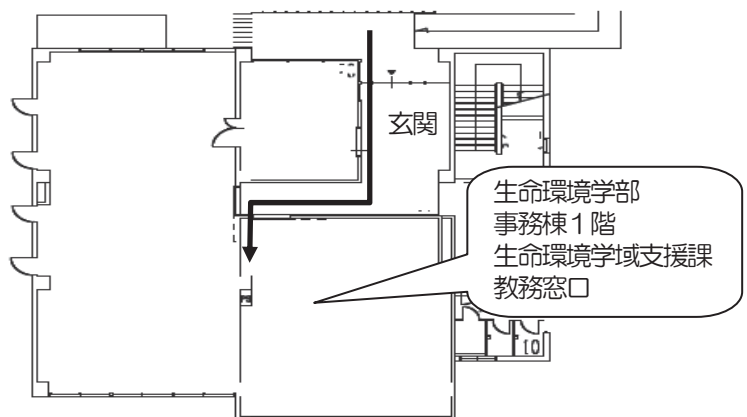


- 生命環境学部生
- 医工農学総合教育部大学院生
（生命系）

生命環境学域支援課・教務グループ

（甲府西キャンパス・生命環境学部事務棟）

- 履修指導に関する事
- 履修申告に関する事
- 成績に関する事
- 履修成績関係の証明書に関する事
- インターンシップに関する事
- 退学・休学・復学・再入学等に関する事



3. 教室使用に関する窓口

利用時間 8:30~17:15

以下の教室の使用に関することは、該当の各窓口を確認願います。

窓 口	教 室 名 称
教育学域支援課 教務グループ	L号館C棟、M号館、N号館の教室
工学域支援課 教務グループ	A-1号館、A-2号館、B-2号館、 B-3号館、T-1号館の教室
医学域学務課	医学部の教室
生命環境学域支援課 教務グループ	S1号館の教室
教学支援部・教務企画課	Y号館の教室

※ 甲府キャンパスの教室を使用したい場合は、希望日の3日前（土日祝日を除く）までに申請が必要です。

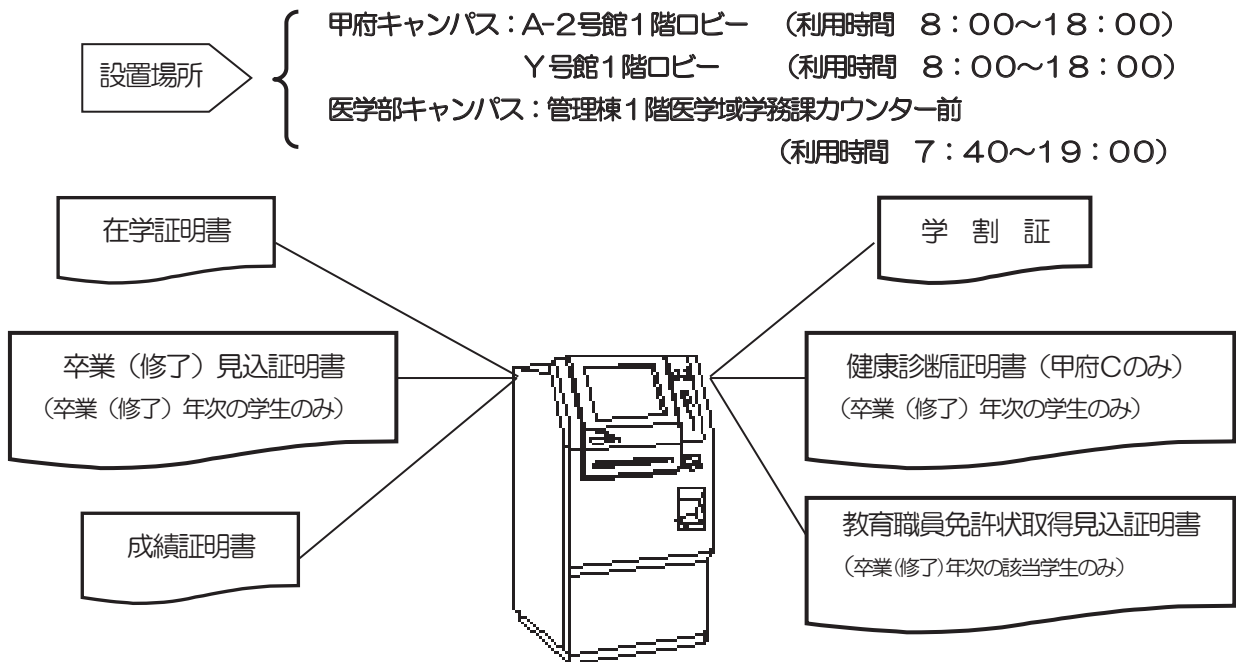
※ 音を出す課外活動は、L号館C棟を使用してください。

使用可能時間は、授業期間の平日18:00~20:00です。

4. 各種証明書の発行窓口

○各種証明書は、証明書発行機と学生窓口で発行できます。

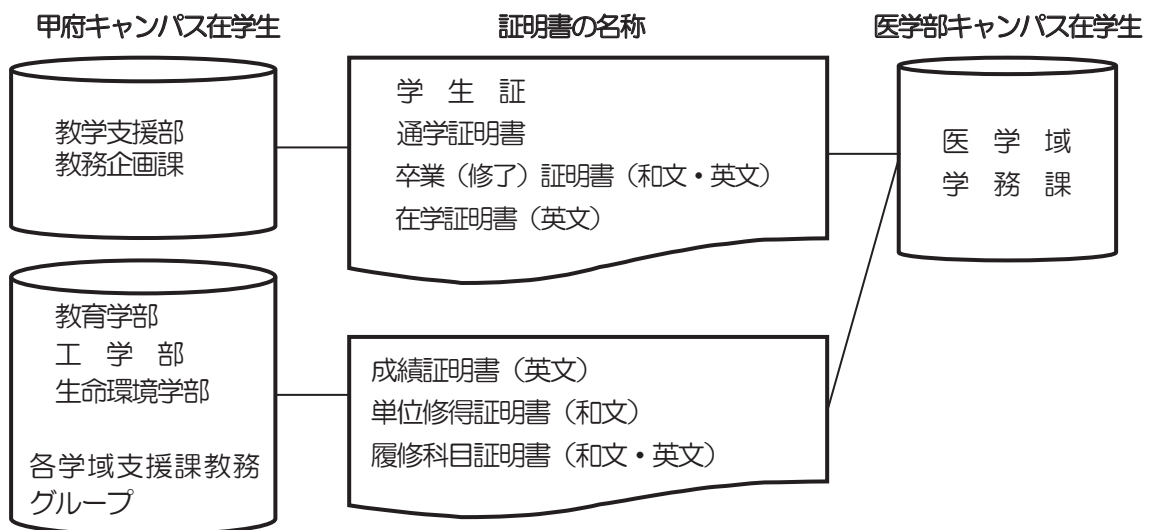
■証明書発行機により取得できる証明書



- ◎ 証明書発行機を利用するためには、学生証が必要です。
- ◎ 英文証明書は、証明書発行機では取得できません。

■証明書発行機では取得できない証明書及びその発行窓口

窓口時間＝8：30～17：15



- ※ 保健管理センターでは、卒業（修了）年次以外の学生の健康診断証明書を発行しています。
- ※ 現在大学院に在学中で、過去に所属していた学部及び大学院の証明書を取得する場合は有料です。
（和文証明書：300円、英文証明書：500円）

Handwriting practice lines consisting of 20 horizontal dotted lines.



Handwriting practice lines consisting of 4 horizontal dotted lines.

I 学生生活留意事項

入学から卒業まで、これは知っておこう！



1. 学生への学内通知と連絡方法について

学生へのお知らせや休講・時間割変更・授業料等の減免・奨学金等の情報は、主にキャンパスネットワークサービス（YINS-CNS）により通知しますので、毎日確認するよう心がけてください。これらの情報を見ていなかったために、学籍や成績、経済的なことなどに関して不利益が生じた場合は、すべて自己の責任となりますので、十分留意してください。

なお、YINS-CNSはインターネットに接続されたパソコン等から利用できます。また、甲府キャンパスでは情報処理教室や学内オープン端末から、医学部キャンパスでは講義棟・看護教育研究棟・臨床講堂の玄関ロビー等に設置されたパソコンから利用できます。

また、iPhoneやAndroidといった携帯端末をお持ちの方は、YINS-CNSのアプリケーションをインストールして利用できますので、必ずダウンロードをしてください。

【安否確認サービス】

本学では、大地震等の自然災害発生時における学生及び教職員の安否確認を行う手段として、携帯電話等のメールアドレスに安否確認メール等を送信する「安否確認サービス」を導入しています。事前に登録された携帯電話等のメールアドレスへ本学から安否確認や緊急連絡のためのメールを送信します。

※気象警報・特別警報及び公共交通機関途絶に伴う授業の取扱いについての連絡にも利用します。

※携帯電話等のメールアドレスの登録状況をCNSで必ず確認してください。

※設定変更はパソコン用画面のみ可能となっています。

2. 家族等からの学生への連絡について

(1) 学生への個人的な連絡（電話の取次、郵便物の受け渡し等）への対応は、原則として一切行いません。ただし、家族であることが確認でき、緊急と判断できる場合は別とします。

(2) 学生の住所・電話番号等の照会については、親族であっても、その確認が難しい場合又はその理由によっては応じられないこともあります。

また、本学の学生が他の学生の住所・電話番号等を照会することはできません。

（特別な事情であると認められる場合を除く。）

3. 氏名・本籍・現住所等の登録・変更

窓口

甲府キャンパス：教務企画課

医学部キャンパス：医学域学務課

氏名・本籍・現住所等に変更があった場合、速やかに変更手続きを行ってください。特に氏名については、卒業時の学位記（卒業証書）及びすべての証明書等に使用されますので、就職や教員免許状などの資格取得の際に大きな障害となることがあります。

また、現住所等が正しい連絡先を登録されていない場合は、災害時の安否確認を含む本学からの重要な連絡・通知が届きませんので、必ず変更手続きを行ってください。

【変更方法】

1. 学生本人の現住所、電話番号、携帯電話番号、携帯メールアドレス等の変更
CNSの「連絡先情報変更/Change Contact Information」、または各キャンパスの窓口で変更してください。
2. 上記1以外の学生本人の氏名等、保護者・保証人の現住所等の変更
各キャンパスの窓口で変更してください。

4. 休学・復学・退学

窓口

甲府キャンパス：教務企画課、各学域支援課教務グループ
医学部キャンパス：医学域学務課

(1) 休学

病気その他の事由によりやむを得ず2ヶ月以上学習を継続できない場合には、「休学願」を提出し、休学することができます。（休学については、学則に記載されていますのでお読みください。）甲府キャンパス学生（医学部1年生を除く）は休学しようとする日の20日前まで、医学部キャンパス学生・医学部1年生は休学しようとする日の1ヶ月前までに「休学願」を提出してください。

なお、休学する期間によっては、授業料納入にも関係しますので、事前に窓口において相談するなど、「休学願」の提出にあたっては十分注意してください。

(2) 復学

承認された休学期間が終了する場合は、「復学願」を提出する必要があります。甲府キャンパス学生（医学部1年生を除く）は復学しようとする日の20日前まで、医学部キャンパス学生・医学部1年生は復学しようとする日の1ヶ月前までに「復学願」を提出してください。

なお、遅延した場合、復学しようとする学期の履修申告が受けられない場合がありますので、十分注意してください。

(3) 退学

やむを得ない事由により退学しようとする場合は、「退学願」を提出する必要があります。甲府キャンパス学生（医学部1年生を除く）は退学しようとする日の20日前まで、医学部キャンパス学生・医学部1年生は退学しようとする日の1ヶ月前までに「退学願」を提出してください。

なお、退学する時期によっては授業料納入にも関係しますので、事前に窓口において相談するなど「退学願」の提出にあたっては十分注意してください。

奨学金の貸与・給付期間中に身分の異動（休学、復学、退学、留学、転学部や奨学金の辞退等）がある場合は、上記の手続とは異なりますので学生支援課または医学域学務課に申し出てください。

5. 懲戒及び除籍

問合せ先

甲府キャンパス：教務企画課・学生支援課
医学部キャンパス：医学域学務課

(1) 懲戒について

「学則に違反し又は学生としての本分に反する行為があった場合」は、「退学」、「停学」

又は「訓告」の懲戒処分となります。

なお、「停学」は、一定期間登校を停止する処分です。

停学期間内においては、「試験等の受験」及び「次年度（次学期）の履修申告」はできません。
停学期間は、卒業に必要な修業年数に含まれません。つまり、停学となった場合、停学期間の長短にかかわらず、また、卒業に必要な単位を修得している場合であっても、通常の年限（4年間・医学科は6年間）では卒業できません。

○懲戒の対象となる事例

傷害、窃盗等の犯罪行為、又は試験等における不正行為、
 交通事故・交通違反などにおいて重大な過失があった場合
 （自転車、バイク及び車の運転には十分注意してください。）

奨学金の貸与・給付期間中に懲戒処分を受けた場合、奨学金が「停止」または「廃止」、「返還」となることがあります。奨学金を利用する場合は、特に懲戒処分となるような行為がないよう十分に注意してください。

(2) 除籍について

次のいずれかの事由に該当するときは、除籍となります。

- (ア) 所定の在学年限内に所定の単位を修得できない場合
- (イ) 休学期間を超えてなお復学できない場合
- (ウ) 入学料の免除が不許可となった者並びに半額免除又は徴収猶予された者が、所定の期日までに入学料を納入しない場合
- (エ) 授業料の納入を怠り、督促してもなお納入しない場合
- (オ) 長期にわたり行方不明である場合

6. 授業料の納入



甲府キャンパス：本部棟 会計課授業料納入窓口 (055-220-8025)
 医学部キャンパス：管理棟 管理課授業料納入窓口 (055-273-9239)

① 納入時期	前期分＝4月 後期分＝10月
② 納入方法	1) 口座引落・・・学生本人名義の預金口座から引落とし 2) 窓口納入・・・会計課又は管理課窓口で現金で納入（やむを得ない場合のみ） 受付時間 8：30～17：00（ただし、土・日・祝日を除く）
③ 通知方法	4月と10月にキャンパスネットワークサービス（YINS-CNS）で通知
<p>※ 授業料は、前期・後期の半期ごとに、それぞれ定められた期間内に納入しなければなりません。定められた期間内に納入されなかった場合には、大学から保証人宛に督促状を発送します</p> <p>※ 引落とし口座の登録は、「授業料引落とし依頼書（山梨中央銀行用）」、「自動払込利用申込書（ゆうちょ銀行用）」、「預金口座振替依頼書・自動払込利用申込書（その他の金融機関用）」のいずれか一つを会計課、又は管理課窓口へ提出する必要があります。</p>	

7. 学生の表彰

問合せ先

甲府キャンパス：学生支援課
医学部キャンパス：医学域学務課

本学では、下記の基準により、全学における学生表彰を行っています。
自薦・他薦を問いませんので、該当事項がある場合は、上記問い合わせ先に相談してください。
なお、学部での学生表彰もありますので、必要に応じて所属学部教務窓口にお問い合わせください。

(表彰基準)

学生の表彰は、次の各号に該当する個人又は団体について行います。

- (1) 学業
学業において、特に優秀な成績を修め、かつ本学学生の模範となると認められた場合
- (2) 学術研究活動関係
ア 関東地区規模以上の学会等において賞を受けた場合
イ その他、アに準じた功績等で高い評価を受けた場合
- (3) 課外活動関係
ア 国際規模の競技会、コンクール、展覧会、公演会等（以下「競技会等」という。）に出場、出展又は出演した場合
イ 全国規模の競技会等（参加大学又は学部等を限定する競技会等を除く。）に出場し、入賞した場合
ウ 関東（関東甲信越）規模の競技会等（参加大学又は学部等を限定する競技会等を除く。）において、優秀な成績を収めた場合
エ 参加大学又は学部等を限定する競技会等において、以下の成績を収めた場合
① 東日本医科学生総合体育大会及び全日本医科学生体育大会において、入賞（1～3位）した場合
② 関東甲信越大学体育大会において、優勝した場合
③ その他、これに準ずる競技会等において、優勝した場合
オ その他ア～エに準ずる競技会等において、特に優秀な成績を収めた場合
- (4) 社会活動関係
ア 社会活動に関し、公共団体等から表彰を受けた場合
イ 人命救助、犯罪防止、災害予防、ボランティア活動等に貢献し、社会的に高い評価を受けた場合
ウ 課外活動のうち、地域社会及び大学に貢献したと思われる活動があった場合
- (5) その他、前4号に掲げる場合以外において、その行為が社会的に高く評価される等、本学学生の模範となりうると認められた場合

8. 拾得物・遺失物

窓口

甲府キャンパス：学生支援課、各学域支援課教務グループ
医学部キャンパス：医学域学務課

(1) 拾得物について

学内で、落とし物を拾った・忘れ物を見つけた場合は、学生支援課、各学域支援課教務グループ若しくは学務課窓口へ届けてください。

(2) 遺失物について

学生支援課、各学域支援課教務グループ若しくは学務課へ届けられた拾得物は、各窓口にある「遺失物陳列棚」に一定期間陳列しますので、そこに自分の物があった場合は窓口へ申し出てください。

ただし、金銭・財布・カードなどについては陳列しませんので、落とした場合は、窓口へ直接申し出てください。

Ⅱ 本学で使用する記号

1. 学部・課程・学科等の記号

学部	記号	課程	コース	記号
教育学部	E	学校教育課程	幼小発達教育コース	O1
			障害児教育コース	O2
			言語教育コース	O3
			生活社会教育コース	O4
			科学教育コース	O5
			芸術身体教育コース	O6

学部	記号	学科	記号
医学部	D	医学科	SM
		看護学科	SN

学部	記号	学科	記号
工学部	T	機械工学科	ME
		メカトロニクス工学科	JM
		電気電子工学科	EE
		コンピュータ理工学科	CS
		土木環境工学科	CE
		応用化学科	AC
		先端材料理工学科	AM

学部	記号	学科	記号
生命環境学部	L	生命工学科	BT
		地域食物科学科	FS
		(ワイン科学特別コース)	(FSW)
		環境科学科	EV
		地域社会システム学科	SS
		(観光政策科学特別コース)	(SST)

2. 大学院の記号

研究科	記号	課程	専攻	記号
教育学研究科	M	教職大学院の課程	教育実践創成専攻	EP

教育部	記号	課程	専攻等	コース	記号
医工農学総合教育部	G	修士課程	生命医科学専攻		SM
			看護学専攻		SN
			工学専攻	機械工学コース	TM
				電気電子工学コース	TE
				コンピュータ理工学コース	TK
				メカトロニクス工学コース	TJ
				土木環境工学コース	TC
				応用化学コース	TA
				先端材料理工学コース	TZ
				流域環境科学特別教育プログラム	TR
	グリーン社会-変換工学特別教育プログラム	TG			
	生命環境学専攻	バイオサイエンスコース	LB		
		食物・ワイン科学コース	LF		
		地域環境マネジメントコース	LR		
	G	博士課程	医学専攻		DDM
			ヒューマンヘルスケア学専攻		DDN
			工学専攻	システム統合工学コース	DTS
エネルギー物質科学コース				DTE	
環境社会システム学コース				DTK	
統合応用生命科学専攻			生命農学コース	DIA	
			生命医科学コース	DIM	
			生命工学コース	DIB	

3. 専攻科の記号

専攻科	記号	専攻	コース	記号
特別支援教育特別専攻科	S	障害児教育専攻	Aコース	TSA
			Bコース	TSB

4. 学 籍 番 号

(1) 教育学部学生の学籍番号

(例)	学部記号	入学年度 (西暦下2桁)	コース記号	コース別 五十音順番号
E**01001	E	**	01	001

(2) 医学部学生の学籍番号

(例)	学部記号	入学年度 (西暦下2桁)	学科記号	学科別 五十音順番号
D**SM001	D	**	SM	001

(3) 工学部学生の学籍番号

(例)	学部記号	入学年度 (西暦下2桁)	学科記号	学科別 五十音順番号
T**ME001	T	**	ME	001

(4) 生命環境学部学生の学籍番号

(例)	学部記号	入学年度 (西暦下2桁)	学科・コース 記号	学科・コース別 五十音順番号
L**BT001	L	**	BT	001

(5) 大学院学生の学籍番号

(例)	研究科・教育部 記号	入学年度 (西暦下2桁)	専攻・コース 記号	専攻・コース別 五十音順番号
M**EPO01	M	**	EP	001
G**SM001	G	**	SM	001

(6) 専攻科学生の学籍番号

(例)	専攻科記号	入学年度 (西暦下2桁)	コース記号	コース別 五十音順番号
S**TSA01	S	**	TSA	01

(7) 研究生・科目等履修生・特別研究学生・特別聴講学生の学籍番号

(例)	所属学部	課程	記号	種別	記号(英字)	
E**RRO01	教育学部		E	研 究 生	RR	
T**RME01	医学部		D		RR	
G**RSM01	工学部		T		R□□	
G**RDA01	生命環境学部		L		RR	
M**LLO01	教育学研究科		M		RR	
G**3LO01	大学院医工農学総合教育部	修士課程	G		R□□	
G**4LO01	//	4年博士課程	G		R□□	
E**LX001	//	3年博士課程	G		R□□	
	教育学部		E		科 目 等 履 修 生	LL
	工学部		T			LL
	生命環境学部		L	LL		
	教育学研究科		M	LL		
	大学院医工農学総合教育部	修士課程	G	LL		
	//	4年博士課程	G	4L		
	//	3年博士課程	G	3L		
	教育学部		E	特 別 研 究 学 生	RX	
	工学部		T		RX	
	生命環境学部		L		RX	
	教育学研究科		M		RX	
	大学院医工農学総合教育部		G		RX	
	教育学部		E	特 別 聴 講 学 生	LX	
	工学部		T		LX	
	生命環境学部		L		LX	
	教育学研究科		M		LX	
	大学院医工農学総合教育部		G		LX	
	国際交流センター		I		LX	

□は所属学科等の記号

Ⅲ 学生年間行事

甲府キャンパスの学生行事

- (1) 新入生交歓会《4月》
各学科（講座）単位で教員、在学生、新入生が交流を深めることを目的とした行事で、ピクニックなどが行われます。
- (2) 新入生オリエンテーション《4月中旬～5月中旬》
新入生等を対象に、各学域や学科等の単位で実施される行事です。教職員と相互理解を深めたり、修学や将来の進路等のポイントなどについて意見交換し、また、あたらしい友人関係が得られたりします。
- (3) 関東甲信越大学体育大会《8月》
関東甲信越（東京地区を除く）の国立大学 11 校、公立大学 2 校の学生が参加し行われる学生総合体育大会です。このうちの 3 若しくは 4 大学が開催当番校となり実施されます。
- (4) 大学祭（梨甲祭）《10月下旬～11月上旬》
学生団体の大学祭実行委員会により行われる行事です。学内を一般に公開し、日頃の研究及び活動の発表や、仮装パレードをはじめとする様々なイベント等が行われます。

医学部キャンパスの学生行事

- (1) 医学部新入生歓迎会《4月上旬》
医学部及び医学部キャンパスを紹介することを目的に医学部学生会が開催します。医学部キャンパスのサークル紹介や懇親会等も行われます。
- (2) 大学祭（医学祭）《10月下旬》
学内を一般に公開し、医学展及び看護展を中心に展示・発表や各種イベントが行われ、地域住民との交流を深めています。
- (3) 東日本医科学生総合体育大会（東医体）《8月上旬（冬季競技を除く）》
東日本の国公立医科大学の友情を深めるため、医科学生が自主的に運営する体育大会です。本学部も昭和 56 年度（第 24 回）大会から参加しています。また、東医体と西医体（西日本の大会）の各種目の上位代表大学で競い合う、全日本医科学生体育大会も開催されています。
- (4) 新入生オリエンテーション
4月中旬～5月中旬に行われる新入生のオリエンテーションです。学科単位で実施され、教員等と修学・進路・大学生活の過ごし方などの意見交換をするなかで、あたらしい友人関係が得られたりします。

山梨大学学生歌

夢に向かって

作詞：稲岡 俊一
作曲：上田 理沙

キャンパス案内
・基礎知識



1. あお い キャンパス おおぞらに おも いのままに えが くゆめ つら
2. のべ に きせつのはな がさき しぜん のなかに めぐ まれて れき
3. ときの な がれは たえまなく まな びのみちは はて しなく ちか



なる やまの その むこう せか いにつな がる ころざ し わか
しも ふかい この とちに あら たな えい こう きずきゆ く たが
らに みちた まな ざしで みら いをみつめて すすみゆ く しゃか



さに かがやく | せいえいが、つどう われらの やまなしだいがく
いに ちか った |
いに やくだつ |

3	2	1
時の流れは 絶え間なく 学びの道は 果てしなく 力に満ちた まなざしで 未来をみつめて 進み行く 社会に役立つ 精鋭が 集う我等の 山梨大学	野辺に季節の 花が咲き 自然の中に 恵まれて 歴史も深い この土地に 新たな栄光 築き行く 互いに誓った 精鋭が 集う我等の 山梨大学	あおいキャンパス 大空に 思いのままに えがく夢 連なる山の その向こう 世界につながる ころざし 若さにかがやく 精鋭が 集う我等の 山梨大学

山梨大学学生歌「明日の翼ひろげ」

作詞：岩崎 巖
作曲：藤原嘉文

The musical score is written in 6/8 time and consists of eight staves. The lyrics are as follows:

1 あじすののつかいはらさをひろげりかい
2 じぶんののつかいはらさをひろげりかい
3 しきののつかいはらさをひろげりかい

ぜきののなかにをたさると一よあつ
まののみにでさうがおそよよな
もえ

いみらいただいをはきわかいこ
みるあこえはあひび

ころよ おおぞらかけよう

ch my young days in my hear-t ch

my young days in Ya ma na-shi ch

my young days in my heart Lhi-ver-si

-ty of Ya ma na-shi

1. 明日の翼ひろげ 風の笛に立とうよ 2. 自分の殻を破り 生きる道を探そうよ 3. 四季の色がめぐる山の国で歌おうよ
 熱い未来 だいて 若い心よ 縋み明けた朝は 若い心よ 燃える声は ひびき 若い心よ
 大空 翔けよう 大空 翔けよう 大空 翔けよう

※ Oh! My young days in my heart
 Oh! My young days in yamanashi
 Oh! My young days in my heart
 University of Yamanashi

Handwriting practice lines consisting of 20 horizontal dotted lines.



Handwriting practice lines consisting of 4 horizontal dotted lines.

Handwriting practice lines consisting of 20 horizontal dotted lines.

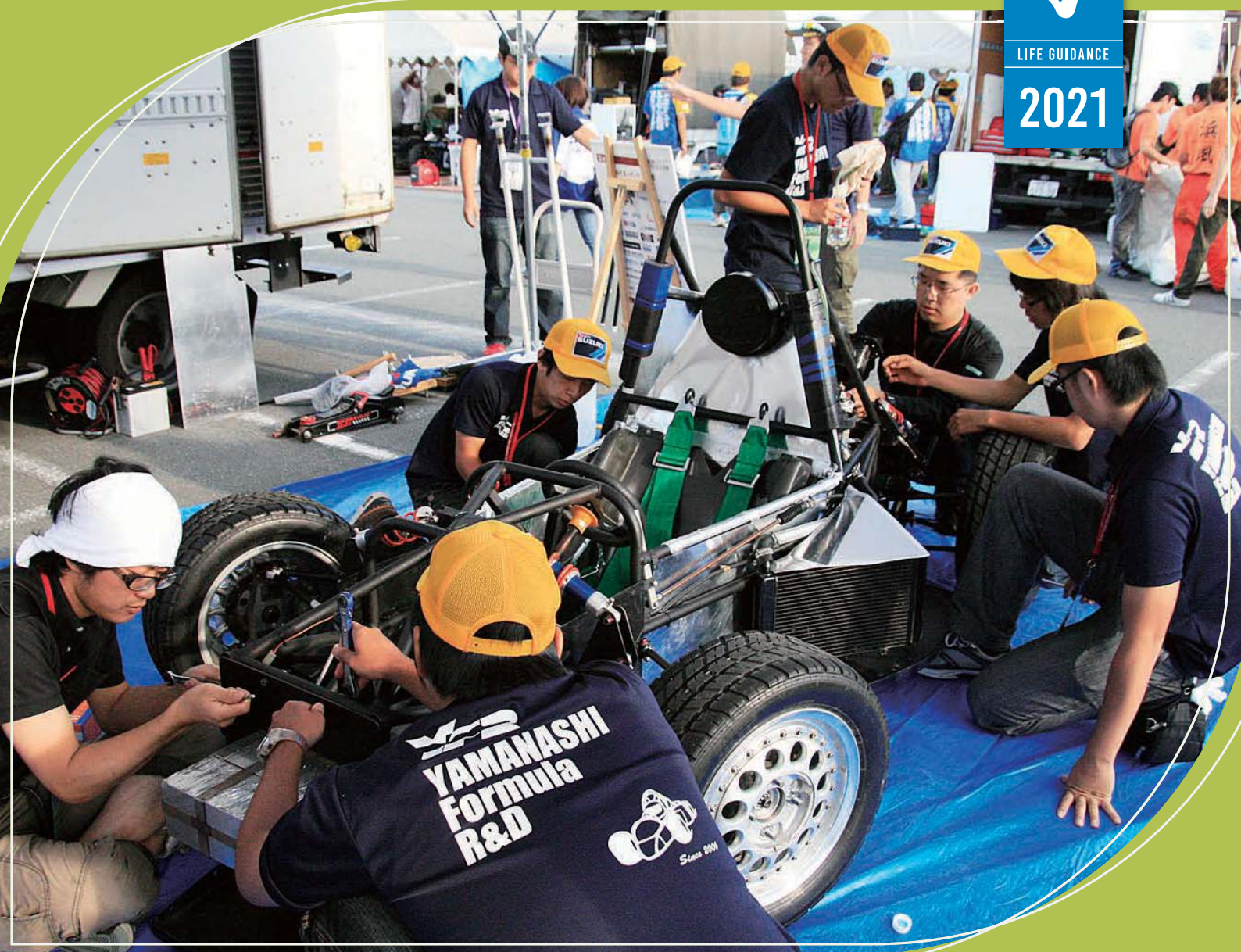


Handwriting practice lines consisting of 4 horizontal dotted lines.



LIFE GUIDANCE

2021



課外活動支援

甲府キャンパス・医学部キャンパス

- ◎スポーツ施設とその利用方法
- ◎学生団体・サークル等の紹介
- ◎学生団体・サークル活動に関する届出事項等
- ◎レクリエーション用具等の貸出

課外活動支援 目次

I 甲府キャンパス

1. スポーツ施設とその利用方法 31
2. 学生団体・サークル等の紹介 32
3. 学生団体・サークル活動に関する届出事項及び留意事項 33
4. レクリエーション用具等の貸出 34

II 医学部キャンパス

1. スポーツ施設とその利用方法 35
2. 学生団体・サークル等の紹介 36
3. 学生団体・サークル活動に関する届出事項及び留意事項 37
4. レクリエーション用具等の貸出 37

I 甲府キャンパス

窓口 学生支援課（甲府キャンパス）

1. スポーツ施設とその利用方法

- 利用にあたっては、窓口で「感染拡大防止対策に留意したサークル活動申込書」や「体育施設使用願」の提出が必要です。
- 授業及びサークル活動の優先使用となりますが、空いている場合は、グループ又は任意の団体等で利用できます。



体 育 館	競技設備等	バレーボールコート（2面）、バドミントンコート（6面） バスケットボールコート（2面）
	付帯設備等	更衣室、シャワー室、トイレ、観客席
小体育館	競技設備等	卓球場、空手道場
	付帯設備	トイレ
武 道 場	競技設備等	柔道場、剣道場
	付帯設備	更衣室、シャワー室
弓 道 場	競技設備等	6人立ち弓場、的場
プ ー ル	競技設備等	50m×15m（7コース）
	付帯設備	更衣室、シャワー室、トイレ
グラウンド	競技設備等	スポーツ用多目的グラウンド（陸上、ラグビー、サッカー、野球、その他）
	付帯設備	シャワー室、更衣室、トイレ
テニスコート	競技設備等	人工芝コート（7面）
	付帯設備	駐車場、器具庫
鷹師運動場	競技設備等	フットサルコート
	付帯設備	器具庫、更衣室、トイレ

2. 学生団体・サークル等の紹介

★ 文化系サークル

音楽系	管弦楽団、吹奏楽団、合唱団、ギタークラブ、ピアノサークル、軽音楽部、フリーミュージック、WineRed (作曲・DTM)、ジャズ研究会、アカペラ部、BouncY (DJ)
芸術・文化系	美術部、写真部、劇団13番創庫 (演劇)、華道部、裏千家茶道部、表千家茶道部、g^2 (ゲーム等創作活動)
研究会・その他	天文部、E.S.S. (英語学習)、競技プログラミング部、Engineering サークル、鉄道研究会、競技百人一首、NICE (国際交流)、Change!!! (国際協力)、ラノベ部 (読書)、オリーブ (料理)、TOG サークル (カードゲーム)、TRPG研究会 (ロープレ)、ゲーム研究会、囲碁・将棋研究会 甲府南 RAC (ボランティア)、PASTEL (環境活動)

★ スポーツ系サークル

(___は、関東甲信越大学体育大会出場サークル)

球技	<u>硬式野球部</u> 、 <u>準硬式野球部</u> 、 <u>硬式テニス部</u> 、 <u>ソフトテニス部</u> 、(男子・女子) <u>バレーボール部</u> 、 <u>蹴球部</u> 、 <u>ラグビー部</u> 、 <u>バドミントン部</u> 、(男子・女子) <u>バスケットボール部</u> 、 <u>卓球部</u> 、 <u>女子蹴球部</u> TUESDAYS・V. I. P (バレーボール)、アメリカンフットボール部、2 OF B 風林火山 (野球・ソフト)、アイスホッケー部、F. S. Miracle・燃えミン (バドミントン)、 I. L. S・Fantasista・Mao Grande・脚MEN'S (フットサル) AMU・Buzzer Beater (バスケット)、T-スマ・SSHey Hey (テニス) 撞球部 (ビリヤード)
競技	<u>陸上競技部</u> 、 <u>水泳部</u> 、馬術部、C" UNE (フライングディスク)
武道	<u>剣道部</u> 、 <u>柔道部</u> 、 <u>空手道部</u> 、 <u>弓道部</u> 、合気道部、少林寺拳法部、躰道部
アウトドア	山岳部、野外活動部、旅サークルいってこうし、野外教育サークル、くだものぶ
ダンス	ダンス部
その他	学生フォーミュラ部、ワッパの会 (自転車) WINS友の会 (競馬)、ダブルダッチ (縄跳)、十柱戯サークル (ボウリング)

☆ 学生団体

甲府キャンパス学友会	甲府キャンパス学生団体・サークル等の代表組織
甲府キャンパス大学祭実行委員会	甲府キャンパス大学祭の企画・運営
山梨大学中国留学生学友会	中国留学生間の交流を深め留学生生活を支援

3. 学生団体・サークル活動に関する届出事項及び留意事項

(1) 公認等に関する届出事項

団体・サークル等の公認を受けたい場合(新規希望時提出)	「団体・サークル公認希望届」等
団体・サークル等の公認を継続する場合(毎年度提出)	「団体・サークル公認継続希望届」等

(2) 日常的な活動等に関する届出事項

団体・サークル等が大学の施設等を使用する場合	「施設使用願」
発表会・演奏会・対外試合・交流会等を開催する場合	「開催届」
合宿・遠征・登山等を行う場合	「合宿・遠征届」・「登山届」

(3) 団体・サークルの活動に関するルール等について

学生団体・サークルの活動に関して、下記の要項等が定められていますので、該当事項がある場合は、それぞれに設定されている手順に従って申請等してください。

記

① 学生団体・サークルの公認等全般について

○ 「甲府キャンパス課外活動団体の公認手続等に係る申合せ」
・ 公認について、「申請手続・公認要件・公認継続・公認取消」等が定められています。
・ 各種変更や学外活動時の届出についても定められています。
・ 公認団体の支援についても定められています。

② 部室の貸与について

○ 「甲府キャンパス学生団体・サークル等への部室等の貸与に関する要項」
・ 部室貸与について、「申請資格・申請手続・貸与継続・貸与解除」等が定められています。
・ 「部室等新規貸与願」は、随時提出できます。
・ 「部室等継続貸与願」は、毎年1～2月に提出してください。 (提出がない場合は貸与取消)

③ 学生団体の行う会費等の徴収について

○ 「入学手続（学務関係手続）における甲府キャンパス学生団体の会費等の徴収に関する要項」

- ・ 新入生から会費等を徴収できる学生団体及び申請資格等が定められています。
- ・ 申請する場合は、「会費等徴収申請書」を、徴収日の6ヶ月前までに提出

④ 新入生へのサークル等の勧誘活動について

○ 「新入生に対するサークル等の勧誘活動に関する要項」

- ・ 新入生の勧誘活動の開始日・勧誘方法等が定められています。

4. レクリエーション用具等の貸出

- 利用にあたっては、窓口で簡単な手続きが必要です。
 ○ 利用品目により「貸出・返却」の場所が異なります。
 （利用申請の際に貸出・返却場所の指示があります。）



(1) 球技用具

球技名	貸出品目	利用手続
ソフトボール	バット・グローブ・ベース	使用日の3日前までに 「物品借用願」を提出
バドミントン	ネット・ラケット	
テニス	ラケット	
バレーボール	ネット・ボール	
卓球	ラケット	
バスケットボール	ボール	

(2) アウトドア用品

貸出品目	規格等	利用手続
キャンプ用テント	3・5人用	使用日の3日前までに 「使用申込書」を提出
キャンプ用寝袋	夏用・冬用・3シーズン用	

(3) その他

	貸出品目	利用手続
(大型物品)	長机、パイプイス、イベント用テント、展示用パネル、立て看板、リヤカー	使用日の3日前までに 「物品借用願」を提出
(機器類)	ビデオカメラ、マイク、マイクスタンド、スピーカー、スクリーン、ハンドマイク、ドラムコード、ジェットヒーター、プロジェクター、トランシーバー、ストップウォッチ	

Ⅱ 医学部キャンパス

窓口

医学域学務課（医学部キャンパス）



1. スポーツ施設とその利用方法

- 利用にあたっては、窓口で簡単な手続きが必要です。
- 授業及びサークル活動の優先使用となりますが、空いている場合は、個人又は任意の団体等で利用できます。

施設名	競技設備等	備考
体育館	バレーボールコート 2面 バスケットボールコート 2面 バドミントンコート 6面	
陸上競技場	400mトラック (フィールド内) ラグビー場 1面 サッカー場 1面	
野球場	野球場 1面	
テニスコート	クレー 5面	
武道場	柔道場 剣道場等	
弓道場	6人立54㎡、的場23㎡	事前に弓道部の許可が必要

2. 学生団体・サークル等の紹介

☆ 文化系サークル

交響楽団	軽音楽部	美術部	茶道部
囲碁将棋部	梨っこ (医ゼミに参加する会)	東洋医学研究会	海外医学交流研究会
映画研究会	Yamanashi Life Support	星を観る会	サニースマイル
I FMSA-Yamanashi	Yamanashi Child University		

☆ スポーツ系サークル

準硬式野球部	サッカー部	男子バレーボール部	男子バスケットボール部
硬式テニス部	卓球部	女子バレーボール部	女子バスケットボール部
軟式テニス部	ハンドボール部	ゴルフ部	看護学科バスケットボール部
水泳部	ラグビー部	山岳部	バドミントン部
ウインドサーフィン部	剣道部	馬術部	弓道部
空手道部	漕艇部 (ボート部)	スキー部	フットサル部
アイスホッケー部	陸上競技部	ダンス部	

☆ 学生団体

医学部学生会	医学部学生の代表組織、年間を通して活動
--------	---------------------

3. 学生団体・サークル活動に関する届出事項及び留意事項

(1) 結成等に関する届出事項

団体・サークル等を結成する場合	「団体設立届」
団体・サークル等の活動を継続する場合	「団体継続届」 毎年4月下旬頃まで
団体・サークル等を解散した場合	「団体解散届」

(2) 日常的な活動等に関する届出事項

団体・サークル等で大学の施設等を使用する場合	「施設・設備使用願」
合宿・集会・催物・その他行事、登山を行う場合	「合宿届」、「集会・行事届」、「登山届」
学外の行事・大会に参加する場合	「集会・行事届」、「大会参加届」

(3) 福利厚生施設の利用について

団体・サークル等の活動のため福利厚生施設を使用する場合は、規程の使用区分に応じて、使用開始3日前までに「施設・設備使用願」を提出してください。

(注) 当該施設の使用規則を厳守してください。

火災・盗難防止や室内清掃には充分留意してください。

4. レクリエーション用具等の貸出

- 利用にあたっては、窓口で簡単な手続きが必要です。
- 利用品目により「貸出・返却」の場所が異なります。
(利用申請の際に貸出・返却場所の指示があります。)

貸出品目	利用手続／貸出・返却
トランシーバ	使用日の1週間前までに「物品借用願」を提出 貸出期間 通年 貸出・返却 常時
長机	
パイプイス	
組立てステージ	
イベント用テント	
プロジェクター	

Handwriting practice lines consisting of 20 horizontal dotted lines.



Handwriting practice lines consisting of 4 horizontal dotted lines.



経済的支援 福利厚生施設

- ◎高等教育の修学支援新制度
（授業料等減免と給付型奨学金）
- ◎奨学金・授業料免除・入学料免除等
- ◎アルバイト・学生保険
- ◎学生会館・学生寄宿舍・
大学共同利用研修施設等

経済的支援・福利厚生施設 目次

I 経済的支援

1. 高等教育の修学支援新制度（授業料等減免と給付型奨学金）	41
2. 奨学金	41
3. 授業料の免除等	42
4. 入学料の免除等	43
5. 学術研究奨励金制度	43
6. アルバイトの斡旋	43
7. 学生保険の案内	44

II 福利厚生施設

1. 大学会館	45
(附)山梨大学大学会館使用細則	
2. 学生寄宿舍	47
3. 厚生会館（山梨大学生生活協同組合）〈甲府キャンパス〉	48
4. 福利厚生棟〈医学部キャンパス〉	48
(附)山梨大学医学部キャンパス福利厚生施設使用細則	
5. 大学共同利用研修施設	50
レイクロッジヤマナカ（旧山中共同研修所）	

I 経済的支援

窓口

甲府キャンパス：学生支援課
医学部キャンパス：医学域学務課

1. 高等教育の修学支援新制度（授業料等減免と給付型奨学金）

大学等における修学支援に関する法律（令和元年法律第8号）に基づき、学部日本人学生等については、令和2年4月以降、一定の家計基準及び学力基準を満たすことにより、「授業料等の減免」、「日本学生支援機構の給付型奨学金の給付（原則返還が不要の奨学金）」の2つの支援を受けることができます。

給付型奨学金の奨学生に採用されるとその支援区分により、授業料・入学金（新入生のみ）の減免と給付奨学金を受けることができます。

授業料等の減免を希望する場合は、必ず給付型奨学金の申請をしてください。

制度の概要や認定の要件等、詳細については、文部科学省やJASSOの以下のWebサイトでご確認ください。

○高等教育の修学支援新制度（文部科学省）

https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/hutankeigen/index.htm

○奨学金の制度（給付型）（JASSO）

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/kyufu/index.html>

2. 奨学金

本学で扱っている奨学金には、「日本学生支援機構」及び「地方公共団体又は民間奨学団体」の奨学金があります。これらの奨学金は、いずれも学業、人物ともに優れ、かつ健康であり、経済的理由により就学困難な者が対象になります。

なお、募集案内等はYINS-CNSに掲載します。

（1）日本学生支援機構の奨学金

① 貸与奨学金（※貸与月額、令和2年度の金額です。）

[学部学生・専攻科学生]

種類	貸与月額	備考
第一種	自宅 2万、3万、4.5万円から選択 自宅外 2万、3万、4万、5.1万円から選択	無利息
第二種	3万、5万、8万、10万、12万円から選択	年利3%が上限 (在学中は無利息)

[大学院生（修士・教職大学院・博士）]

種 類	貸与月額	備 考
第一種	修士課程 5万、8.8万円から選択 教職大学院課程 5万、8.8万円から選択 博士課程 8万、12.2万円から選択	無利息（採用時返還免除内定制度（博士課程のみ）、特に優れた業績による返還免除制度あり）
第二種	5万、8万、10万、13万、15万円から選択	年利3%が上限 （在学中は無利息）

② 給付奨学金 （※給付月額は、令和3年度の金額です。）

[学部学生]

世帯の所得金額に基づく区分	自宅通学 (給付月額)	自宅外通学 (給付月額)	新制度による給付奨学金受給中の第一種奨学金の貸与月額
第Ⅰ区分	29,200円 (33,300円)	66,700円	自宅通学は0円 自宅外通学は0円
第Ⅱ区分	19,500円 (22,200円)	44,500円	自宅通学は0円 自宅外通学は0円
第Ⅲ区分	9,800円 (11,100円)	22,300円	自宅通学は20,300円 (25,000円) 自宅外通学は13,800円

※生活保護世帯は、上表のカッコ内の金額となります。

③ 貸与奨学生の募集

採用の種類	募集時期	備 考
在学採用	4月	秋季募集については未定
緊急採用（第一種） 応急採用（第二種）	随時	家計急変により、貸与の必要が生じた場合
予約採用	10月	大学院進学予定者で、大学院前期合格者を対象

④ 給付奨学生の募集

採用の種類	募集時期	備 考
在学採用	4月、9月	
緊急・応急採用	随時	家計急変の事由発生後3か月以内に申込む

(2) 地方公共団体及び民間奨学団体の奨学金

これらの奨学金は、大学を通じて応募するものと、募集団体に直接応募するものがあります。また、私費留学生を対象とするものもあります。

3. 授業料の免除等

〔 学部日本人学生等については、経済的、その他の理由により納入が困難になった場合は、授業料の免除等を願い出る制度があります。 〕

(1) 免除の対象者

- ① 高等教育の修学支援新制度の条件を満たす者（住民税非課税世帯・準ずる世帯）
- ② 授業料の各期の納期前6月以内（新入生前期分については1年以内）において、本

人の学資を主として負担している者が死亡し、又は本人もしくは学資負担者が風水害等の災害を受け、授業料の納入が著しく困難であると認められる者

(2) 免除額 前期、後期ごとの授業料の全額、3分の2の額、半額、3分の1の額等

(3) 申請方法 申請書の配付時期、配付方法等については、YINS-CNS
により通知

〔 大学院・専攻科生については、経済的、その他の理由により納入が困難になった場合は、授業料の免除等を願い出る制度があります。 〕

(1) 免除の対象者

① 経済的理由によって授業料の納入が困難であり、かつ学業優秀と認められる者

② 授業料の各期の納期前6月以内（新入生前期分については1年以内）において、本人の学資を主として負担している者が死亡し、又は本人もしくは学資負担者が風水害等の災害を受け、授業料の納入が著しく困難であると認められる者

③ 中国政府が定める「国家建設高水平大学公派研究生項目」による大学院の学生

(2) 免除額 前期、後期ごとの授業料の全額又は半額

(3) 申請方法 申請書の配付時期、配付方法等については、YINS-CNS
により通知

〔 学業成績が特に優れ、かつ人物優秀であると認められる学生に対して授業料の免除をする制度があります。 〕

(1) 免除の対象者

各学部の最終学年に在籍する学生で、学業、人物ともに優秀な者

(2) 免除額 当該年度前期分授業料の全額

(3) 選考方法 各学部において選考し、各学部長が学長に推薦

4. 入学料の免除等

入学料には、免除又は徴収猶予の制度があり、学部・大学院ともに合格時に送付する「入学手続関係書類」の中で申請資格、申請方法等の詳細をお知らせします。

5. 学術研究奨励金制度

〔 大学院（教育学研究科・医工農学総合教育部博士課程）に在学する学生に対し、経済的負担の軽減を図ることにより学業を奨励するための学術研究奨励金を給付する制度があります。 〕

6. アルバイトの斡旋

○ 家庭教師求人票及びアルバイト求人票は、次の場所で閲覧できます。

（甲府キャンパス）： キャリアセンター内掲示板

（医学部キャンパス）： 医学域学務課窓口

7. 学生保険の案内

授業中、課外活動等学生生活における万一の事故及びインターンシップ・教育実習・臨床実習等での不慮の事故により傷害及び賠償責任が発生した場合などに対応できる「学生保険」への全員加入を大学の方針としています。

特にインターンシップ・教育実習・医学部（医学科・看護学科）における臨床実習においては、保険への加入は必須条件であり、未加入の場合には臨床実習等に参加することができませんので、必ず保険に加入してください。

以下は大学内で取り扱っている保険です。 保険の特色、補償範囲、保険料等詳細については、それぞれの窓口が対応しますので、随時間い合わせてください。

保 険 名	対 応 窓 口
学生教育研究災害傷害保険(略称「学研災」) + 学研災付帯賠償責任保険(略称「学研賠」)	甲府キャンパス学生支援課 (055-220-8054) 医学部キャンパス医学域学務課 (055-273-9346)
学生教育研究災害傷害保険(略称「学研災」) + 学研災付帯学生生活総合保険(略称「付帯学総」)	甲府キャンパス学生支援課 (055-220-8054) 医学部キャンパス医学域学務課 (055-273-9346)
学生総合補償制度 (こども総合保険)	文教インシュアランス (0120-740-859) (医学部附属病院内里仁会サービス窓口)
学生総合共済 + 学生賠償責任保険 + 扶養者死亡保障保険	山梨大学生生活協同組合 (055-252-4757) (甲府キャンパス内厚生会館1階生協事務室)

- ※ 加入した保険については、その加入期間を確認し、有効期限に注意してください。
特に大学院へ進学する場合や休学・留年等により在学期間が延長した場合などは、改めて加入する必要があります。
- ※ 甲府キャンパス学生支援課では、インターンシップ・教育実習等に参加する際に必要となる「学生保険加入証明書」（「学研災」及び「学研賠」のみ）を発行しています。「学研災」、「学研賠」以外の保険については、保険会社から直接送付される「加入者証」の写しが「加入証明書」の代わりとなります。

Ⅱ 福利厚生施設

利用申請窓口

甲府キャンパス：学生支援課
 医学部キャンパス：医学域学務課

(いずれの施設も在学するキャンパスの窓口で利用申請ができます。)

1. 大学会館

(甲府キャンパス内)

大学会館は、単なる集会の場としてだけでなく、学生相互あるいは学生・教職員間の交流を深めること、課外活動を盛んにすること、学生・教職員の福利厚生に寄与することを目的として設置されました。

① 開館時間	午前9時～午後8時 (休館日：土曜、日曜、祝日、夏季一斉休業、年末年始の休日)	
② 施設内容	ラウンジ・多目的ホール・企画展示ロビー・セミナー室・ミーティングルーム・音楽室・和室・印刷室・留学生談話室・大学会館食堂	
③ 利用方法	ラウンジ	個人の自由利用スペースとして開放、飲食もでき、飲食物の持ち込みも自由です。 貸切使用する場合、「使用願」の提出が必要です。
	多目的ホール・ 企画展示ロビー・ 印刷室	使用する場合、「使用願」の提出が必要です。
	セミナー室・和室・ 音楽室・留学生談話室	「使用願」は不要です。(大学会館内の使用予定表・使用届に書き込んで予約してください。)
④ 利用手続	「使用願」は、学生支援課窓口、又は大学HPより取得し、必要事項を記載して、使用日の3日前までに学生支援課窓口へ提出してください。	
⑤ その他	利用は、原則として申請順となります。 利用にあたっては、「大学会館使用細則」を参照してください。	

◎「大学会館食堂」について

- 通常営業時間 (昼) 11:30～13:30
- 昼食の提供をしています。(カフェテリア方式)
また、麺コーナー、カルトコーナー(カレー・どんぶりなど)もあります。

(附) 山梨大学大学会館使用細則

平成25年3月19日 改正

(趣旨)

第1条 この細則は、山梨大学大学会館規程第6条の規定に基づき、山梨大学大学会館（以下「会館」という。）の使用に関し、必要な事項を定める。

(部屋)

第2条 会館に次の部屋を置く。

- (1) ラウンジ (2) 多目的ホール (3) 企画展示ロビー (4) セミナー室
(5) ミーティングルーム (6) 音楽室 (7) 和室 (8) 印刷室 (9) 留学生談話室 (10) 事務室

(使用者の範囲)

第3条 会館を使用できる者は、次のとおりとする。

- (1) 山梨大学（以下「本学」という。）の学生及び教職員
(2) 本学が行う諸事業の参加関係者
(3) その他理事（教学担当）が適当と認める者

(施設の保持)

第4条 会館の使用者は、建物、設備及び備品等（以下「施設」という。）を常に正常な状態に保全するとともに規律の保持に努めなければならない。

2 会館の使用者は、施設を滅失、損傷又は汚損したときは、速やかに理事（教学担当）に届け出なければならない。

3 会館の使用者は、施設の滅失、損傷又は汚損が、使用者の責めに帰すべき事由により生じたものであるときは、これを弁償しなければならない。

(開館時間及び休館日)

第5条 会館の開館時間及び休館日は、次のとおりとする。

- (1) 開館時間 午前9時から午後8時まで
(2) 休館日 土曜日、日曜日、国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日及び12月28日から翌年1月4日まで

2 理事（教学担当）が必要と認める場合には、前項の開館時間又は休館日を臨時に変更することができる。

(使用の手続)

第6条 会館を次に掲げる事項により使用しようとする場合は、使用責任者は、使用しようとする日の1ヵ月前から3日前までの間に使用願（別紙様式）を提出し、理事（教学担当）の許可を受けなければならない。ただし、理事（教学担当）が必要と認めた場合は、使用日の1ヵ月以上前であっても使用許可を受けることができる。

- (1) 全館を貸切使用する場合
(2) ラウンジを貸切使用する場合
(3) 多目的ホール、企画展示ロビーを使用する場合

- 2 会館の貸出備品類の使用については、前項の規定を準用する。
- 3 会館の使用許可は、原則として先着順とするが、必要に応じて調整するものとする。

第7条 使用責任者は、使用を中止する場合には、速やかにその旨を届け出なければならない。
(使用時間の厳守)

第8条 使用責任者は、使用開始時刻及び使用終了時刻を厳守しなければならない。
(目的外使用及び転貸の禁止)

第9条 使用責任者は、目的以外の用途に使用し、又は他に転貸してはならない。
(原状回復)

第10条 使用責任者は、室内の整理、整とん、清掃、火気の点検、窓の戸締まり及び消灯を行い、備品類は原状に復した上で、使用を終了しなければならない。

(鍵の保管)

第11条 会館の鍵は、教学支援部学生支援課で保管する。
(使用の制限)

第12条 理事(教学担当)は、会館の運営に支障が生じたとき又は生ずるおそれがあるときは、施設の使用を中止させることができる。

附 則

この細則は、平成25年4月1日から施行する。

2. 学生寄宿舍

本学学生の快適な生活と勉学の間として、充実した学生生活に資することを目的とし、男子寮及び女子寮を設置しています。

<男子学生寮(芙蓉寮)> (甲府キャンパス北東約1,000m、大学から徒歩約15分)

① 収容人員	70名 (全室個室)
② 経 費	寄宿料 : 月額 10,000円
	光熱水料 : 月額 約5,000円程度
③ その他	各個室に「エアコン、インターホン」備え付け 入寮期間は、学部卒業までの4年間(医学部医学科は6年間)

<女子学生寮(紫遥館)> (甲府キャンパス北約300m、大学から徒歩約5分)

① 収容人員	20名 (全室個室)
② 経 費	寄宿料 : 月額 20,000円
	光熱水料 : 個人契約
③ その他	「エアコン、洗濯乾燥機、冷蔵庫、テレビ、電子レンジ」等完備 入寮期間は、1年間(翌年3月20日まで)

<女子学生寮(横田寄宿舍)> (医学部キャンパス北約2km、大学から徒歩約30分)

① 収容人員	20名 (全室個室)
② 経 費	寄宿料 : 月額 20,000円
	光熱水料 : 個人契約
③ その他	「エアコン、照明」設置 入寮期間は、学科卒業までの4年間(看護学科新入生対象)

3. 厚生会館（山梨大学生協同組合）

（甲府キャンパス内）

厚生会館は、本学の学生と教職員を組合員とする「山梨大学生協同組合（生協）」によって運営されています。

1階	購買・書籍部	○文具、日常雑貨 ○切手、はがき、コピー、印刷、DPE ○パソコン、家電製品等 ○弁当、パン、飲料、菓子 ○各種専門書、文芸一般書、文庫、新書、雑誌など	平日 10:00~17:00
	トラベルカウンター	○学生総合共済・保険受付 ○学生アパート紹介 ○JR乗車券、国内旅行・海外旅行の手配 ○自動車教習所・引越しの斡旋、宅配便の取次	平日 10:00~17:00
2階	厚生会館 2階食堂 ラウンジ	○ランチ（営業時間 11:30~13:30） ○ラウンジは、ランチ営業時間を除き10~18時まで自由に利用可能です。なお、ゼミ等のコンパなど特別な催しを行う場合は、予め予約願います。	平日 10:00~18:00

※ 「食堂」は、「大学会館」1階でも生協により営業されています。（詳細は、「大学会館」の項を参照してください。）

4. 福利厚生棟

（医学部キャンパス内）

◎ 福利厚生棟 1

学生及び教職員の福利厚生施設として、書籍販売等が設けられています。また、サークルの部室等として利用されています。

1階	売店	○書籍 ○文具、日常雑貨 ○コピー ○USB、ヘッドホン ○弁当、パン、飲料、菓子 ○医療器具、白衣	平日 8:45~17:30 ※当面、9:30~16:00の短縮営業
	理容室	○カットのみ 1,500円 ○カット&シャンプー 2,000円 ○調髪 2,500円	平日 9:00~18:00 土曜 9:00~14:00
音楽練習室・和室・倉庫等			
2階	集会室・共用室・音楽練習室・和室等		

※ 集会室・音楽練習室・和室等を使用したい場合は、福利厚生施設規程の使用区分に応じて、使用開始3日前までに医学域学務課へ申請してください。

◎ 福利厚生棟 2

医学科2年次生~4年次生のロッカー室があります。

(附) 山梨大学医学部キャンパス福利厚生施設使用細則

制定 平成16年4月1日

改正 平成18年4月1日

(趣旨)

第1条 この細則は、山梨大学医学部キャンパス福利厚生施設規程第6条の規定に基づき、福利厚生施設の使用に関し必要な事項を定める。

(使用日)

第2条 福利厚生施設を使用することができる日は、次の各号に掲げる日以外の日とする。

- (1) 土曜日及び日曜日
- (2) 国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に定める休日
- (3) 年末年始(12月28日から翌年1月4日)
- (4) 医学部長が必要と認めた日

2 前項第1号から第3号に掲げる日においても、医学部長が特に必要と認めたときは、使用することができる。

(使用時間)

第3条 使用日における使用時間は、午前8時30分から午後8時までとする。

2 医学部長が必要と認めたときは、使用時間を変更することができる。

(使用許可)

第4条 福利厚生施設を使用しようとする者は、山梨大学医学部キャンパス福利厚生施設規程の別表の使用区分に応じて、使用開始3日前までに使用願を医学部長に提出し、その許可を受けなければならない。

(鍵の貸出及び返却)

第5条 福利厚生施設の鍵は、医学域学務課(以下「学務課」という。)で保管し、使用の都度貸し出しするものとする。

2 使用後の鍵は、施錠のうえ学務課に返却するものとする。

(遵守事項)

第6条 福利厚生施設を使用する者は、次の各号に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 使用時間を厳守すること。
- (2) 許可された目的以外の使用及び転貸をしないこと。
- (3) 施設、設備、備品等を無断で改廃、新設、移動若しくは損傷及び汚損しないこと。
- (4) 使用を中止したときは、速やかに学務課に届け出ること。
- (5) 所定の場所以外で火気使用、喫煙をしないこと。
- (6) 使用中は、常に整理整頓に心掛け、飲酒、放吟等他人に迷惑をかける行為をしないこと。
- (7) 使用後は、清掃、整理整頓を行い、特に火気、消灯、戸締りの点検は必ず励行すること。
- (8) その他担当者の指示に従うこと。

(使用許可の変更等)

第7条 医学部長は、次の各号の一に該当するときは、使用許可を変更又は取消若しくは以後の使用を許可しないことができる。

- (1) 学校行事等のため福利厚生施設を使用する必要性が生じたとき。
- (2) 前条各号の規定に違反したとき。

(損害賠償)

第8条 使用者が故意又は過失により設備、備品等を破損又は滅失したときはその損害に相当する額を弁償しなければならない。

(雑則)

第9条 この細則に定めるもののほか、福利厚生施設の使用に関し必要な事項は、医学部長が定める。

附 則

この細則は、平成16年4月1日から実施する。

附 則

この細則は、平成18年4月1日から実施する。

5. 大学共同利用研修施設

レイクロッジヤマナカ (旧山中共同研修所)

所在地	住所：〒401-0502 山梨県南都留郡山中湖村平野479 TEL：070-1067-1747
収容人員	72名
利用の手続	本施設ホームページを確認し、申し込んでください。
概要	本施設には、セミナー室、グラウンド等が整備されており、クラブ合宿に適しています。 施設に関する詳細については、本施設ホームページで確認ください。

Handwriting practice lines consisting of 20 horizontal dotted lines.



Handwriting practice lines consisting of 4 horizontal dotted lines.

Handwriting practice lines consisting of 20 horizontal dotted lines.



Handwriting practice lines consisting of 4 horizontal dotted lines.



LIFE GUIDANCE

2021



学生相談 学生生活の安全

- ◎保健管理センター
学生相談室等
- ◎交通事故防止・災害防止等

学生相談・学生生活の安全 目次

I 学生相談の案内

(学生相談の紹介)	55
○保健管理センター（心と体の健康に関する相談）	56
○学生相談室（修学・進路／生活安全／その他何でも相談）	57
○人権侵害についての相談員	58
○クラス担当教員等（学部別）	60
○外国人留学生のための相談	60
○カウンセリング・サポート室	61
○アクセシビリティ・コミュニケーション支援室	62

II 学生生活の安全

1. 交通事故の防止	63
2. 犯罪などからの防衛	63
3. 飲酒について	64
4. 感染症について	64
5. 災害の防止について	64

I 学生相談の案内



皆さんがこれからの学生生活において

自分の悩みを誰かに相談したいとき……

困りごとで助けを求めたいとき……

山梨大学では、様々な相談に応じられるよう
学生相談の体制を整えています。

その窓口を案内しますので、気軽に利用してください。

- 各相談窓口等では、プライバシーの保護に十分留意するとともに、必要に応じて連携し、より適切なアドバイス等が受けられるよう配慮しています。

全学的相談組織

保健管理センター

甲府キャンパス (055-220-8081)
医学部キャンパス (055-273-9312)

学生相談室

甲府キャンパス : 学生支援課 (055-220-8051)
医学部キャンパス : 学務課 (055-273-9346)

人権侵害についての相談員

相談員の氏名・連絡方法等は本学ホームページに掲載します。

キャリアセンター (キャリアアドバイザー)

キャリアセンター (055-220-8319)

カウンセリング・サポート室

カウンセリング・サポート室 (055-220-8565)

アクセシビリティ・コミュニケーション支援室

アクセシビリティ・コミュニケーション支援室 (055-220-8706)

所属学部クラス担任制

学部ごとに設置されています。

相談員の氏名・連絡方法等は YINS-CNS に掲載します。

外国人留学生のための相談

国際交流センターに相談室を設けています。

相談員の氏名・連絡方法等は本学ホームページに掲載します。

保健管理センター



◆ 保健管理センター（甲府キャンパス・医学部キャンパス）	
相談方法	各センターの窓口または電話 甲府キャンパス（055-220-8081） 医学部キャンパス（055-273-9312）
相談内容	心身の健康相談
スタッフ	医師・保健師・看護師

学生相談室

山梨大学では、皆さんの学生生活における様々な悩み・相談に対応するため、「学生相談室」を設けています。学生相談室では、「学生相談員」が下表の相談に応じています。

学生相談員は、各学部にも各4名、学生支援課（甲府キャンパス）と医学域学務課（医学部キャンパス）に各1名います。



学生相談員の氏名・連絡先電話番号等は、YINS-CNS→リンク→クラス担任・学生相談等に掲載してあります

- ★ 学生相談員への相談は、上記の相談員名簿にある連絡先へ連絡するか、学生支援課・学務課窓口での申出により相談が可能です。
- ★ 生活安全に関する相談は、学生支援課・医学域学務課の窓口に出してください。

（下記電話での相談も可）

- 学生支援課 <055-220-8051>
- 医学域学務課 <055-273-9346>

「修学・進路等に関する相談」・・・各学部教員の相談員（各学部各4名）

- 修学全般に関する事
- 修学上の対人関係（教員や先輩など）に関する事
- 研究生生活に関する事
- 進路や将来に関する事

※ 進路（就職）に関してはキャリアセンターにご相談ください。

「生活安全に関する相談」・・・学生支援課と医学域学務課の相談員（各1～2名）

- 身体的な安全（ストーカー・脅迫・暴行等の被害など）に関する事
- 経済的な被害（悪徳商法・不当請求・金銭貸借など）に関する事
- 学外者（アパート管理人等・アルバイト先など）とのトラブルに関する事
- その他生活安全等に関する事

人権侵害についての相談員

人権侵害

人権侵害とは、性別や社会的身分、人種、国籍、信条、年齢、職業、宗教、身体的特徴、障害の有無など広く人格にかかわる事項等に関する言動や行為などによって相手方の意図にかかわらず受け手に不利益や不快感を与えることをいいます。

大学で起こりうる人権侵害

大学内で起こる可能性のある人権侵害として、ハラスメントがあります。

ハラスメントとは、いわゆるいやがらせやいじめのことをいい、大学においては、アカデミック・ハラスメント（アカハラ）、セクシュアル・ハラスメント（セクハラ）、パワー・ハラスメント（パワハラ）などが問題となります。

アカデミック・ハラスメント

大学内において権力のある者や優越的地位にある者がその立場を利用して、受け手の大学における研究・教育上の環境を著しく悪化させることをいいます。具体的には、「教育・研究上の権力関係や上下関係に基づく嫌がらせや差別行為」を指します。学生や大学院生としては、暴言・暴力、指導放棄、不当な成績評価や学位の不認定、留年あるいは退学の強要、研究における服従の強制、データ捏造の強要などを受ける場合が含まれています。

セクシュアル・ハラスメント

性的な言動によって人を傷つけ、受け手の大学における研究・教育・労働上の環境を悪化させることをいいます。具体的には、「あなたの意に反する性的な言動」により、屈辱や精神的苦痛・不快感または、不利益を受けることです。社会的・文化的に形成された男女の固定的な観念に依拠した言動が引き起こす性差別も該当します。

パワー・ハラスメント

大学内において職務上の地位や人間関係など職場内で優位にある者が、その立場を利用して、受け手の大学における労働環境を著しく悪化させることをいいます。課外活動や出張等の学外においても、その力関係は維持されているものとみなされます。

もしあなたが被害にあってしまったら

☆ 人権侵害の被害にあった時には、一人で悩まずに、相談員に相談しましょう。相談を希望する方を保護し、誠意を持って相談に応じます。2人の相談員（相談を希望する方と同性の相談員を必ず含みます。）が相談を受け、相談したことで嫌な思いをしたり、被害がひどくなったりすることのないように、万全の注意を払います（二次被害の防止）。

相談員と連絡先については山梨大学のホームページに掲載されています。

https://intra.yamanashi.ac.jp/campus_harassment/

所属する学部、課程にかかわらず、あなたが最も相談しやすい相談員に連絡をとってください。

☆ 相談員に直接話すこと以外にも、電話、電子メール、手紙などで申し込むことができます。

また、本人からの相談だけでなく、第三者からの相談や匿名での相談も可能です。

☆ 相談を希望する方の意向により、

（1）相談員との話し合いだけに留める

(2) 相手方との話し合い（直接・間接）へ

(3) 調査委員会等を設けて調停・調査へ

などの過程や措置がとられます。相談を希望する方の同意を得ることなく調停や調査に進むことはありませんので、安心してご相談ください。

ハラスメントの発生を知ったら

☆ 自分の周囲でハラスメントにあっている人がいたら、勇気を出して助けてあげましょう。被害の証人になってあげたり、相談員のところに同行してあげたり、また場合によっては被害にあっている人の代わりに相談員に相談してあげてもかまいません。

クラス担当教員等（学部別）

相 談 方 法	<p>各クラス担当教員等に直接連絡を取ることができます。</p> <p>● 担当教員等の氏名及び連絡方法は、年度ごとに本学ホームページ（在学生の方→修学案内：YINS-CNS(ログイン)→リンク→クラス担任・学生相談等）でお知らせします。</p>
相 談 内 容	<p>学生の修学上の問題並びに生活全般について、相談、指導、助言等を行います。</p>
ス タ ッ フ	<p>○教育学部</p> <p>各コース・系において、学年毎にクラス担当教員を置いています。</p>
	<p>○医学部</p> <p>各学科において、スモールクラス制を実施しています。</p> <p>医学科については、1年次生から6年次生まで各学年2～3名ずつの縦割りクラスとし、看護学科については、学年毎に複数のクラスに分け、各クラスに指導教員を置いています。</p>
	<p>○工学部</p> <p>各学科において、学年毎にクラス担当教員を置いています。</p>
	<p>○生命環境学部</p> <p>各学科において、学年毎にクラス担当教員を置いています。</p>

外国人留学生のための相談

相 談 内 容	<p>留学生の修学および生活上の問題</p>
連 絡 方 法	<p>電話：055-220-8753、又は8152</p> <p>（不在・緊急の場合には、国際企画課（055-220-8047・8703）にご連絡ください。）</p> <p>メールアドレス: takaei●yamanashi.ac.jp, taida●yamanashi.ac.jp （●のところに@を入れてください）</p>
ス タ ッ フ	<p>国際交流センター教員</p>



カウンセリング・サポート室

学生生活を送る上で悩んだり、困ったときは

学生の皆さんが学生生活を送る中、学業のこと、対人関係のこと、自分の性格のこと、将来のことなど、さまざまなことで悩んだり、困ったときにはご相談ください。皆さんの相談にカウンセラー（臨床心理士）が応じます。*相談のプライバシーには十分に配慮いたします。

申込方法

メールか電話で相談の申し込みをしてください。初めての相談の場合は、最初にインターカー（臨床心理士）と面談を行った後、相談日時を調整します。どのようなことでも、まずはお話をおうかがいします。安心してご連絡をしてください。

【電話】055-220-8565

080-1092-0720

*電話に出られない時がありますので、その場合はメールをご利用ください。

【e-mail】soudanyoyaku@yamanashi.ac.jp

*件名に「相談申し込み」という文言を必ず入れてください。

*氏名・学籍番号・連絡可能な連絡先（例：携帯電話番号）のみを記載してください。

*予約のみの受付アドレスです。

メール文に相談内容などは記載しないようにお願いします

【開室時間】平日 8:30~17:15（土・日・祝祭日はお休み）

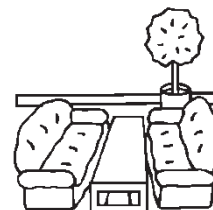
*夏季休業中の一定期間は閉室します。

その他、大学行事等で開室できない日があります。

【場所】甲府東キャンパス B1号館

306AB 待合室兼事務室

305A 305B 相談室



☆悩んだり、困ったときは、是非ご連絡をください。
解決に向けて一緒に考えていきましょう。

アクセシビリティ・コミュニケーション支援室

アクセシビリティ・コミュニケーション支援室は、関連する部署と連携しながら、ハンディキャップ等の理由により学習や大学生活に困難を抱える学生への修学支援を行っています。

よりよい学生生活を送るために、学生からだけではなく家族、教職員からの相談にも応じています。いつでもお気軽にご相談ください。

支援を希望する学生さんへ

支援を希望する学生は、事務室に直接お越しいただくか、メール又は電話でお問い合わせください。プライバシーは厳守することをお約束します。安心してご相談ください。

学生サポーターを募集しています

学生サポーターはハンディキャップのある学生を支援するために、スロープ清掃、ノートテイク等の活動を行います。当支援室が実施する学習会に参加していただいてから、支援活動が始まります。関心のある方はご連絡ください。

お問い合わせ

☎ 電話：055-220-8706（平日8:30～17:15）

✉ E-Mail：sp-needs@yamanashi.ac.jp

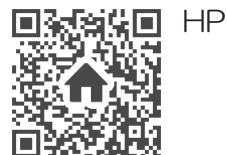
📍 場所：甲府東キャンパス B1 号館 208B

🏠 ホームページ：http://www.sp-needs.yamanashi.ac.jp/

📘 facebook：https://www.facebook.com/spneeds/



学生サポーターの車イス学習会の風景



HP



facebook

学生サポーターの活動状況の一部を公開しています。

Ⅱ 学生生活の安全

- ◎ 学生生活の安全に関するマニュアル（「学生のための危機管理マニュアル」）が、本学ホームページ（在学の方→学生生活案内→学生支援について→学生のための危機管理マニュアル）に掲載してありますので必ず御覧ください。

1. 交通事故の防止

近年、自転車・バイク等による交通事故が多発しています。

あなたが交通事故に遭遇した場合、連絡を受けた家族は、大きな不安を抱えて遠路であろうと夜間であろうと病院へ駆けつけてきます。また、あなたの交通違反や不注意が自身や家族の将来に重大な影響を与えてしまうことがあることを忘れずに生活してください。

自転車・バイク等に乗る際は、事前に任意保険に加入し、細心の注意を払い「ゆとりある運転」や「ゆずりあい」の気持ちを持ち、より安全に運転するよう心がけてください。

また、山梨県では自転車利用者は自転車損害賠償責任保険等への加入が義務化されました。

なお、万一事故に遭遇した場合は、救急車を呼ぶ・警察に通報する・大学へ報告する・保険会社に連絡するなどの措置をとってください。

学生に事故・病気などによる緊急事態が発生した場合、大学では家族への連絡を行います。

家族の住所や電話番号に変更が生じた場合は、速やかに教学支援部教務企画課又は医学域学務課に届出をし、万一の際に家族への連絡が取れない事態が発生しないよう留意してください。

2. 犯罪などからの防衛

学生が事件やトラブルの当事者（被害者）になるケースは年々増加しています。

盗難等の被害にあった場合は、警察へ通報するとともに速やかに大学へ連絡してください。

また、被害は、心身に関する被害であったり、金銭に関する被害であったりと様々ですが、次のようなケースに遭遇したときは、まず学生支援課の「学生相談窓口」に相談してください。

警察など関連機関と連携のうえ、解決を図ることができます。

- ストーカー行為をうけている・何らかの理由で脅迫されている場合
- 反社会的カルト宗教団体等からの勧誘等で苦慮している場合
- 詐欺商法などによる被害や携帯電話での不当請求などがあった場合

（ その他、学生の直面する様々な問題については、学生相談の組織が用意されていますので、まず相談してください。 ）

3. 飲酒について

未成年の飲酒は法律で禁止されており、誰かに勧められてもきちんと断ることが大切です。また、飲酒は適量を超えるとからだにさまざまな障害を与えます。飲酒する際には、「イッキのみは絶対しない・させない」・「飲めない人にはすすめない」・「飲酒運転は絶対しない」などのことを厳守してください。

なお、特に短時間に大量のアルコールを摂取すると脳の働きが麻痺する危険性があり、急性アルコール中毒により心肺機能に異常をきたし、死に至ることもありますので十分注意してください。

4. 感染症について

インフルエンザ等の感染症と診断された場合は、学校保健安全法第 19 条に基づいて出席停止となります。他の人に感染させないために、できるだけ外出せずに、電話で保健管理センターに連絡してください。

感染症については、「国立感染症研究所 感染症情報センター」のホームページでも確認できます。

5. 災害の防止について

1. 火災の予防

大学構内は禁煙です。また、構内での焚き火などはしないようお互いに注意しましょう。

2. 地震への対応

山梨県は、近い将来起こるであろうと予想されている、東海地震に係る地震対策強化地域に指定されていますので、常日頃から地震に対する心構えが必要です。大学や地域で実施される防災訓練などにも積極的に参加し、避難場所の確認なども行っておきましょう。

☆日頃の地震対策

(1) 家具の転倒・落下防止

タンスや食器戸棚が倒れてケガをすることのないよう、家具類はしっかりと固定しておきましょう。

(2) 出火防止

- ・地震が起こったらまず火を消しましょう。
- ・日頃から火を使うところの近くには、必ず消火器を置いておくようにしましょう。

(火が天井まで広がったら一人では消すことが出来ません。天井まで燃えひろがるまでの3分～5分が自分で消火できるチャンスです。)

(3) 食料・飲料水の備蓄

非常食料・飲料水は3日以上用意しておきましょう。

(4) 非常持ち出し品の用意

ヘルメット・ラジオ・懐中電灯・救急薬品など常に用意しておきましょう。

(5) 連絡

下宿等で一人暮らしをしている人が、旅行等に出掛ける際には、必ず家族には連絡しておきましょう。

(6) 地震が起きたときの心得 10カ条

- ① まず、わが身の安全を！
- ② すばやく火の始末！
- ③ 火が出たらまず消火！
- ④ あわてて外に飛び出さな！
- ⑤ 狭い路地、へいぎわ、がけや川べりに近寄るな！
- ⑥ 山崩れ、崖崩れ、津波、浸水に注意！
- ⑦ 避難は徒歩で、持物は少なく！
- ⑧ 協力しあって応急救護！
- ⑨ 正しい情報をつかみデマにまどわされるな！
- ⑩ 秩序を守り衛生に注意！

(7) 警戒宣言が発令された場合

気象庁からの地震予知情報の報告を受けた場合において、地震応急対策を実施する緊急の必要があると認めた場合、総理大臣から警戒宣言が発せられますので、次の点に注意し冷静に行動してください。

ー 大学構内の場合 ー

- ① 授業及び課外活動を直ちに中止し、教員等の指示に基づいて避難してください。
- ② 実験・実習等を行っている場合は、直ちに火気を消すなどの安全措置を講じたうえで、避難してください。

ー 学外の場合 ー

- ① 広報に注意し、山梨県や市町村が実施する地震防災対策の指示に従ってください。
- ② 運転中の車は、ゆっくり走り警察官等の指示に従ってください。

(8) 大規模地震が発生した場合

ー大学構内にいたときー

その場で、自らの安全を確保して、(6)の「地震が起きたときの心得10カ条」を念頭に、教員等の指示のもとに、あわてず冷静に対処してください。

ー学外にいたときー

学外にいたときも、まずは、その場で身の安全を図り、その後「地震が起きたときの心得10カ条」に従って、あわてず冷静に対処してください。

(9) 安否確認について

安否確認のため、山梨県における大規模災害発生(地震情報(震度5強以上)及び気象特別警報(大雨・暴風雪等))の際、事前に登録された携帯メールアドレス等へ本学から安否確認メール等を送信します。受信した安否確認メール等の文面の指示に従い、大学へ安否状況を回答してください。安否確認メール等は、「携帯メールアドレス等」と「学籍番号@yamanashi.ac.jp」アドレスの両方に送信されますので、何れか一つのアドレスから回答してください。携帯メールアドレス等を登録されていない方は、「学籍番号@yamanashi.ac.jp」のみに送信)

Handwriting practice lines consisting of 20 horizontal dotted lines.

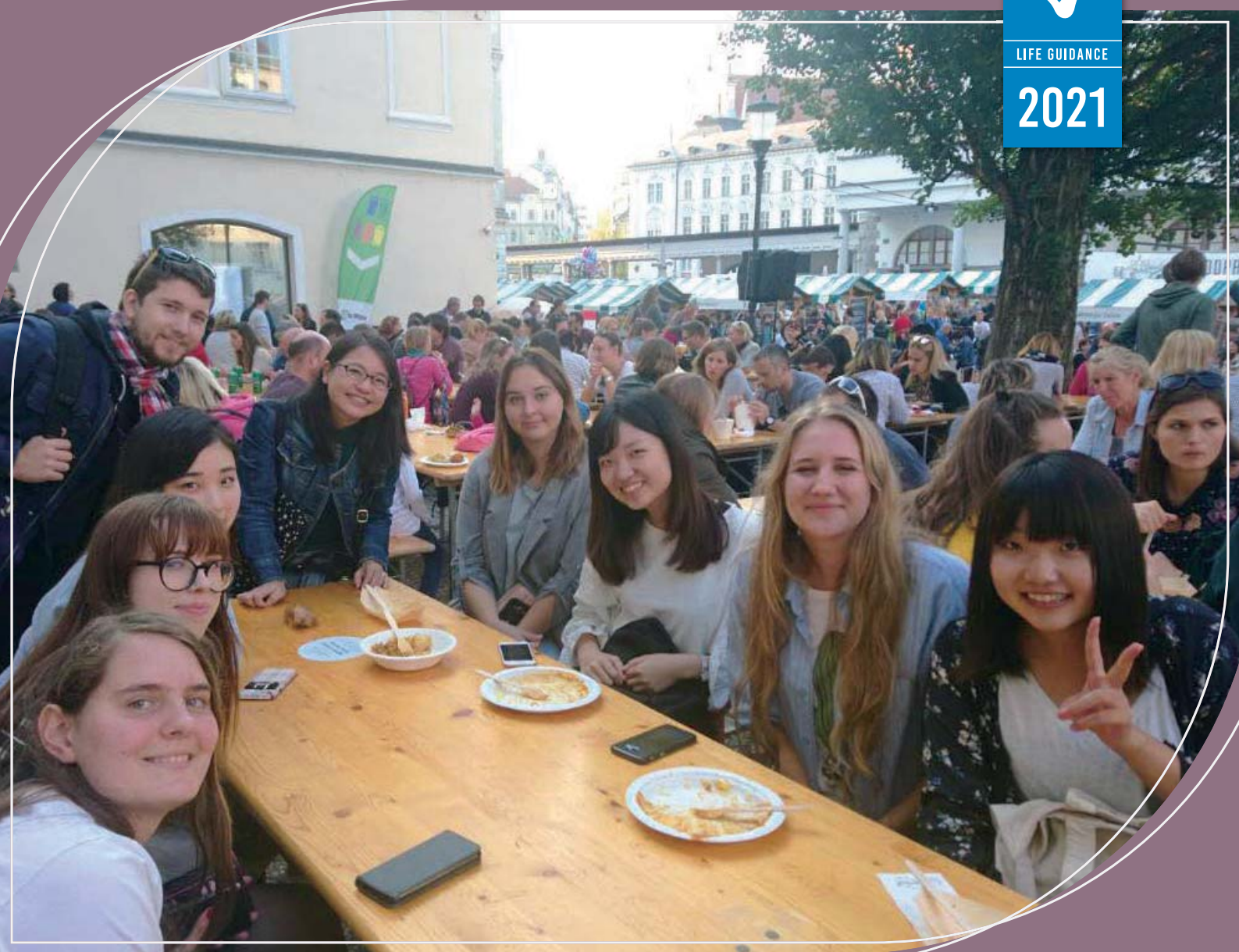


Handwriting practice lines consisting of 4 horizontal dotted lines.



LIFE GUIDANCE

2021



進路支援 国際交流

- ◎進路支援事業
キャリアセンター
- ◎交流協定・海外留学等

進路支援・国際交流 目次

I 進路支援

1. 進路支援事業	69
2. 進路支援体制	70
3. キャリア・アドバイザー制度	70
4. キャリアセンターの利用案内	70
5. 進路資料室（看護学科）の利用案内	70

II 国際交流

1. 交流協定の締結状況	71
(1) 大学間交流協定	
(2) 学部間交流協定	
2. 海外留学	73
(1) 交換留学制度	
(2) 交流協定校での短期研修	
(3) 留学支援制度	
3. 外国人留学生の受入れ	75
(1) 在籍の状況	
(2) 外国人留学生へのサポート	
4. 国際交流センター	77

I 進路支援

甲府キャンパス：キャリアセンター、各学部学科（専攻）就職担当教員
医学部キャンパス（看護学科）：医学域学務課

窓口

キャリアセンターでは、学生が大学で身につけた知識や経験を生かし、自分が本当にやりたい仕事につき、充実した人生が送れるよう様々な面からサポートします。就職支援は、就職情報の提供のほか、進路に合わせたガイダンスや面接対策等の講座を開催します。

また、キャリア・アドバイザー制度を設け、経験豊かなスタッフが、きめ細かくそれぞれの就職活動をサポートします。

1. 進路支援事業

入学から卒業までの間に、進路希望に応じた、「全学就活ガイダンス」のほか、「業界・企業研究会」、「個別企業セミナー」、「官公庁（行政機関）等合同セミナー」、「インターンシップ」、「合同企業説明会」などの進路支援事業を展開しています。

「キャリアセンター」では、下記の進路支援事業を実施します。

- ・就職、進学等、学生への支援方策の策定及び実施
- ・低学年からの進路形成に必要な方策の策定及び実施
- ・学生のキャリア形成に必要な方策の策定及び実施
- ・学生の進路に係る調査及び分析
- ・進路支援事業の企画・実施及び進路情報の提供

具体的な事業内容

キャリア教育	進路支援	進路相談
① キャリア形成科目の開講 授業科目名： キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ キャリアデザインⅢ 新聞から社会を知る	① 業界・企業研究会、個別企業セミナー、官公庁(行政機関)等合同セミナー、全学就活ガイダンス、合同企業説明会 ② 就職情報会社（ナビサイト）主催の各種ガイダンス等へのバスツアー（無料「就活」バス） ③ 公務員試験対策ガイダンス、公務員試験対策講座 ④ 面接対策講座、マナー講座 ⑤ インターンシップの支援・コーディネート（マッチング等） ⑥ 求人情報、企業情報、大学院情報などの進路情報の提供	① 本学のキャリア・アドバイザーによる個別相談 ② 「甲府新卒応援ハローワーク」のキャリア・カウンセラーによる個別相談 ③ 「ジョブカフェやまなし」のジョブサポーターによる個別相談



2. 進路支援体制

各学部には、コース（系）・学科毎に就職（進路）担当教員が配置され、進路相談にあっています。また、甲府キャンパスにはキャリアセンターを設置し、進路・就職に関する支援を行うとともに、大学院・編入学などの進学資料の収集・提供をしています。キャリアセンターでは、収集した資料の閲覧とパソコンを利用した進路情報の検索等が自由に行うことができます。

3. キャリア・アドバイザー制度

自分の将来を考えるうえで大切なものは、自分がどのように生きるか、どうありたいかという、自身の未来を考えることです。その先にある「就職」と「キャリア開発」を支援するため、経験豊富なスタッフ（キャリア・アドバイザー）による指導・助言を行います。

4. キャリアセンターの利用案内

利用時間	平日 8:30~17:15 夏季・冬季・春季休業期間中でも開室しています。
利用設備・資料	詳細は、P107をご覧ください。
各種ガイダンスの案内と申込み	<div style="text-align: center;"><div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">キャリアセンター</div>  YINS-CNS（キャンパス・ネットワーキング・サービス）で案内を発信。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin: 5px 0;">学 生</div>  YINS-CNS に記載のある URL 又はキャリアセンターホームページ（http://www.career.yamanashi.ac.jp/）より申込み入力。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-top: 10px;">キャリアセンター</div> 申込み受付登録完了。</div>

5. 進路資料室（看護学科）の利用案内

医学部看護学科教育研究棟 6 階に、看護学科学生のための進路資料室があります。資料室は就職に関する資料が揃えてあり、自由に利用することができます。

- (1) 利用時間 24時間
- (2) 利用設備・資料
設 備 パソコン、テレビデオ、コピー機
資 料 都道府県別求人票、先輩の進学・就職試験報告書
就職活動関係図書

Ⅱ 国際交流

窓口

甲府キャンパス：国際企画課
医学部キャンパス：医学域学務課

1. 交流協定の締結状況

本学では、下記の大学等と交流協定を結び、研究者や学生の交流を行っています。

(1) 大学間交流協定

国名	交流協定校	備考
中国	四川大学	
	中国医科大学	
	中国科学院化学研究所	
	内蒙古医科大学	
	杭州電子科技大学	交換留学・春季語学/文化研修実施
	福建医科大学	
	瀋陽薬科大学	
	西南交通大学	
	北京協和医学院	
	中華人民共和国外交学院	交換留学実施
	五邑大学	
	国立台湾科技大学	
国立陽明大学		
タイ	アジア工科大学院	
	コンケン大学	交換留学実施
	タマサート大学	
	プリンス・オブ・ソクラー大学	
米国	イースタン・ケンタッキー大学	交換留学実施
	アイオワ大学	
英国	レスター大学	春季語学/文化研修実施
	オックスフォード・ブルックス大学	交換留学実施
オーストラリア	シドニー工科大学	交換留学実施
	ニューカッスル大学	
インドネシア	ジョグジャカルタ大学	

ドイツ	ドレスデン工科大学	交換留学実施
	ミュンヘン工科大学	
	ゲオルク・シモン・オーム工科大学 ニュルンベルグ	
フランス	リヨン第三大学	交換留学実施
	ボルドー大学	
	ポワティエ大学	
韓国	ソウル大学	
	テグキョンブク科学技術院	
カナダ	ブリティッシュ・コロンビア大学 イギリス・ラゴ・インフィニティ	春季語学/文化研修実施
ベトナム	ベトナム科学大学	
	ホーチミン市校科学大学	
マレーシア	マレーシアペルリス大学	
	パハン大学	
	マレーシア工科大学	
ミャンマー	パテイン大学	
スロベニア	リュブリャナ大学	交換留学実施
トルコ	アンカラ大学	
フィリピン	イザベラ州立大学	

(2) 学部間交流協定

国名	交流協定校	学部名
ドイツ	ルートヴィヒスブルク教育大学	教育学部
タイ	ポロマラジョナニナパパートバジラ看護大学	医学部
	コンケン大学医学部	
インド	日印再生医療センター	
中国	大連医科大学	
	揚州大学医学部	
	浙江大学医学部	
	浙江大学医学部附属第一病院	
	台北荣民総医院	
ベトナム	ホーチミン市医科薬科大学	
韓国	漢陽大学校セラミック工程研究センター	工学部
インドネシア	ブラビジャヤ大学工学部	
	バジャジャラン大学数学自然科学部	
中国	西南交通大学交通運輸学院	
	杭州電子科技大学	

マレーシア	マレーシア・ペルリス大学	工学部
タイ	ナレスアン大学	生命環境学部
スリランカ	ルフナ大学	
ベトナム	ベトナム国家大学ホーチミン市校 国際大学バイオテクノロジー学部	
米国	ホークアイ・コミュニティ・カレッジ	

(3) プログラム協定

国名	交流協定校	備考
米国	グランド・ビュー大学	夏季語学/文化研修実施
	ノーザン・アイオワ大学	春季語学/文化研修実施
	ケンタッキー大学	夏季語学/文化研修実施
カナダ	ブリティッシュ・コロンビア大学イギリス・ラングーヰ・インスティテュート	春季語学/文化研修実施

2. 海外留学

(1) 交換留学制度

本学では、交流協定校である大学と交換留学を行っています。

交換留学とは、本学と交流協定校との間で学生を相互に交換・交流するもので、この期間は在学年数に加算されます。

また、交換留学中の留学先大学における検定料、入学料及び授業料は不徴収になるなどいくつかの優遇措置があります。加えて、日本学生支援機構の奨学金が給付されることもあります。

交換留学プログラムへの申請には、TOEFL、IELTS などの外国語試験の点数が必要ですので、日頃から学内 TOEFL などを積極的に受験してください。

留学に関する手続きについては、国際企画課に問い合わせてください。

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、派遣は中止、受入は外交学院のみ。

交流協定校 (留学先)	実施時期	実施期間	申請時期	募集人員	2年度実績		語学力の目安
					派遣	受入	
イースタン・ケンタッキー大学 (米国)	8月～ 5月	10ヶ月	3月 月上旬	1名	中止	中止	TOEFL-iBT71点以上、学内TOEFL530点以上、IELTS6.0以上又は英検準1級以上
	8月～12月	5ヶ月					
	1月～12月	12ヶ月	7月 月上旬				
	1月～ 5月	5ヶ月					
シドニー工科大学 (オーストラリア)	7月～ 6月	12ヶ月	2月 月上旬	5名 以内	中止	中止	Austrian Language and Culture コース TOEFL-iBT35点以上又は IELTS5.0以上 他に学部コース有
	7月～11月	5ヶ月					
	2月～11月	10ヶ月	8月 下旬				
	2月～ 6月	5ヶ月					
ドレスデン工科大学 (ドイツ)	4月～3月	12ヶ月	11月 下旬	3名 以内	中止	中止	the Goethe-Zertifikat B1 テスト合格以上、IELTS5.5～6.5以上 TOEFL-iBT72～94以上
	10月～9月	12ヶ月	4月 月上旬				
	10月～3月	6ヶ月					

オックスフォード・ブルックス大学 (英国)	9月～5月	9ヶ月	3月上旬	2名以内	中止	中止	学部コース： IELTS UKVI6.0以上 語学研修コース： IELTS UKVI5.5以上
コンケン大学 (タイ)	7月～5月	11ヶ月	12月中旬	3名以内	中止	中止	タイ語で授業履修できる程度、もしくは、TOEFL-IBT61以上、学内TOEFL500以上又はIELTS5.0以上
	1月～12月	12ヶ月	4月中旬				
リヨン第三大学 (フランス)	8月～4月	9ヶ月	2月上旬	2名以内	中止	中止	DEUF/CEUF:仏検準2級以上 SELF:学内 TOEFL-IBT80以上、学内TOEFL560以上又はIELTS6.5以上
	8月～12月	5ヶ月					
	1月～4月	4ヶ月	8月下旬				
杭州電子科技大学 (中国)	9月～1月	5ヶ月	4月上旬	4名以内	中止	中止	中国語検定4級以上、又はTOEFL-IBT80以上、IELTS5.5以上
	9月～6月	10ヶ月					
	2月～6月	5ヶ月	10月下旬				
	2月～1月	12ヶ月					
リュブリャナ大学 (スロベニア)	10月～7月	10ヶ月	3月上旬	2名以内	中止	中止	スロベニア語 CEFR B2以上もしくはTOEFL-IBT79以上又はIELTS6.0以上
	2月～7月	6ヶ月	8月下旬				
外交学院 (中国)	9月～1月	5ヶ月	3月上旬	3名以内	中止	3名	特段の定めはないが事前に国際企画課に確認すること
	9月～6月	10ヶ月					
	2月～6月	5ヶ月	9月上旬				
	2月～1月	12ヶ月					

(2) 交流協定校での短期研修

本学では、夏季及び春季休業中に語学研修や文化研修を次のとおり実施しています。

詳細については、実施時期にあわせてパンフレットや本学のホームページ等でお知らせします。

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、派遣中止。

交流協定先 (留学先)	実施時期	実施期間	申請時期	募集人数	2年度参加者	備考
ケンタッキー大学 英語・文化研修+海外インターンシップ (米国)	8月中旬～9月中旬	4週間～5週間	4月下旬	15名	中止	4週間の語学研修中現地大学で様々な交流イベントに参加します。 語学研修中・研修後に現地の企業、または教育機関でインターンシップ(ジョブ・シャドウイング)を行います。
クランド・ビューー大学 英語・文化研修+海外インターンシップ (米国)	8月上旬～9月上旬	4週間～5週間	4月下旬	15名	中止	山梨大学特設クラスにおける英語研修や実際の授業体験、週末のホームステイも計画されています。最終週にインターンシップ(ジョブ・シャドウイング)を行います。

ブリティッシュ・コロンビア大学 イングリッシュ・ラーニング・インスティテュート英語研修 (カナダ)	2月中旬 ～3月中旬	4週間	10月上旬	16名	オンライン 11名	英会話力の向上、国際感覚の醸成とかが市民社会理解を目的とした学習と、ホームステイでの実践を行うプログラムです。
レスター大学 英国・文化研修 (英国)	2月中旬 ～3月中旬	4週間	10月上旬	15名	オンライン 3名	英語力とコミュニケーションスキル向上を目的とした学習と、英国文化体験を行います。全日程ホームステイです。
ノーザン・アイオワ大学英語・文化研修+海外インターンシップ (米国)	2月中旬 ～3月中旬	4週間～ 5週間	10月上旬	4名～	オンライン 7名	The Culture and Intensive English Program(CIEP)における英語研修に加え、文化体験やアメリカ人家庭にホームステイをし、現地の方とも交流します。また、インターナショナル(グローバル)を行います。
杭州電子科技大学中国語・文化研修+海外インターンシップ (中国)	3月上旬 ～3月下旬	2週間	10月上旬	16名	中止	中国語学習及び中国文化体験などを通して異文化コミュニケーションを体得します。後半1週間はテルモ杭州工場にてインターナショナル(グローバル)を行います。

(3) 留学支援制度

① 山梨大学海外留学応援プログラム

この制度は、8日以上期間で、海外の本学協定大学等において学習又は研究することを目的とする学生の派遣支援を行います。6ヶ月以上の留学等を行う学生1人につき10万円、6ヶ月未満の留学を行う学生については5万円～7万円を支給します。

② 山梨大学秋山勝彦グローバル人材育成奨学支援金

この制度は、学術・研究のグローバル化を見据え、医学部、工学部及び大学院医工学総合教育部(工学域及び医学域)の学生並びに大学院総合研究部(工学域及び医学域)の若手研究者(医学部附属病院の若手医師を含む。)の研究活動及び人材育成の支援を行います。

3. 外国人留学生の受入れ

(1) 在籍の状況 在籍者数 252名：19カ国(令和2(2020)年11月1日現在)

本学では、世界の各国から外国人留学生を受け入れています。

留学生の出身国・地域は、次のとおりです。

中国、マレーシア、ベトナム、バングラデシュ、ネパール、スリランカ、インドネシア、タイ、ドイツ、韓国、パキスタン、台湾、モンゴル、マダガスカル、ガーナ、ケニア、ナミビア、パナマ、ブルキナファソ

(2) 外国人留学生へのサポート

本学では、外国人留学生に対して次のような支援を行っています。

① チューター制度

チューター制度は、入学後1年目の研究生の留学生や交換留学生、及び勉学に不安のあ

る学部生の留学生を対象とした制度です。

指導教員やクラス担任教員の指導の下で、上級生や同学年の学生がチューターとして、主に研究や勉学、日常生活における個別の相談に応じます。当該留学生とその指導教員、またはクラス担任教員が必要と認めた場合に、チューター学生を選定することができます。

② サポーター制度

サポーター制度は、入学後一年目の大学院生の留学生を対象とした制度です。

指導教員や当該留学生からの要望、大学からの指示に基づき、来日当初の諸手続きの補助や情報提供を行います。当該留学生とその指導教員が必要と認めた場合に、サポーター学生を選定することができます。

③ 交流パートナー制度

交流パートナー制度は、学部一年生の留学生を対象とした制度です。

留学生と同学年・同学科の学生が自薦・他薦で交流パートナーとして登録し、基本的には1年間、留学生と勉学や交流を行います。新年度に交流パートナーとして登録した後、自発的教養科目（ボランティア活動）として活動実績が要件を満たせば、単位の取得も可能です。この単位を取得するためには、教養教育科目の「ボランティア理論」、または「ボランティアとサービスマーケティング」の単位取得が別途必要です。

④ 留学生への奨学金給付

学業、人物ともに優れ、かつ、経済的理由により修学が困難である私費外国人留学生に対して学習奨励費等の奨学金給付制度があります。



⑤ 留学生のための居住施設

本学には、留学生、外国人研究者の居住用に下記の寄宿舍が設置されています。寄宿舍名及び居室数は、次のとおりです。

寄 宿 舎 名	居 室 数
甲府国際交流会館	単身室 36室、夫婦室 2室、家族室 2室
甲府国際交流会館 甲斐路分館	単身室 8室
甲府国際交流会館 アネックス	単身室 38室
玉穂国際交流会館	単身室 12室、夫婦室 6室、家族室 5室
紫遥館（女性のみ）	ワンルーム 3室

⑥ 民間アパートへ入居する際の支援

・連帯保証人の機関保障

留学生が、民間のアパート等に入居するため賃貸借契約を結ぶ際に連帯保証人が必要な場合、学生所属の学部長、研究科長又は専攻長が連帯保証人になります。ただし、留学生住宅総合補償制度に加入するなどの条件があります。

・アパートを借りた場合の補助金の支給

留学生本人がアパートの賃貸借契約をした場合は、入学時の1回に限り住宅補助金が支給されます。ただし、申請書及び必要書類の提出が必要になります。

なお、応募者多数の場合には、選考を行います。

⑦ 留学生後援会による経済支援

・金銭的支援

留学生が不測の事態等により、経済的負担が大きく、生活維持が極めて困難となったとき、その留学生を支援するために見舞金を支給、または一時金を貸与します。

・保険への加入

本学の留学生は全員、留学生後援会からの支援により学生教育研究災害傷害保険及び付帯賠償責任保険に加入します。大学が手続きを行うため、留学生が自分で手続きする必要はありません。

国内外における正課中、学校行事中、課外活動中、通学中の事故により身体に障害等を被った場合、本保険給付により補償されます。

4. 国際交流センター

国際交流センターは、外国人留学生・日本語が母語でない学生のための日本語教育および修学・生活上の指導・相談、本学の国際交流の推進への寄与、交流協定校への海外留学に関する指導・支援、またこれらの分野での調査・研究などを行っています（国際交流センターに関する詳細は 105 ページをご覧ください）。

国際交流センターには、留学生相談室も設置されています。困ったことがあったら、気軽に相談してください。留学生相談室の連絡先は、電話:055-220-8753、e-mail: takaei●yamanashi.ac.jp（●を@に変えてください）です。

また、海外留学についての相談は、055-220-8152、taida●yamanashi.ac.jp（●を@に変えてください）で受け付けています。

Handwriting practice lines consisting of 20 horizontal dotted lines.



Handwriting practice lines consisting of 4 horizontal dotted lines.



LIFE GUIDANCE

2021



環境宣言 構内規制 情報倫理

◎山梨大学環境宣言
構内規制

◎情報セキュリティポリシーの順守

環境宣言・構内規制・情報倫理 目次

I 山梨大学環境宣言	81
II 構内規制	
1. 構内交通規制について	82
甲府キャンパス構内交通規制図	84
医学部キャンパス構内交通規制図	85
2. 構内禁煙について	86
III 情報セキュリティポリシーの順守	87

I 山梨大学環境宣言

山梨大学環境宣言

基本理念

人類が21世紀をより良く生きるためには、人間の社会的行動によって起こる地球環境への負荷を軽減し、物質循環を基本とするゼロエミッションの社会を構築する必要があります。このような持続性のある循環型社会を構築し、維持していくことは私たちの責務であり、これらに向けた取り組みは必要不可欠であります。

本学では、よりよい環境を目指して、教育及び学術研究の面から地球環境の向上に貢献するための環境活動を実施するものであります。

基本方針

本学は、基本理念を実現するために、職員及び学生など、本学に関わる全ての人々の協力のもとに、それぞれの立場で「個人として」、「組織として」、自発的・積極的に環境活動に取り組みます。

- (1) 地球環境の保全・改善活動を推進するために、教育及び学術研究活動を通じて、循環型社会を担う21世紀に必要な人材を育成するとともに、教育啓発活動を積極的に展開します。
- (2) 環境目的及び目標を設定し、環境マネジメントシステムの継続的な改善を図ります。
- (3) 循環型社会の実現を目指し、廃棄物の減量化、再利用、リサイクルなどにより、省資源・省エネルギーに取り組み、環境維持・改善と汚染予防につとめます。
- (4) 適用される環境関連の法規、規制、協定、自主基準などを遵守します。
- (5) 山梨県における環境活動に積極的に参画し、地域環境の保全・改善活動を支援します。
- (6) この環境宣言は文書化し、大学ホームページなどを通じて、職員・学生など、本学に関わる全ての人々に周知するとともに、地域社会へも公開し、また、環境活動への取り組みを公表します。

2002年10月1日

山 梨 大 学 長

Ⅱ 構内規制

1. 構内交通規制について

甲府キャンパス

甲府キャンパスでは、教育・研究の場にふさわしいより静かで安全な環境を保つため、下記のように構内交通規制を実施しています。学生の皆さんの理解と協力をお願いします。

記

(1) 入構について

- ① 通学のための自動車の入構は原則として禁止しています。
- ② 入構できる自動車は、駐車場の使用許可を受けた者の自動車、公用車及び緊急車両等とします。
- ③ 二輪車の入構については、特に許可を必要としませんが、近距離通学の場合は、できるだけご遠慮願います。
- ④ 各校門において入構できる車両は、次のとおりとします。

	甲府西キャンパス					甲府東キャンパス				
	正門	西北門	中央西門	西門	駐輪場通用口	中央東門	東門	南門	東南門	駐輪場通用口
自転車	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○
原動機付自転車	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○
自動二輪車	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○
自動車	○	—	—	—	—	—	—	○	—	—

(2) 構内における駐車・駐輪について

- ① 所定の駐車場・駐輪場以外の場所への駐車・駐輪を禁止します。
- ② 駐車場・駐輪場等の位置は、甲府キャンパス構内交通規制図に示すとおりとします。
(なお、構内の駐輪場は、いずれも多くの利用があるため、なるべく奥の方から整然と駐輪し、満車状態の場合は他の駐輪場へ回るなど、相互に快適な利用ができるよう留意してください。)

【二輪車（原付、自転車含む）によるキャンパス構内での走行禁止について】

キャンパス構内の二輪車での走行は、歩行者の安全並びに接触事故等の防止のため、全面禁止となっています。キャンパス所定の駐輪場への駐輪の際には、最寄りの校門から入構をお願いします。

(3) その他

教育研究上又は身体上の理由等により、自動車で甲府キャンパスに入構したい場合または構内駐車場を利用したい場合は、指導教員等の了解のもと下記窓口にて所定の手続きを行い、許可を受けてください。

なお、平日の 17:00 から 22:00、および土曜、日曜、祝祭日の 8:30 から 22:00 の間については、課外活動等への利便性を考慮して、学生の自動車での入構を一時的に許可しています。入構を希望する際は、総合案内所にて所定の手続きを行ってください。(年末年始の休業期間を除く。)

(窓口：施設・環境部施設企画課資産管理室 (総合研究棟1階))

医学部キャンパス

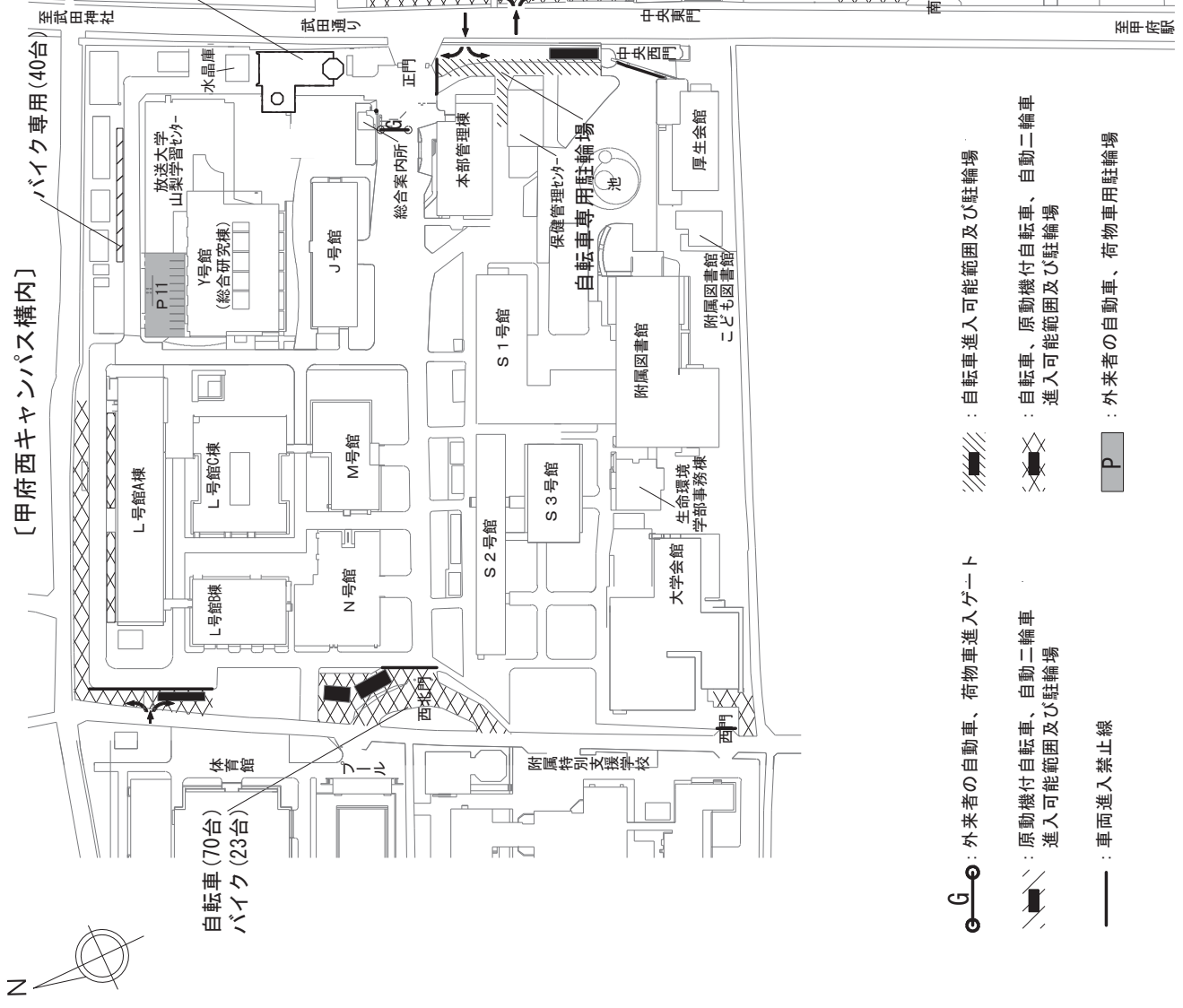
医学部キャンパスでは、下記のように構内交通規制を実施しています。
学生の皆さんの理解と協力をお願いします。

記

- 乗用車での通学については、学生会の許可を得てください。詳細については、学生会からの掲示によりお知らせします。
- 二輪車での通学については、必ず所定の駐輪場に駐車してください。
- 駐車場・駐輪場等の位置は、医学部キャンパス構内交通規制図に示すとおりとします。乗用車は東口一般ゲートから入構してください。
- 所定の駐車場・駐輪場以外の場所への駐車・駐輪を禁止します。

両キャンパスの交通規制図は、次ページに掲載してあります。

山梨大学 (甲府キャンパス) 構内交通規制図



〔甲府西キャンパス構内〕

バイク専用 (40台)

自転車 (70台)
バイク (23台)

〔甲府東キャンパス構内〕

- : 外来者の自動車、荷物車進入ゲート
- : 外来者の自動車、荷物車進入禁止線
- : 原動機付自転車、自動二輪車 進入可能範囲及び駐輪場
- : 自転車、原動機付自転車、自動二輪車 進入可能範囲及び駐輪場
- : 自転車進入可能範囲及び駐輪場
- : 外来者の自動車、荷物車用駐輪場

2. 構内禁煙について

全キャンパス敷地内禁煙について

平成 30 年 7 月 25 日付けで健康増進法の一部を改正する法律が公布され、望まない受動喫煙をなくすため、学校・病院及び行政機関等である本学では、令和 2 年 4 月 1 日から全キャンパスにおいて敷地内全面禁煙を実施することとなりました。

本学は、20 歳未満の学生・児童等や医学部附属病院を受診される方など受動喫煙による健康への影響が大きい利用者が多い施設であること並びに公共性の高い教育研究機関であることを踏まえ、学生、教職員及び学内外関係者の受動喫煙による健康被害を防止し、安心・安全で快適な教育研究環境の確保に取り組みます。

学生の皆さんには、敷地内禁煙についてご理解いただくとともに、本学各キャンパス周辺の路上や店舗等においても、周辺への迷惑となる喫煙を行わない様に受動喫煙防止に配慮いただくようお願いします。

Ⅲ 情報セキュリティポリシーの順守

総合情報戦略機構長

学生の皆さんへ

あなたがコンピュータ犯罪者にならないように気をつけて！

山梨大学では、大学内の大切な情報資産を守り、個人情報保護法や不正アクセス禁止法等に抵触することが無いように、「情報セキュリティポリシー」を定めています。皆さんは山梨大学の構成員として、これらの規則を守らなければなりません。

皆さんに関係する代表的な違反事例は次の通りです。これらは**個人情報保護法**や**著作権法**、**不正アクセス禁止法**に反する**犯罪行為になります**ので、絶対に行ってはなりません。また、このような、違法行為を見つけた場合は通報する義務もあります。情報化社会では「いたずら」ではすまされないと認識しましょう。

- 学内から名簿情報や成績一覧ファイルなどの個人情報を持ち出すこと
- 著作権のある音楽、映画、書籍や雑誌、ゲームソフト、パソコンソフトなどを複製（コピー）し、配布（販売）したり利用すること
- ファイル共有ソフト（BitTorrent などの総称して「P2P」ソフトと呼ばれているソフトウェア）を利用すること
- 学内外の掲示板に、他人を誹謗中傷する事項や、他人の個人情報を書き込むこと
- 他人のシステムパスワードを盗み（許可無く知り得た場合も含む）、他人になりすますこと

皆さんが守らなければならない規定や規則の情報は、下記にあります。必ず目を通しておいてください。

- 「個人情報保護法」に関する情報：
<https://www.yamanashi.ac.jp/about/138>
- 「情報セキュリティポリシー」に関する情報：
<https://www.yamanashi.ac.jp/about/131>

ウイルス対策を行っていないパソコン及び OS（Windows10 等）やアプリケーションソフトのアップデートをしていないパソコンを学内ネットワークに接続してはいけません。

必ず、アンチウイルスソフトをインストールし、普段から OS やアプリケーションソフトのアップデートをすることを心がけて下さい。

自分自身とパソコンを守る為に必須の行為です!!

個人情報を保存したパソコン（フラッシュメモリ等も含む）が紛失、盗難に遭った場合やウイルスに感染した場合は、直ちに下記へ連絡してください。

- 紛失や違反等の報告先：所属学部の学科・講座、研究室の教員（担任等）
- 技術的な問題：総合情報戦略部情報システム課
（電話：055-220-8085, E-mail：ipc@yamanashi.ac.jp）



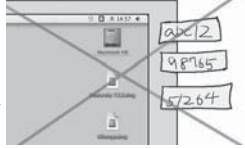
個人情報の保護、情報セキュリティを確保するため、 このようなことに心がけましょう

総合情報戦略機構

①パスワードの管理は徹底して

パスワードの正しい管理は、情報システムを利用する上で必要不可欠なことです。以下のことに心がけましょう。

- 安全なパスワードの作成
 - 名前などの個人情報からは推測されないようにする。
 - 英単語などをそのまま使用しない。
 - アルファベット、数字、記号等を混在させる。
 - 適切な長さの文字列にする（8文字以上が望ましい）。
- パスワードの管理
 - パスワードは、友人などにも教えないで秘密にする。
 - パスワードのメモを作ったり、ディスプレイなどにそのメモを貼ったりしない。
 - パスワードをWebブラウザなどのソフトウェアに記憶させない。
 - パスワードは定期的に変更する。
 - パスワードを入力する場合は、他人に見られないようにする。



⑥被害に遭ったとき



被害を最小限に食い止めるためには迅速な対応が必要です。

不正侵入、データ改ざん、データ流出等の被害が発生した場合は、直ちに所属部局における情報セキュリティの責任者又は担当者に連絡して指示を仰いでください。

⑦あやしい電子メールは開かない

日常やり取りしているメールにウイルスが添付されている場合があります。

ウイルス付きのメールの場合、変な表題だったり、添付ファイルの拡張子がおかしかったりします。

ウイルスには、添付ファイルを開いた時点で感染するものや、メールの本文を開いただけでも感染するものがあります。

おかしいと思ったメールは開かずに捨てましょう。その際、捨てたゴミ箱の中も空にしましょう。



②コンピュータを使用中のまま席を空けない



コンピュータを使用中のまま席を空けると、第三者に悪用され大きなトラブルに巻き込まれる可能性があります。また、自分自身ばかりでなく他人のプライバシーが危機に瀕するばかりか、他のユーザーやネットワーク組織に重大な問題を引き起こしてしまってからでは取り返しがつきません。

席を空けるような場合は、コンピュータの電源を切る、またはスクリーンセーバーのパスワードロック等の処理を行いましょう。

③情報管理は徹底して

ゴミとして捨てられたプリントアウトなどから情報が漏れるなど、案内、意外なところから情報が漏れることがあります。また、外部記憶装置（媒体）などは容易に悪意のある第三者に持ち去られてしまいます。

以下のことに心がけましょう。

- 書類での重要な情報や個人情報を処分する場合には、シュレッダー等により絶対に復元できないようにする。
- 重要な情報や個人情報が記録された書類やUSBメモリ等の記憶媒体をむやみに外に持ち出したり、机の上に放置したままにしない。また、記憶媒体をやむなく外部に持ち出す場合や機密性の高い情報はデータを暗号化して、万一の紛失・盗難等の事故に備える。
- 内外から持ち込んだディスクドライブ等の外部記憶装置（媒体）を安易に自分のパソコンに接続しない。（事前のウイルスチェック等を行う）また、これらは保管場所や装置（媒体）自体の施錠などで物理的盗難を予防する。



⑧安易なダウンロードをしない



ホームページから無償でダウンロードできるフリーソフトなどがありますが、安易なダウンロードによって、ウイルスの感染のほか、ハードディスクの情報が盗まれたり、破壊されたりなどの深刻な被害を受けることがあります。被害を防ぐため、信頼できるサイト以外からはプログラムのダウンロードを避けるようにしましょう。

⑨ホームページに注意

ホームページの中には個人情報の取得を目的としたものや、ウイルスが潜んでいるものもあります。あまり健全でないものや、甘い異様な印象を受けるホームページは避けましょう。

また、突然データの送信を要求してくるようなサイトも危険ですので、その場合はデータ送信を拒否してください。



⑩ウイルス対策ソフトは常に最新の状態に

ウイルス対策ソフトでは、コンピュータウイルスを検出し駆除することができます。

しかし、ウイルス対策ソフトをインストールすれば万全というわけではありません。それが対応していない新種のウイルスであれば感染してしまいます。

ウイルスの感染を極力防止するためには、ウイルス対策ソフトを常に最新の状態にすることが重要です。



④バックアップ



何時どのようなときにコンピュータのデータが使用できなくなるかわかりません。

不慮の事故等に備え、重要なデータは定期的バックアップし、大切に保管しておきましょう。

⑤コンピュータの廃棄や譲渡等は適切に

不要になったコンピュータのデータを削除し、ゴミ箱を空にしただけではデータは完全に削除されません。

実は、復活ソフトを使うと、ごみ箱から削除しただけでは、データを簡単に元通りにすることができるとのことです。ごみ箱だけではなく、ハードディスクのフォーマットでも同様のことが言えます。

データ消去ソフトを使ってデータを消去するか、信用できる専門業者にハードディスク内のデータを抹消してくれるよう依頼しましょう。



⑪ウイルスに感染した場合

ウイルスに感染した場合は、そのままシステムを使用し続けていると感染拡大の恐れがありますので、速やかにパソコンのLANケーブルを抜きネットワークから切り離してください。

その後、所属部局における情報セキュリティの責任者又は担当者に連絡し、指示を仰いでください。



⑫セキュリティレベル

全体ではどんなにセキュリティレベルが高くても、部分的（個人的）に低いところがあれば、そこから侵入されます。

そのため、最もセキュリティレベルの低い部分が組織全体のセキュリティレベルとなります。一人ひとりが責任をもって情報セキュリティに取り組みましょう。



Handwriting practice lines consisting of 20 horizontal dotted lines.



Handwriting practice lines consisting of 4 horizontal dotted lines.

Handwriting practice lines consisting of 20 horizontal dotted lines.



Handwriting practice lines consisting of 4 horizontal dotted lines.



学内附属施設等 学内共同教育研究施設

- ◎附属図書館
- ◎保健管理センター
- ◎教育国際化推進機構
 - アドミッションセンター
 - 教養教育センター
 - 大学教育センター
 - 国際交流センター
 - キャリアセンター
- ◎機器分析センター
- ◎総合情報戦略機構
- ◎クリーンエネルギー研究センター
- ◎総合分析実験センター
- ◎燃料電池ナノ材料研究センター
- ◎発生工学研究センター
- ◎地域人材養成センター地域未来創造室
- ◎男女共同参画推進室

学内附属施設等
学内共同教育研究施設 目次

附属図書館

趣旨・目的	93
利用心得	93
電子図書館サービス	93
1. 本館（甲府キャンパス）.....	94
2. 医学分館（医学部キャンパス）	97

保健管理センター	99
----------------	----

教育国際化推進機構	101
アドミッションセンター	102
教養教育センター	103
大学教育センター	104
国際交流センター	105
キャリアセンター.....	106

機器分析センター	108
----------------	-----

総合情報戦略機構	110
----------------	-----

クリーンエネルギー研究センター	112
-----------------------	-----

総合分析実験センター	114
------------------	-----

燃料電池ナノ材料研究センター	115
----------------------	-----

発生工学研究センター	117
------------------	-----

地域人材養成センター 地域未来創造室	119
--------------------------	-----

男女共同参画推進室	120
-----------------	-----

附属図書館

趣旨・目的

図書館は、図書や学術雑誌その他必要な資料を収集・整理・保存・提供し、併せて学術情報システム提供の場として機能することにより、山梨大学における教育・研究を支援するとともに、地域社会の知的情報基盤としての役割を果たすことを目的としています。

利用心得

- ① 図書館内での飲食については各館のルールに従ってください。
- ② ラーニングcommons以外の場所では静かにしましょう。
- ③ 携帯電話は着信音が出ないように設定して、通話は館外でしてください。その他、他の利用者の迷惑になるような行為はやめてください。
- ④ 図書館所蔵の資料は、丁寧に取り扱い、書き込み等行わないよう特に注意してください。
- ⑤ 悪天候や感染症対策のため、開館時間の変更、利用制限を行うことがあります。図書館からのお知らせや掲示等で確認するようにしてください。

電子図書館サービス



※ 附属図書館ホームページ <https://lib.yamanashi.ac.jp/>

インターネットを経由して、附属図書館の電子サービスを直接利用することができます（③-⑥は学内 LAN 経由のみ、*甲府キャンパス限定、#医学部キャンパス限定、◆図書館内特定のパソコン限定）。

- ① MyLibrary 貸出や予約状況の確認、貸出資料の期間延長、学外文献複写・図書貸借の依頼が可能です。
- ② OPAC（オンライン蔵書目録）山梨大学所蔵の図書・雑誌・電子ブックの検索ができます。
- ③ 情報検索データベース（*日本語）新聞記事や論文の検索等が可能です。
新聞記事：*朝日新聞記事データベース（聞蔵Ⅱ）、◆*山梨日日新聞
全分野データベース：*CiNii Articles、*MAGAZINEPLUS、Web of Science
医学・看護学・EBM：*医中誌 Web、MEDLINE、CINAHL、EBMR、##最新看護索引 web、##*今日の臨床サポート、#ClinicalKey、#UpToDate
教育：ERIC
雑誌評価 (Impact Factor 等)：Journal Citation Reports
法律：*D-1Law.com (法情報総合データベース)

④ 電子ジャーナル

電子ジャーナルは、ホームページ上で公開され、閲覧・プリントアウトなどが可能な学術雑誌です。有料契約雑誌のほか、無料で公開されている多数のオープンアクセス誌の全文が利用できます。

⑤ 辞書

- ジャパンナレッジ：『日本大百科全書』、『ランダムハウス英和大辞典』、『字通』、『国史大辞典』、『会社四季報』等の各種辞事典類を総合的に検索できます。また、『東洋文庫』などを画面上で閲覧することができます。
- KOD（研究社オンライン・ディクショナリー）：『リーダーズ英和辞典』をはじめ、研究社が発行する多彩な辞書をインターネット上で検索できます。

⑥ 電子ブック

- *化学書資料館：国内出版の化学書を総合的に検索、閲覧できます。
- 理科年表プレミアム：理科年表のインターネット版。1925年（大正14年）以降から最新版までのデータが利用できます。
- #Harrison's Principles of Internal Medicine 20th edition, 2018（ハリソン内科学）ほか、医学看護系14タイトル
- 今日の診療 WEB版：医学系書籍15冊を集録。
- KinoDen
- Maruzen eBook Library
- ProQuest Ebook Central
- 通算政策史資料（一部利用可）：通商産業政策史に関わる資料群
- EBSCOhost eBook Collection
- 地方自治関係資料 1974-2015：地方自治総合研究所の成果物
- **国立国会図書館デジタルコレクション

このほか多数のタイトルを学内外から利用できます。図書館HPの電子資料またはOPACから検索をしてアクセスしてください。

1. 本館（甲府キャンパス）

（1）開館時間と休館日

① 開館時間 通常：平日 8:45～21:00

土・日曜日（10:00～13:00）13:00～17:00

（ ）内の時間は、カードによる入館

各季休業期間 平日 8:45～17:00

② 休館日

国民の祝日および振替休日 開学記念日（10月1日）

甲府キャンパス夏季一斉休業日 年末年始（12月27日～翌年1月4日）

入学試験日等

（臨時に休館する場合は、ライブラリーカレンダー、ホームページ等で通知します。）

③ 特別利用（上記①の開館時間以外および休館日における館内閲覧、文献複写および情報検索） ただし、開館準備等で利用できない時間帯があります。

対象： 本学大学院生、専攻科生、当該年度に卒論を提出予定の学部生、教職員
※利用には申請が必要です。

(2) 貸出・返却

図書の館外貸出は学生証を用意の上、自動貸出装置を用いて処理を行ってください。手続きをしていない資料を持ち出そうとすると、出口がロックされます。なお、転貸は禁止します。

返却は図書館事務室カウンターまたは、玄関ほか、学内2箇所にあるブックポストに返却してください。

- ① 貸出冊数と期間 10冊 3週間
- ② 借りられない資料 雑誌、参考図書、AV資料等
- ③ 貸出期間の延長

貸出期間内に MyLibrary で延長処理をするか、図書館事務室カウンターに申し出てください。予約者がいなければ、返却期限日よりさらに7日間の延長(1回限り)ができます。

④ 予約

既に貸出されている図書を利用したい場合は、予約をすることができます。

⑤ 延滞・罰則

借りた図書は必ず期限内に返却してください。1冊でも延滞している資料がある場合は、新たに借りることはできません。また、遅れて返却した場合は、超過日数だけ貸出停止となります。貸出停止中は、医学分館でも貸出ができません。

⑥ 紛失・汚損・破損

借りた資料を紛失・汚損・破損した場合は図書館事務室カウンターに申し出てください。弁償していただきます。

(3) 図書館所蔵資料の探し方

① 書架で探す

2階の図書のほとんどはNDC(日本十進分類法)の分類番号順に並んでいます。特定の図書ではなくある分野の図書全体を見たい場合は、分類番号から探すことができます。NDCは、2階閲覧室に掲示してあります。

② OPAC(オンライン蔵書目録)で探す

山梨大学附属図書館で所蔵する資料(図書・雑誌等)は、各階のOPACで所蔵検索ができます。また、インターネットに接続していれば、どこからでも検索できますので、図書館のホームページからご利用ください。

(4) 資料の配置と館内施設

① 図書は次のとおりに並んでいます。

- ・一般図書、参考図書…NDC(日本十進分類法)順
- ・文庫・新書…タイトルのABC順

② 雑誌は配架番号順に並んでいます。(配架番号はOPACのコメント欄に記載)

③ 館内の施設（配置）

3階	雑誌書架・閲覧室	和文誌、欧文誌、大学研究報告、白書、J I S等
	新聞閲覧室	主要日刊紙・英字新聞のバックナンバー
	視聴覚室	ビデオ、DVD等
	YINS 端末室	オープン端末
2階	開架図書書架・閲覧室	一般図書、参考図書、文庫・新書等
	ラーニングcommons	サイレントエリア、グループミーティングエリア、グループ研究室エリア
1階	ラーニングcommons	ライティングサポートエリア、グループミーティングエリア、プレゼンエリア、多目的エリア、新聞・雑誌閲覧エリア
	自販機コーナー	飲料水販売機
	閉架図書書架	一般図書
地階	閉架図書書架	一般図書、参考図書、製本雑誌

(5) 各種サービス

① 文献複写

図書館の資料は、著作権法の範囲内で複写することができます。2階及び3階に設置されているカード式の複写機を利用してください。

② レファレンス・サービス

研究、調査及び学習等に必要な資料の紹介、文献の調査及び資料の所在調査の援助など種々の問合せに対して1階図書館事務室カウンターで職員が相談に応じます。

③ 相互利用

・他大学図書館の利用

他大学図書館の利用を希望する場合は、紹介状を発行します。

・学内にない資料を利用する

他機関から文献の複写物を取り寄せたり、図書を借りたり（館内利用に限る）することができます（有料）。

※ 本館・医学分館の資料の相互利用も可能です。（貸借：無料、複写：有料）

2. 医学分館（医学部キャンパス）

（1）開館時間と休館日

- ① 開館時間 平日 9:00~20:00
土曜日 9:00~13:00

* ただし、毎週月曜日（休日の場合は週の最初の平日開館日）の
9:00~10:00は清掃のため完全休館します。（特別利用も不可。）

- ② 休館日 日曜日 国民の祝日および振替休日 開学記念日（10月1日）
年末年始（12月27日~翌年1月4日）
（臨時に休館する場合は、ホームページ等で通知します。）

- ③ 特別利用（上記①の開館時間以外および休館日における館内閲覧、文献複写および情報検索）

対象： 本学医学部学部生、大学院生、教職員
利用には申請およびガイダンスの受講が必要です。

（2）貸出・返却

図書の館外貸出にあたっては、希望する資料と学生証を提示してください。手続きをしていない資料を持ち出そうとすると、出口がロックされます。なお、転貸は禁止します。

休館・閉館時には、図書館玄関および基礎研究棟に続く渡り廊下側の図書館入口にあるブックポストに返却してください（AV資料は不可）。

① 貸出冊数と期間

一般図書	3冊 1週間
AV資料	1本 1週間
参考図書・雑誌	1冊 一時貸出：2時間以内 (閉館2時間前から翌朝10時まで)

② 貸出期間の延長

貸出期間内に MyLibrary で延長処理をするか、カウンターに申し出てください。予約者がいなければ、返却期限日よりさらに7日間の延長（1回限り）ができます。

③ 予約

既に貸出されている図書を利用したい場合は、予約をすることができます。

④ 延滞・罰則

借りた図書は必ず期限内に返却してください。1冊でも延滞している資料がある場合は、新たに借りることはできません。また、遅れて返却した場合は、超過日数分だけ貸出停止となります。貸出停止中は、本館でも貸出ができません。

⑤ 紛失・汚損・破損

借りた資料を紛失・汚損・破損した場合はカウンターに申し出てください。弁償していただきます。

(3) 図書館所蔵資料の探し方

① 書架で探す

特定の図書ではなくある分野の図書全体を見たい場合は、分類番号から探すことができます。「(4) 資料の配置」を参考にしてください。

② OPAC (オンライン蔵書目録) で探す

山梨大学附属図書館で所蔵する資料 (図書・雑誌等) は、各階の OPAC で所蔵検索ができます。本館と共通の OPAC です。

(4) 資料の配置

① 図書

医学および関連領域の図書は、2階第三閲覧室に NLMC (米国国立医学図書館分類法) の分類番号順にならべてあります。一般の図書は、2階第二閲覧室に NDC (日本十進分類法) の分類番号順にならべてあります。また、2階中央に「生と死のコーナー」があります。このコーナーには生と死や終末期医療、生命倫理などについて書かれた図書等が配架されています。

② 雑誌

雑誌は、下表のように所在が分かれています。欧文誌は誌名の ABC 順、和雑誌は誌名の五十音順に並んでいます。

	医学・関連領域	総合・一般
1階第一閲覧室	バックナンバー	
1階ラウンジ	新着雑誌*、カレント誌	新着雑誌*、カレント誌

※ 雑誌の最新号は新着資料として展示された後、1階カレント誌の書架に配架されます。

(5) 館内施設 : 利用の際は、カウンターで申し込んでください。

① 学習室 1・2・3・大学習室

図書館資料を用いて、グループ学習するときに利用できます。大学習室では、ビデオ・DVD を利用した学習も可能です。事前に予約が必要です。

② 視聴覚室

視聴覚資料 (語学・医学・その他分野の、ビデオテープ・DVD) が視聴覚室で利用できます。また、情報検索およびレポート作成のための PC も設置されています。

③ 情報検索コーナー・コピーコーナー

情報検索コーナーには PC が設置されており、情報検索、学習等のために使用できます。コピーコーナーでは資料の複写や PC からの印刷が可能です。

※ 各種サービスについては、医学分館も本館と同様のサービスを行っています。

保健管理センター

1. 趣旨・目的

〔 保健管理センターは、皆さんの心身の健康の保持促進を目的として業務を行っています。 〕

- 保健管理センター（甲府キャンパス）
TEL：055-220-8081
FAX：055-220-8075

- 医学部保健管理センター（医学部キャンパス）
TEL：055-273-9312
FAX：055-273-9289

e-mail：health@yamanashi.ac.jp

ホームページ：https://health.yamanashi.ac.jp/

2. 保健管理センターの業務案内

センターを利用できる時間	8時30分～17時15分
--------------	--------------

○保健管理センターの利用は無料です。

(1) 相談活動

健康に関する相談など、心と身体の問題に医師、保健師、看護師が対応します。

○プライバシーは厳守します。お気軽にお越しください。

(2) 診察・応急処置

体の不調やけが等は、医師、保健師、看護師が対応しています。

当センターで対応できない場合には、専門の医療機関を紹介します。

(3) 学生定期健康診断

病気の早期発見、健康の保持・増進のために毎年、春に定期健康診断を実施します。

日程など必要事項は「ホームページ」「イントラネット学生掲示板」等で案内します。

(4) 健康診断証明書の発行

該当キャンパスの保健管理センターで発行いたします。窓口にお問い合わせください。

お申し込みは、時間に余裕を持って、お早めをお願いします。

3. 休日・夜間対応について

<救急医療>

甲府市医師会救急医療センター (甲府市及び中巨摩東部地区*) 電話 055-226-3399	・月～土曜日(夜間) 午後7時～翌朝午前7時 ・休祝日 午前7時～午後7時
山梨県救急医療情報センター (甲府市及び中巨摩東部地区*を除く全地域) 電話 055-224-4199	

*中巨摩東部地区の対象区域は、次のとおりです。

甲斐市(旧竜王町、旧敷島町の区域)・中央市・昭和町

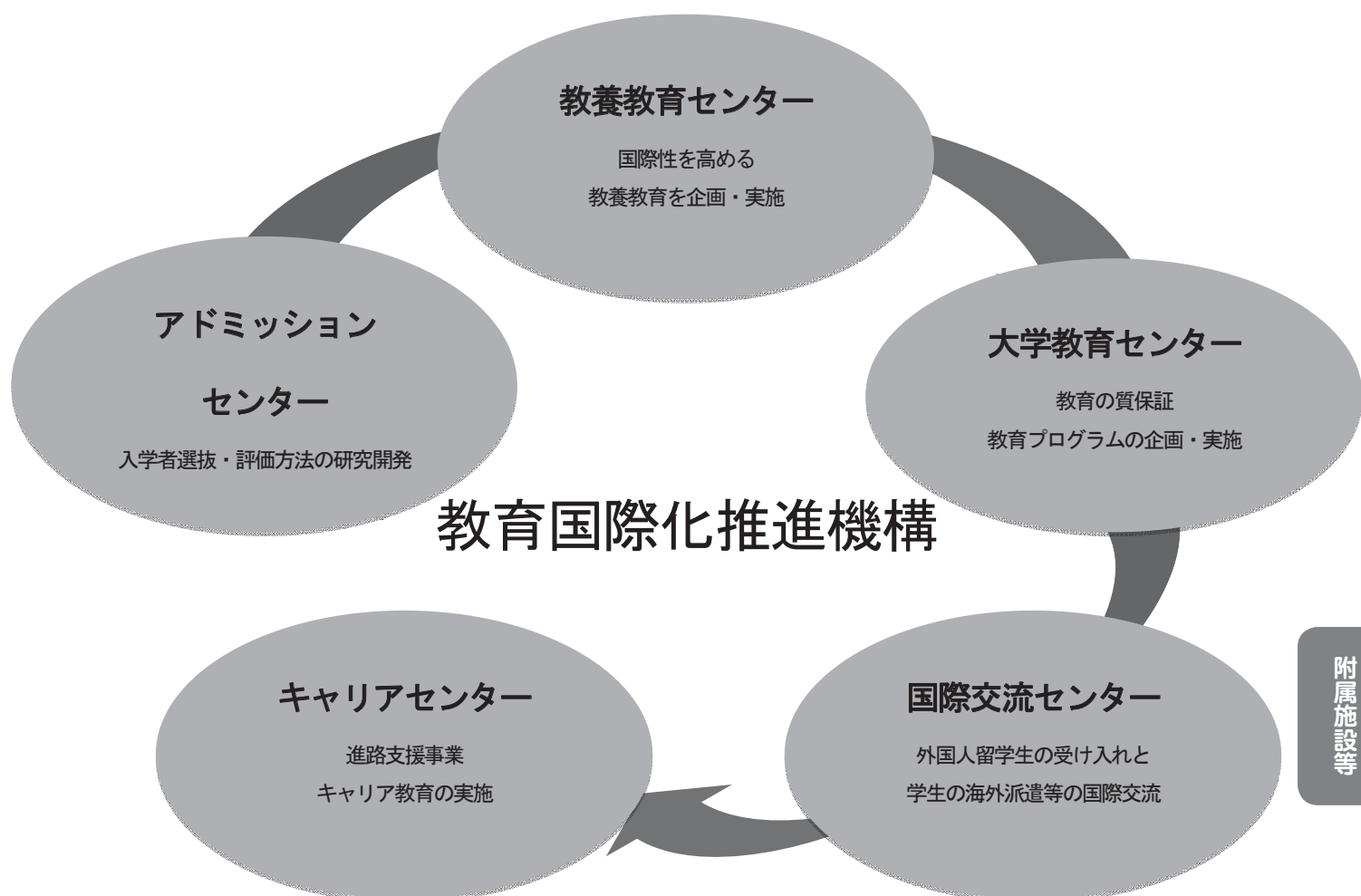
<歯科救急>

社団法人山梨県歯科医師会 山梨口腔保健センター(甲府地域) 電話 055-252-9955	・休祝日 午前10時～午後5時
歯科救急センター (甲府地域) 電話 055-220-1199	・月～土曜日(夜間) 午後7時～午後11時 ・休祝日(夜間) 午後5時～午後11時
富士・東部口腔保健センター (富士東部地域) 電話 0554-56-8899	・休祝日 午前10時～午後5時

教育国際化推進機構

1. 趣旨・目的

教育国際化推進機構は、教育の質保証及び国際化、学生のキャリア形成に資する全学的な施策を推進することを目的に、5つの学内共同教育研究施設(アドミッションセンター、教養教育センター、大学教育センター、国際交流センター、キャリアセンター)及び関係の委員会から構成される組織です。世界標準の教育の質保証の仕組みを取り入れ、海外からの留学生と日本人学生が共に学び、しっかりとした基礎と専門を身につけるとともに、学生の進路決定を円滑に推進し、社会に貢献できる学生を送り出すため、きめ細かい支援を行っています。



1. 趣旨・目的

アドミッションセンターは、山梨大学における、アドミッション・ポリシーに合致した入学者の確保やそのための方策の調査・分析、企画立案・提言、実施することを目的としています。

平成 28 年度に高大接続システム改革会議から、高等学校改革、大学教育改革、及び大学入学者選抜改革の一体的改革の必要性が示されました。このうちの大学入学者選抜改革を行うのが、アドミッションセンターの役割です。

2. センターの活動内容

- (1) 多面的総合的な入学者選抜方法に関する調査・分析、企画立案、提言及び実施
- (2) 入学者選抜及び教育・学習と通じた高大接続に関する活動
- (3) 多様な学習活動や学習成果の適切な評価のため調査研究、提言及び実施
- (4) 入学者選抜に関する情報分析と入学前教育に関する支援

3. センターの取組み

- (1) 高大接続に関する研究会（高大研）の実施推進

平成 28 年度に山梨県教育委員会と山梨大学が連携をして、高大接続に関する研究会（高大研）を発足させました。平成 29 年度から、山梨県下の高校と連携して学習評価に関する調査研究を進めると同時に、高校 3 年間におけるポートフォリオなどの学習や活動の履歴のあり方について検討を続けています。

- (2) 他大学の取組についての情報収集

高大接続システム改革は、高校や大学の一体的改革という点において、これまでにない全国規模の改革です。他大学の取組や様々な情勢を参考にしながら入学者選抜改革を推進していきます。

- (3) プレイスメントテストの実施に向けた準備と入学前指導の試行の検討

入学者選抜において人物を重視すると同時に大学の授業に対応できる学力も必要です。大学教育の質の保証のためにプレイスメントテストの実施や学部と協力した入学前指導などを行っています。

1. 趣旨・目的

教養教育センターは、山梨大学の理念である諸学融合の基礎となる教養教育の企画・実施を主な任務としています。幅広い教養を身につけ、問題意識を持って柔軟に思考する力を獲得するために、各学部及び教育国際化推進機構内の他のセンターと共同して全学共通教育科目を運営します。

2. センターの活動内容

- (1) 全学共通教育の実施計画に関すること
- (2) 全学共通教育科目のカリキュラム及び実施に関すること

3. センターの取組み

本センターでは、(1)キャリアについての意識向上と健康維持増進力の育成を目指す授業、(2)「多様な知識の獲得」、「様々な学問分野の考え方」、「批評力」や「コミュニケーション・スキル」に関わる能力の獲得を目指す授業、(3) 国際社会で活躍するのに必要な「異文化理解と外国語リテラシー」の基礎的能力の育成を目指す授業、(4) 自律的な学習能力と実践的な能力を涵養し、リベラルアーツの実践を後押しする活動、などを中心に、幅広い教養科目の企画、立案を行っています。学内外の多彩な専門分野の講師を招いた「教養教育センター講座」も随時開催しています。

1. 趣言・目的

大学教育センターは、山梨大学の教育方法の改善や教育の質保証のための取組みを企画し実施することを主な目的としています。また、グローバル人材育成と大学の国際化の推進を、教育国際化推進機構の総括の下、アドミッションセンター、教養教育センター、国際交流センター及びキャリアセンターと協働し取り組んでいます。

2. センターの活動内容

- (1) 教育の質保証に関すること。
- (2) 教育評価に関すること。
- (3) 全学的なFDの企画立案、実施及び評価に関すること。
- (4) 教育環境の情報化に関すること。
- (5) 教育改善プロジェクト（EIP：Education Improvement Project）に関すること。

3. センターの取組み

- (1) 内部質保証

大学が自律的な組織として、その使命や目的を実現するために、自らが行う教育及び研究、組織及び運営、ならびに施設及び設備の状況について継続的に点検・評価し、質の保証を行うとともに、絶えず改善・向上に取り組む。
- (2) 教学IR

全学的な授業アンケートによる学修時間等教学関係各種データの把握及びデータの分析。
- (3) 全学教育FD研修会

個々の教員の授業能力や、学部や学科といった組織としての教育力を向上させるための活動といった、本学のファカルティ・ディベロップメント（FD）活動を全学FD部門の下に企画・運営。
- (4) アクティブラーニング、e-ラーニング

ICTを活用しアクティブラーニングを取り入れた授業方法の開発、学生の振り返りや修学支援に活用できるe-ラーニングシステム、ポートフォリオシステム。
- (5) 教育改善プロジェクト（EIP：Education Improvement Project）

学生主体の教育改善や教育環境整備を目指す。教育改善アンケート実施、期末の夜間自習教室開放、授業内容可視化への働きかけ、全国的な学生FD(教育改善)イベントへの参加・発表・情報収集。

1. 趣旨・目的

国際交流センターは、2003年4月に学内共同教育研究施設として発足した留学生センターを改組し、2014年4月に設置されました。外国人留学生のために日本語教育および修学・生活上の指導・相談を行うこと、学生の海外留学の促進を含む本学の国際交流の推進に寄与すること、また、これらの分野での調査・研究を促進することを目的としています。

2. 取組み

国際交流センターは、以下のような業務を行っています。

■日本語・日本事情・異文化理解教育

学部留学生を対象とする日本語の授業を前期は4レベル7科目、後期は4レベル6科目開設しています。また、日本人学生と留学生が共に学ぶ、日本事情の科目も開講しています。さらに、本学に在籍する日本語力が十分でない大学院生や研究生を対象に、初級から中級レベルの日本語のクラスを補講として開講しています。

■留学生指導相談・文化交流

指導相談担当教員による留学生相談室が開室されており、留学生に対する修学・生活面での指導、助言を行っています。様々な相談に応じるため、各教員がオフィスアワーも設けています。国際企画課スタッフと連携して留学生の日常生活で生じる些細な問題にも対応しています。

問い合わせ先：電話 055-220-8753

■大学院入学前予備教育—日本語研修コース

大学院進学を目的とする国費研究留学生向けに、前期は初級レベル、後期は初級と初中級レベルの日本語集中授業を15週間行います。交換留学生や研究生の受講も可能です。

問い合わせ先：電話 055-220-8152

■海外留学に関する指導・サポート

海外留学を希望する学生に、交流協定大学への交換留学、語学を中心に学ぶ数々の短期研修プログラムを紹介し、留学準備段階から帰国後までの指導・サポートを行っています。

問い合わせ先：国際企画課 電話 055-220-8703

■G-フィロス（グローバル共創学習室 B-1号館2階221室）の管理・運営

語学学習や異文化理解を通じて学生が互いに学び合う、国際的な学習環境を提供しています。また、TOEIC®対策講座などを開講し、英語学習支援をしています。

詳細は、国際交流センターホームページ（<https://www.ciee.yamanashi.ac.jp>）をご覧ください。

1. 趣旨・目的

キャリアセンターは、本学学生が4年間の大学生活を有意義に過ごし、その結果として卒業後の進路がスムーズに決まり、また社会、地域において貢献できる人となるように、学生一人一人のキャリア形成を図るため開設されました。

キャリアセンターでは、人間力を向上させ、目的意識を持って自分に合った人生設計ができる人材育成をするための「キャリア教育」を入学早期から実施するとともに、進路支援事業の拡充と複数のキャリア・アドバイザーによる、きめ細かい相談・助言を行います。

2. 業務内容

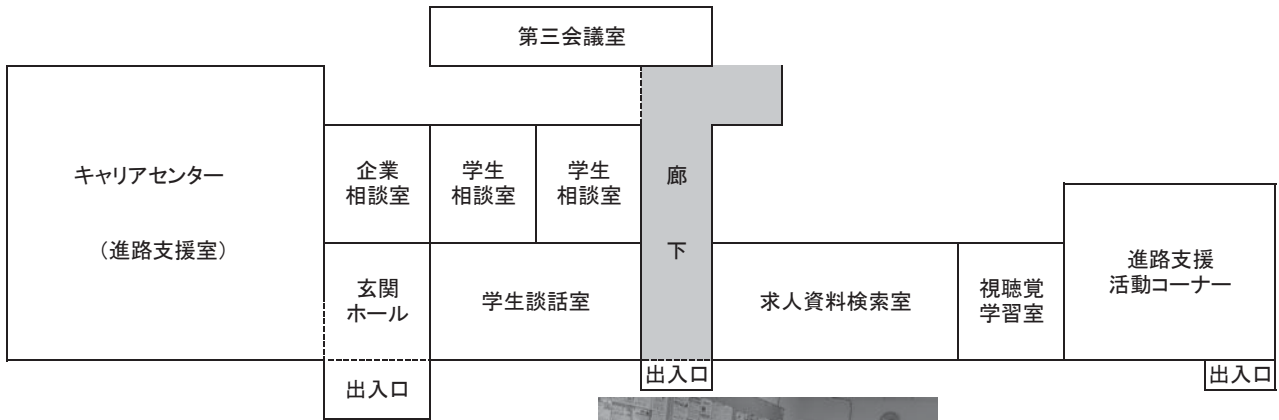
- (1) キャリア・アドバイザーによる指導・助言（キャリア設計を行ううえでの悩み・不安の相談から就職支援等までの幅広い相談について、経験豊富なスタッフが助言等を行います。）
- (2) キャリア教育の実施（低学年からのキャリア形成について、講義・実習の企画・運営を行います。）
- (3) 就職関係ガイダンスの実施（職務適性診断からの自己分析、就職活動における対策、公務員・企業関係者からの説明会等、年間を通じて各業種・職種・学年に対応した内容で行います。）
- (4) インターンシップ支援・コーディネート（マッチング等）

3. 求人システム

求人検索システム

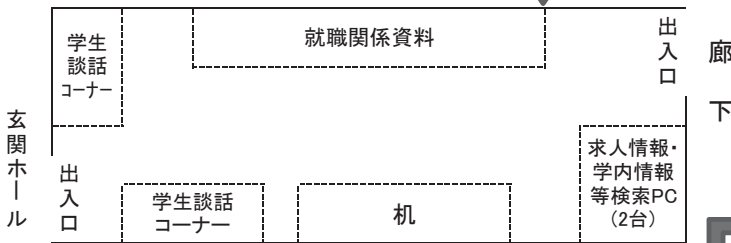
本学に送付・提出された求人票について、職種、業種、地域等で検索して、就職活動に活用できます。

4. キャリアセンター図

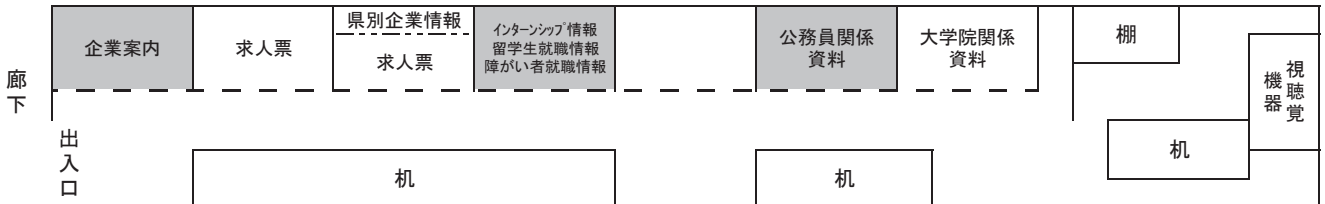


キャリアセンター各室詳細図

○学生談話室

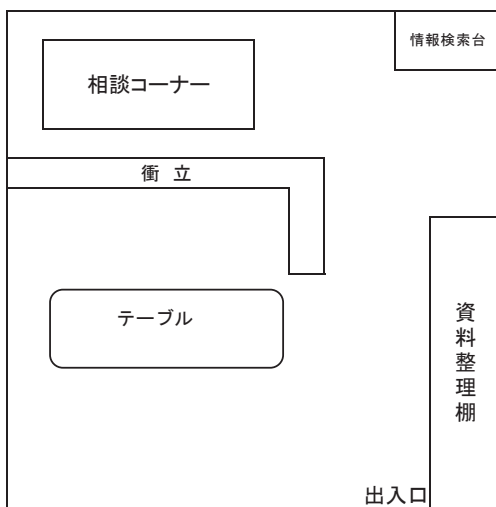


○求人資料検索室

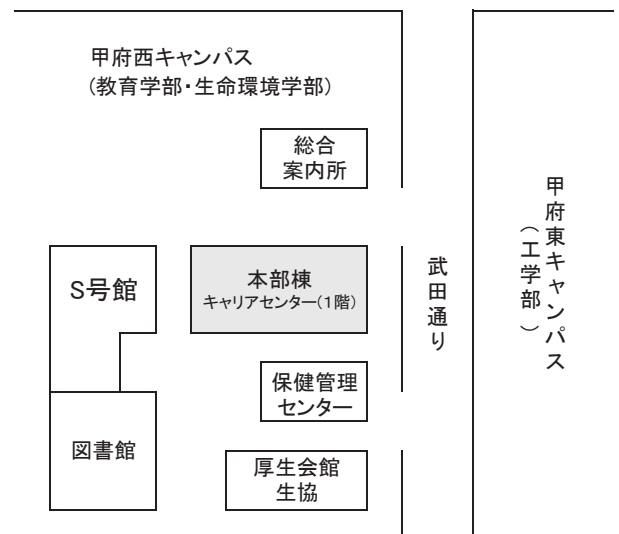


○視聴覚学習室

○進路支援活動コーナー



◎キャリアセンター位置図



キャリアセンター

055-220-8319 (TEL) 055-220-8782 (FAX)
E-mail career-tr@yamanashi.ac.jp

附属施設等

機器分析センター

1. 趣旨・目的

機器分析センターは、平成 7 年 4 月に設置された共同利用施設です。最先端の高度な分析・計測機器を設置、管理しています。これらの装置は、学内外の研究、教育のために提供されており、所定の手続きを経ることにより利用できます。

2. 設置機器

2021 年 1 月現在、設置されている機器は次のとおりです。

透過型電子顕微鏡（2台）	走査透過型電子顕微鏡
走査型プローブ顕微鏡	プラズマクリーナー
集束イオンビーム加工装置	ハンディラップ
イオンポリッシング装置	マイクロマニピレーター
超音波ディスクカッター	クライオウルトラマイクローム
ウルトラマイクローム	電子線プローブマイクロアナライザー
走査型電子顕微鏡（2台）	オージェ電子分光装置
電子線後方散乱結晶方位解析装置	分光エリプソメーター
X線光電子分光装置	イオンエッチング装置
触針式表面形状測定装置	電解研磨装置
真空蒸着装置（2台）	機械研磨装置
X線残留応力測定装置	オスミウムプラズマコーター
液体クロマトグラフ質量分析装置	多目的X線回折装置
有機微量元素分析装置	ICP 発光分析装置
ガスクロマトグラフ質量分析装置（2台）	フーリエ変換赤外分光光度計
レーザーラマン分光光度計	核磁気共鳴装置
顕微赤外測定システム	三次元座標測定機
ナノインデント	三次元粗さ測定機
サーマルサイクラー	精密万能試験機
円柱形状測定機	小型万能試験機
万能投影機	カラーレーザー顕微鏡
低温物性評価システム	極低温ヘリウム冷凍機
低振動型極低温ヘリウム冷凍機	顕微紫外可視近赤外分光光度計
電子スピン共鳴装置	粒子径・ゼータ電位・分子量測定装置
示差走査熱分析装置	熱重量示差熱分析装置
示差走査熱量分析装置	

それぞれの機器の機能や性能についてはセンターの Web に説明しています。また、学内で使用される液体窒素の供給も行っています。

3. 利用方法

センターの機器を利用するには卒業論文や大学院の指導教員の承認が必要となります。使用を希望する機器について指導教員の承認を受けてセンターに利用者登録の申請を行います。必要な実習などを受けた後センターに利用者登録されるので、予約をとって使用します。操作方法やマナーを守り、研究に活用してください。

登録や利用についての詳細は、センター事務室に相談してください。

総合情報戦略機構

1. 総合情報戦略機構の業務

総合情報戦略機構は、情報システムの管理・運用や、情報セキュリティの順守の促進等の業務を行っており、甲府・医学部の両キャンパスに事務室を置いています。両キャンパスには、ギガビットネットワークをベースにした基幹ネットワークが敷設され、甲府キャンパスと医学部キャンパス間もギガビットネットワークで接続されています。また、両キャンパスとも無線LAN環境が構築されており、学内の多くのエリアをカバーしています。

皆さんが授業で利用する情報処理教室は7教室あり、空き時間には自習等でも利用することができます。その他、随時利用できる端末として、両キャンパスにオープン端末が整備されています。

端末利用のルールやマナーを守り、自学自習に活用してください。


2. 利用案内

(1) 端末の利用方法

端末を利用するには、アカウント（ログインID、パスワード）が必要です。

新入生には入学手続き時に学生証と一緒に配付されるので、パスワード変更の指示があるまで大切に保管してください。また、情報メディア館等の情報処理教室及びオープン端末室に入室するには、学生証が必要になります。アカウントは、卒業するまで使用します。

(2) 端末の種類・設置場所および利用時間について

マークのある教室・端末室への入室には、学生証が必要な時間帯（◎は常時必要）があります。必ず、学生証を携帯してください。

情報処理教室

(甲府キャンパス)


設置場所	台数	利用時間	
情報メディア館 	2階 第1実習室	76台	平日8:30~17:00 (土日・祝日利用不可)
	2階 第2実習室	41台	平日8:30~17:00 (土日・祝日利用不可) 延長サービス時(8:30~20:30)
	2階 第3実習室	65台	平日8:30~17:00 (土日・祝日利用不可)
	3階 第4実習室	71台	平日8:30~17:00 (土日・祝日利用不可)
	3階 第5実習室	21台	平日8:30~17:00 (土日・祝日利用不可)
J号館3階 J321教室 ◎ 	51台	平日8:30~17:00 (土日・祝日利用不可)	

(医学部キャンパス)

設置場所	台数	利用時間
看護学科棟2階 情報処理教室	76台	※授業のみ

オープン端末

(甲府キャンパス)

設置場所	台数	利用時間
総合研究棟 1 階 24 時間オープン端末室 ◎ 	40 台	24 時間利用可能 (構内閉鎖日を除く)
附属図書館 3 階 ; YINS 端末室	28 台	附属図書館の利用時間に準ずる
キャリアセンター	2 台	キャリアセンターの利用時間に準ずる
キャンパス内各所 (キオスク端末)	12 台	それぞれの建物利用時間に準ずる

(医学部キャンパス)

設置場所	台数	利用時間
講義棟 2 階 学生自習室 ◎ 	12 台	24 時間利用可能 (構内閉鎖日を除く)
講義棟 1 階 ロビー	9 台	
看護学科棟 1 階 ロビー	8 台	
看護学科棟 2 階 ロビー	4 台	
臨床講堂 1 階 廊下	8 台	
附属図書館医学分館 1 階 ロビー	8 台	附属図書館医学分館の利用時間に準ずる
附属図書館医学分館 2 階 視聴覚室	5 台	

3. 各種サービス

利用者の皆様へのサービスとして、YINS-CNS、電子シラバス、Web-mail、Web 履修申告等の学生 Web システム、商用教材を含む各種の e-Learning システム、附属図書館の蔵書検索システム、無線 LAN 接続、学外からの VPN 接続など多数提供しています。

4. 組織

甲府キャンパス

(情報メディア館 1 階)

情報システム課 総務グループ
管理運用グループ

システム企画室

TEL 055-220-8085

FAX 055-220-8792

詳細は、総合情報戦略各機構のホームページ (<https://sojo.yamanashi.ac.jp>) を参照してください。

医学部キャンパス

(管理棟 3 階)

情報システム課 総務グループ
管理運用グループ

TEL 055-273-9634

FAX 055-273-9436

クリーンエネルギー研究センター

<http://www.clean.yamanashi.ac.jp>

1. 趣旨・目的

本学ではクリーンエネルギーに関する研究を長年にわたり推進してきました。1978年には国内外を見ても初めての燃料電池を研究目的にした「燃料電池実験施設」が発足し、ここでは触媒等新材料の開発や人材の育成で目覚ましい成果を上げてきました。他方、極低温・高真空の宇宙での生命誕生につながる化学反応の長年の研究を通じ、低温トンネル反応を発見し、工業分野の応用へと展開しつつあります。この二分野の先導的研究成果を背景にして、省エネルギー、地球環境問題の解決に貢献することを目的に、本センターは大学直属の施設として、平成13年4月に新設されました。研究2部門（燃料電池、太陽エネルギー変換；教授5名、准教授4名）から構成されています。尚、本センターは大学附置施設である特色を活かして、応用化学科などからの学部生、大学院生の教育・研究指導に直接携わり、研究活動と活カ・能力溢れる当該分野の人材育成とを両立させています。その強化の一環として、5年間一貫の文部科学省博士教育リーディングプログラム「グリーンエネルギー変換工学特別教育プログラム」（平成23～29年度）に引き続き、平成30年10月に卓越大学院プログラム「パワー・エネルギー・プロフェッショナル育成プログラム」に採択され、早稲田大学など12大学と連携して、新しい大学院教育を開始しています。なお、本研究センターは兄弟センターである「燃料電池ナノ材料研究センター」とも密接に協力しながら、クリーンエネルギーの世界的拠点として教育研究活動を推進しています。

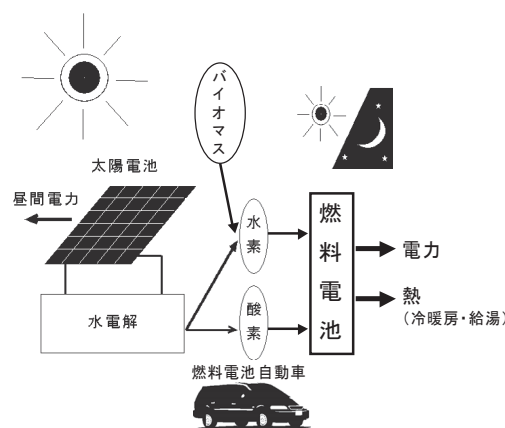
2. センターの役割

- ① クリーンエネルギーに関する先端的基礎研究の実施、および情報交換・発信を行う。
- ② 大学、国立研究所等の研究者の受け入れ、あるいは共同研究や共同利用の実施を通して、我が国の基礎研究レベルの全体的向上と、他大学、研究所における人材育成者のすそ野を可及的に広げる。
- ③ 企業派遣研究者の育成と、共同研究による技術開発の支援を行う。
- ④ 諸外国、わけてもアジア諸国との将来の協力を見据え、留学生や共同研究者を受入れる。

3. 研究内容

① 燃料電池研究部門

燃料電池自動車、家庭用に応用可能な固体高分子形燃料電池及び構成材料の開発、またそれらの解析に関する研究を行っている。燃料電池を逆作動させた水電解による高効率水素製造の研究も進めている。科学技術振興機構（JST）や新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）などの受託研究および関連企業との共同研究を獲得して研究を実施している。



② 太陽エネルギー変換研究部門

日照時間日本一、日本有数の温泉地帯であることなど山梨の地域特性を活用し、再生可能エネルギーである太陽光や地熱から水素や炭化水素系燃料、ならびに電力を創出する研究を行っている。また、二酸化炭素の固定化・有効利用を通じエネルギー獲得、地球温暖化防止の研究も開始している。さらには、放射光・中性子線・超短パルスレーザー光などを用いた最先端の分析手法で、エネルギー関連材料の高度分析を行っている。これらの研究は、科学研究費補助金、その他に財団や他大学、企業の研究費を取得して研究を推進している。

③ 共同研究部門

国内、国外の学者、研究者を客員教授として受け入れ、共同研究する。また、企業研究者も受け入れ、センターの研究成果の実用化に向けた共同研究も実施する。

4. 研究室の見学等

学生諸君にとって、本センターの研究内容、世界トップレベルの研究設備を備えた研究室見学は、大変興味深いものと思われます。また、研究内容を分かり易く紹介したセンターホームページ (<http://www.clean.yamanashi.ac.jp>) も是非ご覧下さい。さらに、興味のある人は、そこに紹介されている各教員にメールでコンタクトして下さい。温かく対応致します。

総合分析実験センター

1. 目的・組織

総合分析実験センターは、今後社会が直面する地球環境、老齢化及び高度情報化に関する問題の解決に不可欠な研究試料の作出と解析について、学際的、総合的に教育、研究できる環境を大学共同利用機関として提供し、それらを融合した新しい科学の創出に寄与することを目的としています。

この目的を達成するための組織として、センター長の下に、機能解析分野、資源開発分野、放射線分野があります。

2. 利用について

センターは、医学部キャンパスにあり、山梨大学における医工農学総合大学院や各学部講座・教室の医学・生命科学領域における教育・実験研究のために、24時間常に利用可能な状態に維持管理されています。

学部学生の皆さんで特に希望する場合には、講座・教員の指導の下に利用が可能です。利用を希望する場合には、関係講座教員を通して、または直接、下記分野のセンター教員宛に申し込んでください。

① 機能解析分野

生体機能解析のための実験室が、基礎研究棟 1 階をはじめ、医学部キャンパス各所にあります。現在、電子顕微鏡、組織培養、分析機器、細胞工学、遺伝子工学、画像解析、核酸実験、試料調整、工作室の各実験室があります。遺伝子工学室には、DNA組換え実験施設(P2・P3)が含まれます。

また、遺伝子解析や顕微鏡標本作製などの研究支援業務も行なっています。

② 資源開発分野

遺伝子組換え動物を含め、ヒトの疾患に対応した多様な実験動物が 3000 m²、3階建の施設内に飼育され、先端的な動物実験が科学のおよび倫理的に進められています。

③ 放射線分野

医学、生物学の研究のためのラジオアイソトープ (RI) を有効かつ安全に使用するための研究実験施設です。施設の中では 30 核種のアイソトープが使用でき、遺伝子レベルから動物を使用した実験まで行われています。

燃料電池ナノ材料研究センター

1. 趣旨・目的

わが国におけるエネルギー供給の安定化・効率化、地球温暖化問題の解決等の観点から、燃料電池の実用化が期待を集めています。燃料電池の本格的普及には、コストの低減や耐久性及び信頼性の向上という多様な要素を満たす革新的なブレークスルーが各方面から期待されています。そのためには、サイエンスに立ち戻った研究開発を行うことが大変重要だと考えます。

燃料電池ナノ材料研究センターは、燃料電池にかかわる反応や劣化メカニズムに関する知見とナノテクノロジー等の先端技術の融合により、燃料電池を構成する触媒・電解質膜・MEA等の材料研究をおこなっています。高性能・高信頼性・低コストを同時に実現可能な高性能セルのための基礎技術を確立することで、燃料電池の本格普及に寄与することを目的として2008年4月に設立されました。2020年からは燃料電池の飛躍的利用拡大を可能にするため、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）より、2030年をターゲットにした高効率発電、高負荷運転、高耐久起動停止、極限環境下劣化防止等の技術を実現する革新的材料技術開発（ECCEED'30-FCプロジェクト）と、2040年をターゲットにした高温・低湿度環境下でも作動可能な新規の高分子電解質膜及びセラミック触媒技術のコンセプト創出（ECCEED'40-FCプロジェクト）の2件の委託事業を受託しました。

さらには、種々の国家プロジェクト等のご支援も受けて、安価で高効率・高耐久なアニオン交換型燃料電池や水電解装置を実現するための非貴金属触媒やアニオン交換型電解質材料の研究開発に取り組んでいます。

なお、本学クリーンエネルギー研究センターとは強い連携のもとで運営しています。学部4年時には、本学大学院生と同じく、国内外の研究者、多くの社会人ドクターと共に、世界トップレベルの先端設備環境での燃料電池研究を開始します。昨今の新型コロナ禍で開催は未定ですが、3年ごとに開催される国内外の燃料電池研究者・技術者による「国際燃料電池セミナー」への参加では、技術者育成、研究交流を図ります。また、国内外の大学院生・若手研究者・技術者を招待し開催される「ヤングサマーセミナー」では、学生が学会の企画から運営に携わるなど、国際学会を体験できる貴重な場を多く設けています。世界的研究拠点として、産学官連携強化や、水素社会実現に向けたグリーンエネルギー分野を牽引する研究者・技術者の育成も重視して取り組んでいます。

2018年10月からは、早稲田大学など12大学と連携した「卓越大学院プログラム」にも貢献しています。

燃料電池ナノ材料研究センター HP

<http://www.fc-nano.yamanashi.ac.jp>



クリーンエネルギー研究センター HP

<http://www.clean.yamanashi.ac.jp/>



2. センターの役割

- ① 燃料電池に関するサイエンスに立ち戻った研究、
多くの企業（材料、部品、システム）との連携による成果の技術展開
- ② 燃料電池の本格的な普及を担うことのできる人材の育成
- ③ 国内外との幅広い交流による燃料電池を中心とした情報の交換・発信

3. 研究内容

2008年4月から2020年3月までの間にNEDOから受託してきたプロジェクトの成果をもとに、2020年7月からNEDO委託事業である“ECCEED ‘30& ‘40-FC プロジェクト”を中心とした研究開発を実施しています。

“ECCEED ‘30-FC プロジェクト”

- A「高効率・高出力・高耐久を実現する触媒の研究開発」
- B「高効率・高出力・高耐久を実現する炭化水素系電解質材料の研究開発」
- C「高効率・高出力・高耐久を実現する触媒層の研究開発」

“ECCEED ‘30& ‘40-FC プロジェクト”

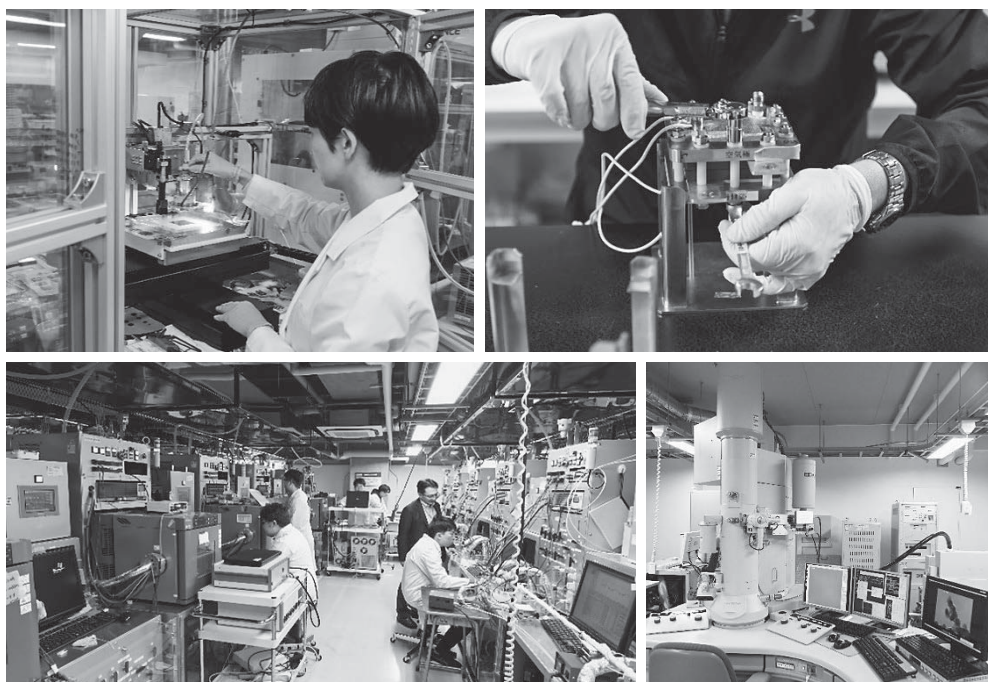
- A「広温湿度作動PEFCを実現する高分子電解質膜技術のコンセプト創出」
- B「広温湿度作動PEFCを実現する触媒技術のコンセプト創出」

今後も、将来の燃料電池自動車などに求められるより高性能、高耐久、低コストの燃料電池の実現を目指していきます。

4. 研究室の見学など

本センターの研究内容や実験施設などの詳細は、ホームページをご覧ください。また、姉妹センターであるクリーンエネルギー研究センターのホームページでも燃料電池関係の研究について紹介しています。

研究設備の見学などをご希望の方は、各教官宛にご連絡をお願いいたします。



発生工学研究センター

<http://www.ccn.yamanashi.ac.jp/~twakayama/LSHP/index.html> (センターHP)
<http://www.ccn.yamanashi.ac.jp/~twakayama/LSHP/Wakayama%20lab/index.html>
(若山研究室HP)

1. 趣旨・目的

本センターは発生工学という分野に特化し、サイエンスフィクション (SF) のようなテーマを本気でやっている世界でも珍しい研究施設です。たとえばクローンという技術を用いた研究では、絶滅動物の復活や絶滅危惧種の救済を目指しています。凍結乾燥した精子から子供を作る研究では、非常食やインスタントコーヒーのように水を加えるだけで使用できるインスタント精子の開発を行っています。これが開発できれば、災害時でも安全に長期間、地球の貴重な遺伝子資源を保存出来るようになります。一方、将来人類が宇宙で繁栄する時代が来たときのために、国際宇宙ステーションを実際に利用した研究も行っています。宇宙空間は無重力で強い宇宙放射線が降り注ぐ過酷な環境です。果たして哺乳類はこのような環境で正常な子孫を残せるのでしょうか。

本センターはこれらの研究を行うために、フル装備のマイクロマニピュレーター (卵子や精子、体細胞の核を顕微鏡下で操作する道具) を 17 セット配備しています。1セット約1千万円もする装置で、これだけの数を有する施設は世界でもここだけです。またマイクロマニピュレーターの操作は非常に繊細で難しいのですが、本センターにはこれを自由自在に操れるトップレベルの研究者がそろっています。つまり本センターが行っている研究は、本センターしか挑戦することが出来ないほど設備的、技術的に難しいテーマなのです。

本センターは生命環境学部の生命工学科の先生たちと連携し、学部学生および大学院生の研究指導に直接携わり、世界で活躍できる研究者の育成にも力を入れています。また、これらの研究で学生たちに高度な技術を習得させ、ヒトの不妊治療クリニックにおいて胚培養士として活躍してもらうことも目指しています。国際共同研究も積極的に行い、海外から研究者を受け入れ学生たちと一緒に技術指導を行うことで、学生たちに国際感覚も身に付けさせています。

2. センターの役割

- ① 発生工学技術を駆使して世界初、あるいは夢のある研究を行い、成功させ、研究の楽しさを世界に発信する
- ② 研究指導およびマイクロマニピュレーターの技術指導を行い、世界で活躍する研究者を育成する
- ③ 不妊治療クリニックにおいて即戦力として活躍できる人材を育成する
- ④ 国内外の研究機関と共同研究を行い、当センターの技術を必要とする研究をサポートする
- ⑤ 留学生や共同研究者を受け入れ技術指導を行う

3. 研究内容

① クローン技術について

- 成功率の改善：家畜などへの応用を目指し、成功率の改善を試みている
- 絶滅動物の復活：凍結死体のダメージを受けた核の修復技術の開発を試みている
- 絶滅危惧種の救済：糞や尿に含まれている細胞からのクローン作出を試みている

② 卵子や精子の室温保存技術について

- 精子の凍結乾燥保存：精子をフリーズドライにして長期間の室温保存を可能にする
- 精子の極限環境耐性：精子の耐熱性や耐放射線、真空耐性などを明らかにする
- 卵子および受精卵の凍結乾燥保存：世界初の成功を目指している
- 体細胞の凍結乾燥保存：クローン技術と組み合わせ産仔の作出を目指す

③ 国際宇宙ステーションを利用した哺乳類の生殖研究について

- Space Pup プロジェクト：宇宙で長期保存した精子 DNA の正常性について
- Space Embryo プロジェクト：無重力で胚が正常に発生するか調べる
- その他：Space Fertilization, Space Reproduction, Space Pup2などを予定

④ 国内外との共同研究

国内外の大学、研究所と共同研究を行い、技術サポートや技術指導を行っている。

4. 研究室の見学等

本センターの売りであるマイクロマニピュレーターは、実際に見て体験してみないとその面白さ、難しさ、そして凄さを理解できません。ぜひ体験してもらいたいと思います。ただしマイクロマニピュレーターの準備や指導は大変なので、本当に興味のある人だけにしか案内しません。すごく体験してみたい、という人は、自分で教員のメールアドレスを調べてメールでコンタクトしてください。我々も、そうまでして連絡してくてくれた学生さんに対しては、喜んで詳しく案内し、指導いたします。

地域人材養成センター 地域未来創造室

1. 趣旨・目的

地域未来創造室(旧地域未来創造センター)は、平成27年(2015年)以来、地域社会を担い、産業の発展に貢献することができる人材の育成を図ることを目的として、①地域や企業を知り、そこでの課題を発見し、課題の解決策を学ぶことができる特別教育プログラムを運営し、②地域の研究プロジェクトや企業の新規事業化の支援事業を行うとともに、③リカレント教育やセミナー等を通じて、社会人の技術支援などを行っています。

2. 活動内容

(1) 「地域課題解決人材育成プログラム」の提供

地域志向型共通教育科目、ワイン科学・美しい里づくりのコース専門科目、及び地域課題解決科目の科目群で構成される、山梨大学内の教育プログラムを提供しています(修了証の授与)。

(2) 大学間連携による「やまなし未来創造教育プログラム」の提供

山梨県内8大学の連携により、地域教養科目(キャリア教育)及びツーリズム・ものづくり・子育て支援・CCRCの4つのコース別専門科目群による教育プログラムを提供しています(修了証の授与)。

(3) 「地域志向型研究プロジェクト」の実施

地域の課題の収集とその課題を研究テーマとする学内の研究を支援しています。

(4) 「CAMPFIRE」による新規事業化支援

クラウドファンディングサイト「CAMPFIRE」による資金調達を通じた新規事業化の支援等を行っています。

(5) 学生と企業の相互理解の支援

大学と地元企業・団体との連携により、学生と地域の企業が交流し、相互に理解を深める取組みを行っています。

(6) 社会貢献事業の実施

学生のエリア放送「デンパ☆梨甲局」による地域・学内情報の発信や、データサイエンス基礎セミナー、女性のためのステップアップ講座などリカレント教育等を行っています。

3. 特色ある取組み

地域教養科目「フューチャーサーチ」「自発的教養(実践的キャリア形成活動)」は、企業・団体、自治体の課題を募集し、県内の大学生が参加して課題の解決にあたる実践的科目です。例えば、観光イベントの企画、商品企画・開発、商店街活性化企画などがあり、多くの学生さんが参加し、楽しくかつ有意義であったと感想をいただいています。詳しくは、未来計画研究社のホームページをQRコードからご覧ください。



企業と学生のワークショップ



Mirai プロジェクトの活動



企業と学生の交流会



未来計画研究社

男女共同参画推進室

1. 趣旨・目的

男女共同参画推進室は、本学が展開する男女共同参画の活動を中心となって進めています。男女問わず、優れた人材を育成し社会に送り出し続けるため、本学に集うすべての人が、その個性と能力を十分に発揮できる大学を創ることを目的としています。

2. 推進室の役割

本学に在籍するすべての人にとって、修学や就業と充実した生活の両立ができる環境を整備し、個人の個性や能力を十分に発揮できる機会の確保や、講演会やセミナー等を通じた意識啓発を行います。また、将来を担う研究者の育成に積極的に貢献するとともに、志願者の裾野を広げる活動に取り組んでいます。

3. 取組内容

本学が実施する「男女共同参画の加速のための山梨大学学長行動宣言」に掲げられた3つの基本方針および7つの行動計画を実施するため、以下のような取組を中心に活動しています。

- ライフイベント中の教職員や学生に対する育児や介護情報の提供と相談対応。
- ライフイベント中の研究者に対する、学生サポーター（キャリアアシスタント）による研究補助の実施。
- 男女共同参画に関する講演会やセミナーを通じた意識啓発や学生・教職員のスキルアップ。
- 男女共同参画やワーク・ライフ・バランス等に関する講演会等を通じた、将来のキャリアや生活の在り方を考える機会の提供。また、女子中高生に対する、理工系の研究体験を提供するイベントの実施。
- 男女共同参画に関する調査の実施。
- 男女共同参画の更なる展開のための、他大学、行政機関、企業等との連携。
- 山梨大学男女共同参画学術研究奨励賞に関わる業務。

【男女共同参画推進室ホームページ】 <https://danjo.yamanashi.ac.jp/>

【男女共同参画の加速のための山梨大学学長行動宣言】 <https://www.yamanashi.ac.jp/about/133>

Handwriting practice lines consisting of 20 horizontal dotted lines.



Handwriting practice lines consisting of 4 horizontal dotted lines.

Handwriting practice lines consisting of 20 horizontal dotted lines.



Handwriting practice lines consisting of 4 horizontal dotted lines.



LIFE GUIDANCE

2021

諸学融合



教員名簿

- ◎教育学部
- ◎医学部
- ◎工学部
- ◎生命環境学部
- ◎学内共同教育研究施設等

教員名簿 目次

教員名簿

教育学部・教育学研究科（教職大学院）	125
医学部	128
工学部	131
生命環境学部	135
学内共同教育研究施設	136
教育国際化推進機構／保健管理センター／学生サポートセンター カウンセリング・サポート室／アクセシビリティ・コミュニケーション支援室 男女共同参画推進室	138

教育学部

所 属	系	職 名	氏 名	内線番号	大学院教育学研究科 所属専攻（兼担）
学部長（研究科長）		教 授	古 家 貴 雄	8100	
幼小発達教育コース		教 授	尾 見 康 博	8242	教育実践創成専攻
		教 授	若 本 純 子	8244	教育実践創成専攻
		教 授	秋 山 麻 実	8268	教育実践創成専攻
		教 授	高 橋 英 児	8245	教育実践創成専攻
		准教授	岩 井 哲 雄	8249	教育実践創成専攻
		准教授	鴨 川 明 子	8247	教育実践創成専攻
		准教授	田 中 健史朗	8241	教育実践創成専攻
		准教授	小野田 亮 介	8243	教育実践創成専攻
		准教授	塚 越 奈 美	8267	教育実践創成専攻
		准教授	大 野 步	8266	教育実践創成専攻
障害児教育コース		教 授	小 畑 文 也	8239	教育実践創成専攻
		教 授	古 屋 義 博	8236	教育実践創成専攻
		准教授	吉 井 勘 人	8232	教育実践創成専攻
		准教授	松 下 浩 之	8238	教育実践創成専攻
		准教授	永 田 真 吾	8233	教育実践創成専攻
		准教授	内 藤 千 尋	8237	教育実践創成専攻
言語教育コース	国語教育	特任教授	池 田 尚 隆	8175	教育実践創成専攻
		教 授	齋 藤 知 也	8179	教育実践創成専攻
		准教授	町 田 茂	8116	教育実践創成専攻
		准教授	伊 崎 孝 幸	8174	教育実践創成専攻
		准教授	清 水 文 博	8273	教育実践創成専攻
		准教授	尾 形 大	8178	教育実践創成専攻
	英語教育	教 授	田 中 武 夫	8128	教育実践創成専攻
		准教授	奥 村 直 史	8155	教育実践創成専攻
		准教授	堀 田 誠	8117	教育実践創成専攻
生活社会教育コース	社会科教育	准教授	加 藤 千 晶	8377	教育実践創成専攻
		教 授	尾 藤 章 雄	8150	教育実践創成専攻
		教 授	大 隅 清 陽	8148	教育実践創成専攻
		教 授	服 部 一 秀	8274	教育実践創成専攻
		教 授	森 元 拓	8159	教育実践創成専攻
		准教授	宇 多 賢治郎	8169	教育実践創成専攻
		准教授	相 澤 康 隆	8154	教育実践創成専攻

所 属	系	職 名	氏 名	内線番号	大学院教育学研究科 所属専攻（兼任）
生活社会教育コース	家政教育	教 授	田 中 勝	8226	教育実践創成専攻
		教 授	志 村 結 美	8323	教育実践創成専攻
		准教授	岡 松 恵	8224	教育実践創成専攻
		准教授	川 島 亜紀子	8227	教育実践創成専攻
科学教育コース	数学教育	教 授	中 村 拓 司	8135	教育実践創成専攻
		教 授	清 水 宏 幸	8164	教育実践創成専攻
		准教授	中 村 宗 敬	8136	教育実践創成専攻
	理科教育	教 授	松 森 靖 夫	8230	教育実践創成専攻
		教 授	宮 崎 淳 一	8149	教育実践創成専攻
		教 授	福 地 龍 郎	8219	教育実践創成専攻
		准教授	長 島 礼 人	8180	教育実践創成専攻
		准教授	芹 澤 如比古	8212	教育実践創成専攻
		准教授	森 長 久 豊	8196	教育実践創成専攻
		准教授	佃 俊 明	8235	教育実践創成専攻
		准教授	吉 田 夏 海	8121	教育実践創成専攻
		准教授	杉 山 雅 俊	8231	教育実践創成専攻
	技術教育	准教授	山 際 基	8223	教育実践創成専攻
		准教授	林 丈 晴	8161	教育実践創成専攻
准教授		小 川 覚 美	8261		
芸術身体教育コース	音楽教育	教 授	藤 原 嘉 文	8334	教育実践創成専攻
		教 授	ジェラルド・グローマー	8335	教育実践創成専攻
		教 授	大 内 邦 靖	8253	
		准教授	小 島 千 か	8336	教育実践創成専攻
		准教授	池 山 洋 子	8252	教育実践創成専攻
	美術教育	教 授	村 松 俊 夫	8275	教育実践創成専攻
		教 授	栗 田 真 司	8257	教育実践創成専攻
		准教授	平 野 千 枝 子	8327	教育実践創成専攻
		准教授	武 末 裕 子	8255	教育実践創成専攻
	保健体育	教 授	木 島 章 文	8198	教育実践創成専攻
		准教授	加 藤 朋 之	8203	教育実践創成専攻
		准教授	安 藤 大 輔	8208	教育実践創成専攻
准教授		金 澤 翔 一	8199	教育実践創成専攻	

所 属	系	職 名	氏 名	内線番号	大学院教育学研究科 所属専攻（兼任）
教育実践総合センター		准教授	川 本 静 香	8315	教育実践創成専攻
	教員育成推進部 門・附属学校共 同研究部門	特任教授	青 柳 達 也	8163	
	教職支援室	特任教授	澤 登 義 洋	8788	

教育学研究科

所 属	職 名	氏 名	内線番号	教育学部 所属コース(系)等
研 究 科 長	教 授	古 家 貴 雄	8100	
教育実践創成専攻 (教職大学院)	教 授	梶 原 郁 郎	8246	
	教 授	早 川 健	8118	
	教 授	東海林 麗 香	8229	
	教 授	古 屋 啓 一	8112	
	教 授	饗 場 宏	8126	
	教 授	平 井 貴美代	8248	幼小発達教育コース
	教 授	長谷川 千 秋	8173	言語教育コース(国語教育)
	教 授	皆 川 卓	8166	生活社会教育コース(社会科教育)
	教 授	神 山 久 美	8184	生活社会教育コース(家政教育)
	教 授	山 下 和 之	8160	科学教育コース(理科教育)
	教 授	佐 藤 博	8258	科学教育コース(技術教育)
	教 授	片 野 耕 喜	8251	芸術身体教育コース(音楽教育)
	教 授	井 坂 健一郎	8256	芸術身体教育コース(美術教育)
	教 授	中 村 和 彦	8205	芸術身体教育コース(保健体育)
	准教授	茅 野 政 徳	8176	
	准教授	中 込 繁 樹	8317	
	准教授	田 中 一 弘	8123	
	准教授	後 藤 賢次郎	8259	生活社会教育コース(社会科教育)
	准教授	小 池 健 二	8138	科学教育コース(数学教育)
	准教授	新 野 貴 則	8333	芸術身体教育コース(美術教育)
准教授	木 村 はるみ	8206	芸術身体教育コース(保健体育)	
准教授	成 田 雅 博	8099	教育実践総合センター	
准教授	佐々木 智 謙	8262	科学教育コース(理科教育)	

医 学 部

所 属	職 名	氏 名	内線番号
学部長	教 授	平 田 修 司	2005
病院長	理 事	榎 本 信 幸	2005
医学科長	教 授	山 縣 然太朗	2300
看護学科長	教 授	谷 口 珠 実	2701

医学部（附属病院）

所 属	職 名	氏 名	内線番号
解剖学講座 構造生物学教室	教 授	小 田 賢 幸	2230
	講 師	久 保 智 広	2230
解剖学講座 細胞生物学教室	教 授	竹 田 扇	2237
	准教授	成 田 啓 之	2237
生理学講座 統合生理学教室	教 授	宇 賀 貴 紀	2242
	講 師	三 枝 岳 志	2242
生理学講座 神経生理学教室	教 授	喜多村 和 郎	2247
	准教授	眞仁田 聡	2247
生化学講座第1教室	教 授	大 塚 稔 久	2251
	准教授	森 靖 典	2251
生化学講座第2教室	教 授	宮 澤 患 二	2257
薬理学講座	教 授	小 泉 修 一	2260
	講 師	篠 崎 陽 一	2260
分子病理学講座	教 授	範 江 林	2267
微生物学講座	教 授	森 石 恆 司	2277
免疫学講座	教 授	中 尾 篤 人	2282
	准教授	中 村 勇 規	2282
法医学講座	教 授	安 達 登	2292
	准教授	猩 々 英 紀	2292
社会医学講座	教 授	山 縣 然太朗	2300
	准教授	横 道 洋 司	2300
	准教授	三 宅 邦 夫	2300
先端応用医学講座	特任教授	岩 崎 甫	2399
	准教授	姚 建	2439
内科学講座 (消化器内科)	講 師	前 川 伸 哉	2308
	講 師	井 上 泰 輔	2308
	特任講師	深 澤 光 晴	2308
	特任講師	山 口 達 也	2308
	特任講師	高 野 伸 一	2308
	特任講師	高 橋 英	2308
(循環器内科)	講 師	尾 畑 純 栄	2310
	講 師	中 村 貴 光	2310
(呼吸器内科学)	准教授	石 原 裕	2310
(糖尿病・内分泌内科)	講 師	土 屋 恭 一 郎	2318
(腎臓内科学)	准教授	古 屋 文 彦	2318
(リウマチ膠原病内科)			
神経内科学講座 (神経内科)	教 授	瀧 山 嘉 久	3421
	准教授	新 藤 和 雅	3421
血液・腫瘍内科学講座 (血液・腫瘍内科)	教 授	桐 戸 敬 太	2415

所 属	職 名	氏 名	内線番号
小児科学講座 (小児科)	教授	犬 飼 岳 史	2322
	講 師	加 賀 佳 美	2322
	講 師	合 井 久美子	2322
	講 師	沢 登 恵 美	2322
精神神経医学講座 (精神科)	教授	鈴 木 健 文	2328
	講 師	石 黒 浩 毅	2328
	講 師	上 村 拓 治	2328
	講 師	平 田 卓 志	2328
皮膚科学講座 (皮膚科)	教授	川 村 龍 吉	2332
	講 師	三 井 広	2332
	講 師	小 川 陽 一	2332
	講 師	出 口 順 啓	2332
外科学講座第1教室 (消化器外科, 乳腺・内分泌外科)	教授	市 川 大 輔	2337
	准教授	河 野 寛	2337
	講 師	井 上 慎 吾	2337
	講 師	川井田 博 充	2337
外科学講座第2教室 (心臓血管外科, 呼吸器外科, 小児外科)	教授	中 島 博 之	2343
	准教授	松 原 寛 知	2343
	講 師	榑 原 賢 士	2343
	講 師	加 賀 重 亜 喜	2343
整形外科科学講座	教授	波 呂 浩 孝	2348
	講 師	安 藤 隆	2348
	講 師	市 川 二 郎	2348
脳神経外科学講座 (脳神経外科)	教授	木 内 博 之	2353
	准教授	川 瀧 智 之	2353
	講 師	荻 原 雅 和	2353
麻酔科学講座 (麻酔科)	教授	松 川 隆	2359
	准教授	小 口 健 史	2359
	講 師	飯 嶋 哲 也	2359
産婦人科学講座 (産婦人科) (地域周産期等医療学講座)	教授	平 田 修 司	2362
	講 師	奈 良 政 敏	2362
	特任准教授	奥 田 靖 彦	2362
泌尿器科学講座 (泌尿器科)	准教授	三 井 貴 彦	2367
	講 師	澤 田 智 史	2367
眼科学講座 (眼科)	教授	柏 木 賢 治	2372
	准教授	櫻 田 庸 一	2372
	講 師	北 村 一 義	2372
耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座 (頭頸部・耳鼻咽喉科)	教授	櫻 井 大 樹	2377
	講 師	松 岡 伴 和	2377
	講 師	石 井 裕 貴	2377
放射線医学講座 (放射線治療科・放射線診断科)	教授	大 西 洋	2382
	講 師	小宮山 貴 史	2382
	講 師	森 阪 裕 之	2382
歯科口腔外科学講座 (歯科口腔外科)	教授	上 木 耕 一 郎	2387
	准教授	吉 澤 邦 夫	2387
	講 師	諸 井 明 徳	2387
救急集中治療医学講座	教授	森 口 武 史	5014
臨床検査医学講座	教授	井 上 克 枝	2578
	准教授	佐 々 木 知 幸	2578
	講 師	築 地 長 治	2578
人体病理学講座 (病理診断科)	教授	近 藤 哲 夫	2272
	准教授	大 石 直 輝	2272
地域医療学講座	教授	佐 藤 弥	2224
医学教育学	特任教授	鈴 木 草 司	2217

所 属	職 名	氏 名	内線番号
看護学科 (基礎看護学領域) (成人看護学領域) (高齢者看護学領域) (在宅看護学領域) (精神看護学領域) (地域看護学領域) (母性看護・助産学領域) (小児看護学領域)	教授	田 辺 文 憲	2718
	教授	浅 川 和 美	2717
	講 師	山 田 章 子	2705
	准教授	川 端 愛	2708
	講 師	長 崎 ひとみ	2716
	教授	谷 口 珠 実	2701
	准教授	菅 沼 真由美	2702
	教授	坂 井 郁 恵	2710
	教授	宮 村 季 浩	2728
	教授	神 崎 由 紀	2730
	教授	小 林 康 江	2737
	講 師	浅 野 浩 子	2703
	准教授	阿久澤 智恵子	2709
	講 師	安 藤 晴 美	2736
	総合医科学センター	教授	中 本 和 典
教授		秋 山 真 治	2206
教授		齋 藤 正 夫	2210
教授		川 原 敦 雄	2214
准教授		西 郷 達 彦	2207

医学部附属病院

所 属	職 名	氏 名	内線番号
形成外科	特任教授	百 澤 明	2607
リハビリテーション科	講 師	谷 口 直 史	3160
手術部	准教授	石 山 忠 彦	5070
放射線部	准教授	荒 木 拓 次	3130
輸血細胞治療部	講 師	高 野 勝 弘	3173
集中治療部	講 師	後 藤 順 子	5014
新生児集中治療部	講 師	小 鹿 学	2322
病理部	准教授	望 月 邦 夫	5102
総合診療部	特任准教授	針 井 則 一	5014
臨床研究連携推進部	特任准教授	佐 藤 金 夫	3178
	特任准教授	田 中 佑 治	3178
	特任准教授	小 林 基 博	2222
病院経営管理部			
医療の質・安全管理部	特任教授	荒 神 裕 之	3525
感染制御部	特任教授	井 上 修	3524
薬剤部			
	教 授	小 口 敏 夫	3195
肝疾患センター			2308
腫瘍センター	准教授	田 中 勝	2415
臨床教育センター	特任准教授	板 倉 淳	2017
臨床実習センター	特任講師	川 端 健 一	2217
医療福祉支援センター	准教授	端 晶 彦	2362
山梨県地域医療支援センター	准教授	大 森 真紀子	2227

出生コホート研究センター

所 属	職 名	氏 名	内線番号
出生コホート研究センター	特任教授	篠 原 亮 次	2300

工 学 部

学 科 名	職 名	氏 名	内線番号	大学院医工農学総合教育部 修士課程・所属（専攻・コース）
学 部 長	教 授	中 山 栄 浩	8400	工学専攻・機械工学コース
機 械 工 学 科	教 授	藤 森 篤	8195	工学専攻・ 機械工学コース
	教 授	武 田 哲 明	8415	
	教 授	中 山 栄 浩	8424	
	教 授	岡 澤 重 信	8441	
	教 授	伊 藤 安 海	8673	
	教 授	野 田 善 之	8440	
	准教授	角 田 博 之	8437	
	准教授	山 本 義 暢	8435	
	准教授	鳥 山 孝 司	8471	
	准教授	青 柳 潤一郎	8574	
	准教授	孕 石 泰 丈	8446	
	准教授	舩 谷 俊 平	8434	
	准教授	鍵 山 善 之	8575	
	准教授	浮 田 芳 昭	8674	
	助 教	深 澤 薫	8436	
	助 教	大 原 伸 介	8432	
	助 教	杉 山 裕 文	8457	
	助 教	山 田 隆 一	8091	
助 教	猿 渡 直 洋	8095		
助 手	中 村 正 信	8439		
メカトロニクス 工学科	教 授	小 谷 信 司	8469	工学専攻・ メカトロニクス工学コース
	教 授	森 澤 正 之	8665	
	教 授	寺 田 英 嗣	8452	
	教 授	鈴 木 良 弥	8484	
	教 授	石 井 孝 明	8419	
	准教授	岡 村 美 好	8520	
	准教授	平 晋一郎	8417	
	准教授	北 村 敏 也	8455	
	准教授	丹 沢 勉	8490	
	准教授	清 水 毅	8445	
	准教授	金 蓮 花	8448	
	准教授	石 田 和 義	8442	
	准教授	西 崎 博 光	8361	
	准教授	鈴 木 裕	8684	
	助 教	渡 邊 寛 望	8502	
助 教	北 野 雄 大	8564		
助 教	孫 瀟			
電 気 電 子 工 学 科	教 授	大 木 真	8465	工学専攻・ 電気電子工学コース
	教 授	内 山 智香子	8578	
	教 授	矢 野 浩 司	8474	
	教 授	垣 尾 省 司	8514	
	教 授	埴 雅 典	8683	
	教 授	鍋 谷 暢 一	8458	
	教 授	佐 藤 隆 英	8504	
	准教授	白 木 一 郎	8463	
	准教授	村 中 司	8476	
	准教授	小野島 紀 夫	8503	
	准教授	本 間 聡	8412	
	准教授	二 宮 啓	8073	

学 科 名	職 名	氏 名	内線番号	大学院医工農学総合教育部 修士課程・所属（専攻・コース）
電 気 電 子 工 学 科	准教授	チェン リー チュイン	8072	工 学 専 攻 ・ 電 気 電 子 工 学 コ ー ス
	准教授	關 谷 尚 人	8393	
	准教授	宇 野 和 行	8508	
	准教授	山 本 真 幸	8650	
	助 教	中 村 一 彦	8462	
	助 教	橋 本 一 成	8620	
	助 教	鈴 木 雅 視	8170	
	助 教	作 間 啓 太		
コ ン プ ュ ー タ 理 工 学 科	教 授	大 淵 竜 太 郎	8570	工 学 専 攻 ・ コ ン プ ュ ー タ 理 工 学 コ ー ス
	教 授	岩 沼 宏 治	8480	
	教 授	福 本 文 代	8509	
	教 授	茅 暁 陽	8652	
	教 授	小 澤 賢 司	8586	
	教 授	郷 健 太 郎	8632	
	教 授	高 橋 正 和	8585	
	教 授	渡 辺 喜 道	8651	
	教 授	服 部 元 信	8766	
	准教授	安 藤 英 俊	8363	
	准教授	鈴 木 智 博	8492	
	准教授	鍋 島 英 知	8767	
	准教授	小 俣 昌 樹	8510	
	准教授	木 下 雄 一 朗	8516	
	准教授	豊 浦 正 広	8494	
	助 教	吉 川 雅 修	8491	
	助 教	古 屋 貴 彦	8485	
	助 教	李 吉 屹	8495	
特任助教	盧 暁 南	8497		
土 木 環 境 工 学 科	教 授	鈴 木 猛 康	8531	工 学 専 攻 ・ 土 木 環 境 工 学 コ ー ス
	教 授	金 子 栄 廣	8601	
	教 授	齊 藤 成 彦	8529	
	教 授	森 一 博	8594	
	教 授	武 藤 慎 一	8599	
	准教授	後 藤 聡	8526	
	准教授	石 井 信 行	8597	
	准教授	秦 康 範	8533	
	准教授	吉 田 純 司	8521	
	准教授	宮 本 崇	8524	
	助 教	宮 沢 直 季	8523	
	助 教	八 重 樫 咲 子	8596	
	助 教	佐 藤 賢 之 介	8530	
	助 教	大 槻 順 朗	8519	
助 教	佐 藤 史 弥			

学 科 名	職 名	氏 名	内線番号	大学院医工農学総合教育部 修士課程・所属（専攻・コース）
応 用 化 学 科	教 授	和 田 智 志	8555	工学専攻・ 応用化学コース
	教 授	奥 崎 秀 典	8554	
	教 授	柳 博	8559	
	教 授	米 山 直 樹	8568	
	教 授	桑 原 哲 夫	8548	
	教 授	小 幡 誠	8549	
	准教授	阪 根 英 人	8551	
	准教授	宮 嶋 尚 哉	8571	
	准教授	上 野 慎太郎	8545	
	准教授	植 田 郁 生	8552	
	助 教	高 橋 正 樹	8576	
	助 教	藤 井 一 郎	8557	
	特任助教	佐 藤 玄	7809	
先 端 材 料 理 工 学 科	教 授	張 本 鉄 雄	8360	工学専攻・ 先端材料理工学コース
	教 授	近 藤 英 一	8472	
	准教授	加 藤 初 弘	8692	
	准教授	佐 藤 哲 也	8627	
	准教授	小 川 和 也	8511	
	准教授	居 島 薫	8433	
	准教授	石 川 陽	8349	
	准教授	酒 井 優	8347	
	准教授	内 山 和 治	8680	
	助 教	則 竹 史 哉	8362	

基礎教育センター

職 名	氏 名	内線番号
教 授	小 林 正 樹	8488
教 授	小須田 雅	8141
准教授	山 浦 浩 太	8444
准教授	井 上 久 美	7017
助 教	坂 野 齋	8687
助 教	宮 原 大 樹	8447

クリスタル科学研究センター

職 名	氏 名	内線番号
教 授	田 中 功	8625
教 授	武 井 貴 弘	8616
教 授	綿 打 敏 司	8656
准教授	有 元 圭 介	8609
准教授	米 崎 功 記	8617
准教授	東海林 篤	8348
准教授	長 尾 雅 則	8610
助 教	原 康 祐	8614
助 教	丸 山 祐 樹	8506

国際流域環境研究センター

職 名	氏 名	内線番号
教 授	原 本 英 司	8725
教 授	遠 山 忠	8346
准教授	相 馬 一 義	8345
助 教	中 村 高 志	8727

ものづくり教育実践センター

職 名	氏 名	内線番号
准教授	牧 野 浩 二	8451

生命環境学部

学 科 名	職 名	氏 名	内線番号
学 部 長	教 授	奥 田 徹	8800
生 命 工 学 科	教 授	黒 澤 尋	8535
	教 授	幸 田 尚	8537
	教 授	岸 上 哲 士	8705
	准教授	大 槻 隆 司	8646
	准教授	新 森 英 之	8566
	准教授	大 山 拓 次	8828
	准教授	中 川 洋 史	8544
	准教授	山 村 英 樹	8546
	助 教	小 久 保 晋	8507
	助 教	大 貫 喜 嗣	8538
	助 教	志 浦 寛 相	8821
	助 教	大 我 政 敏	8826
地 域 食 物 科 学 科	助 教	川 上 隆 史	8278
	教 授	舟 根 和 美	8468
	教 授	柳 田 藤 寿	8605
	教 授	村 松 昇	8823
	教 授	奥 田 徹	8608
	教 授	鈴 木 俊 二	8394
	教 授	望 月 和 樹	8829
	准教授	山 下 裕 之	055-241-6384
	准教授	岸 本 宗 和	8606
	准教授	三 木 健 夫	8659
	准教授	久 本 雅 嗣	8658
	准教授	乙 黒 美 彩	8831
	准教授	矢 野 美 紀	8830
	助 教	斉 藤 史 恵	8824
助 教	榎 真 一	8607	
環 境 科 学 科	教 授	西 田 継	8593
	教 授	石 平 博	8602
	教 授	島 弘 幸	8834
	教 授	岩 田 智 也	8339
	准教授	松 本 潔	8172
	准教授	小 林 拓	8341
	准教授	田 中 靖 浩	8833
	准教授	馬 籠 純	8728
	准教授	片 岡 良 太	8839
	助 教	亀 井 樹	8213
	助 教	黄 瀬 佳 之	8579
助 教	向 井 真 那	8835	

学 科 名	職 名	氏 名	内線番号
地域社会システム学科	教 授	西久保 浩 二	8151
	教 授	渡 邊 靖 仁	8836
	教 授	大 山 勲	8598
	教 授	渡 邊 幹 彦	8837
	教 授	田 中 敦	8167
	教 授	稲 田 和 也	8840
	教 授	伊 藤 一 帆	8512
	准教授	金 基 成	8343
	准教授	喜多川 進	8337
	准教授	門 野 圭 司	8342
	准教授	島 崎 洋 一	8340
	准教授	藤 原 真 史	8190
	准教授	石 塚 迅	8153
	准教授	平 井 寛	8395
	准教授	宮 川 雅 至	8338
	准教授	小 松 志 朗	8171
	准教授	菊 地 淑 人	8691
准教授	佐々木 博 之	8825	
助 教	若 生 直 志	8838	

学内共同教育研究施設

クリーンエネルギー研究センター

内線番号

センター長（専任）	教 授	入 江 寛	8092
専 任 教 員	教 授	宮 武 健 治	8707
専 任 教 員	教 授	犬 飼 潤 治	8185
(特任)専任教員	教 授	内 田 裕 之	8619
(特任)専任教員	教 授	窪 田 洋 二	8860
専 任 教 員	准教授	野 原 慎 士	8287
専 任 教 員	准教授	葛 目 陽 義	8187
専 任 教 員	准教授	高 嶋 敏 宏	8094
専 任 教 員	准教授	三 宅 純 平	8430

機器分析センター

センター長（兼任）	教 授	近 藤 英 一	8472
専 任 教 員	准教授	山 中 淳 二	8647

総合分析実験センター

センター長（兼任）	教 授	森 石 恆 司	2275
専 任 教 員	准教授	北 間 敏 弘	2611
専 任 教 員	准教授	兼 平 雅 彦	2161
専 任 教 員	講 師	長 友 啓 明	2161
専 任 教 員	講 師	瀬 川 高 弘	2614
専 任 教 員	助 教	伊 藤 禎 洋	2162
専 任 教 員	助 教	杉 浦 篤 志	2614

キャリアセンター

センター長（兼任）	教授	日永龍彦	8279
（特任）専任教員			

燃料電池ナノ材料研究センター

センター長（専任）	教授	飯山明裕	1414
部門長（専任）	教授	内田誠	1407
部門長（専任）	教授	柿沼克良	1430
専任教員	教授	ドナルド トリック	1420
専任教員	教授	宮尾敏広	1426
専任教員	教授	吉積潔	1408
専任教員	助教	西野華子	8397
専任教員	助教	川本鉄平	8704
専任教員	助教	史国玉	1428

発生工学研究センター

センター長（専任）	教授	若山照彦	8826
（特任）専任教員	准教授	升井伸治	8538
専任教員	助教	若山清香	8826
（特任）専任教員	助教	藤本由佳	8826

大学教育センター

センター長（兼任）	教授	塙雅典	8683
専任教員	教授	日永龍彦	8279
（特任）専任教員	准教授	鈴木一克	8204
（特任）専任教員	助教	佐藤友香	8207

教養教育センター

センター長（兼任）	教授	田中武夫	8128
専任教員	教授	仲本康一郎	8272
専任教員	准教授	堀田誠	8117
専任教員	准教授	寺田雄介	8750
外国語特任教員	准教授	グレアム・フィリップ	8276
外国語特任教員	准教授	パンディ・アルupp	8331
外国語特任教員	准教授	リード・ゴードン	8277

国際交流センター

センター長（兼任）	教授	茅 暁 陽	8652
専任教員	教授	宮 本 和 子	8595
専任教員	准教授	伊 藤 孝 惠	8753
専任教員	准教授	江 崎 哲 也	8752
専任教員	助教	會 田 篤 敬	8152
(特任)専任教員	助教	布 村 猛	8709

地域人材養成センター

センター長（兼任）	理事 (地域人材養成担当)	風 間 心 た ば	8350
副センター長（兼任）	教授	渡 辺 喜 道	8453

アドミッションセンター

センター長（兼任）	教授	大 隅 清 陽	8148
(特任)専任教員	准教授	藤 修	8265
(特任)専任教員	助教	鈴 木 律 子	8265

教育国際化推進機構/保健管理センター/学生サポートセンター
 カウンセリング・サポート室/アクセシビリティ・コミュニケーション支援室
 男女共同参画推進室

教育国際化推進機構

内線番号

機構長（兼任）	理事（教学担当）	中 村 和 彦	8021
---------	----------	---------	------

保健管理センター

センター長（兼任）	理事（医療担当）	榎 本 信 幸	8081
副センター長（兼任）	理事（教学担当）	中 村 和 彦	8021
副センター長（兼任）	理事（労務担当）	松 川 誠 司	8001
専任教員	教授	高 山 一 郎	2103
専任教員	病院教授	篠 原 学	8083

学生サポートセンター

センター長（兼任）	教授	村 松 俊 夫	8275
-----------	----	---------	------

カウンセリング・サポート室

室 長（兼任）	教授	村 松 俊 夫	8275
専任教員	講師	正 木 啓 子	8024

アクセシビリティ・コミュニケーション支援室

室 長（兼任）	教授	小 畑 文 也	8239
(特任)専任教員	助教	鈴 木 亜 矢	8706

男女共同参画推進室

室 長（兼任）	理事 (男女共同参画担当)	風 間 心 た ば	8350
(特任)専任教員	助教	柏 木 志 保	8350
(特任)専任教員	助教	山 村 裕 美	8350



リサイクル適性 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。